

第五十回 衆議院議事速記録第二十三號

大正十四年三月五日(木曜日)午後一時二十三分開議

議事日程 第二十二號

大正十四年三月五日

午後一時開議

第一 染料製造獎勵ニ關スル法律案 (政府提出) 第一讀會

第二 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

第三 船舶無線電信施設法案 (政府提出) 第一讀會

第四 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

第五 社寺境內內地無償下付ニ關スル法律案 (安藤正純君外五名提出) 第一讀會

第六 公娼制度制限ニ關スル法律案 (松山常次郎君提出) 第一讀會

第七 染料關稅撤廢ニ關スル建議案 (武藤金吉君外一名提出)

第八 綿絲關稅撤廢ニ關スル建議案 (武藤金吉君外一名提出)

第九 綿絲輸入關稅撤廢ニ關スル建議案 (關直彦君外一名提出)

第十 綿絲輸入關稅撤廢ニ關スル建議案 (飯塚春太郎君外一名提出)

第十一 關稅改正促進ニ關スル建議案 (太田信治郎君外一名提出)

第十二 蛋粉ノ關稅定率法改正ニ關スル建議案 (平野光雄君外一名提出)

第十三 煉乳粉乳輸入關稅引上ニ關スル建議案 (小池仁郎君外十七名提出)

第十四 國幣中社眞清田神社陞格ニ關

スル建議案 (服部英明君提出) 第十五 警察費國庫下渡金運轉支辨規定改正ニ關スル建議案 (千葉宮次郎君外三名提出)

第十六 高等師範學校設置ニ關スル建議案 (佐々木春作君外三名提出)

第十七 國立公園調查會設置ニ關スル建議案 (鈴木隆君外四名提出)

第十八 國立公園調查ニ關スル建議案 (小西和君提出)

第十九 本州ト島嶼間ノ交通ニ關スル建議案 (古川清君提出)

第二十 拓殖省設置ニ關スル建議案 (牧山耕藏君外十三名提出)

第二十一 漁村振興ニ關スル建議案 (千葉宮次郎君外六名提出)

第二十二 貴生川加茂間鐵道速成ニ關スル建議案 (高井商二君外三名提出)

第二十三 關ヶ原木ノ本間鐵道速成ニ關スル建議案 (藤澤萬九郎君外二名提出)

第二十四 淡路縱貫鐵道敷設速成ニ關スル建議案 (千葉宮次郎君外二名提出)

第二十五 苦小牧廣尾間鐵道速成ニ關スル建議案 (手代木隆吉君外一名提出)

第二十六 京極紋鹽間及京極壯鹽間鐵道速成ニ關スル建議案 (手代木隆吉君外一名提出)

第二十七 磐梯山猪苗代湖ヲ中心トスル國立公園設定ニ關スル建議案 (八田宗吉君外一名提出)

第二十八 日光國立公園設置ニ關スル建議案 (高橋元四郎君外一名提出)

第二十九 速記ノ事項ヲ國定教科書ニ

記載ニ關スル建議案 (作間耕逸君外二名提出)

第三十 下關漁港速成ニ關スル建議案 (秋田實之介君外一名提出)

第三十一 高等工業學校設置ニ關スル建議案 (柳仲次郎君外六名提出)

第三十二 北海道高等學校設置ニ關スル建議案 (柳仲次郎君外六名提出)

第三十三 刑餘者ニ對スル法令ノ差別待遇撤廢ニ關スル建議案 (原夫次郎君外四名提出)

第三十四 生計調査ニ關スル建議案 (加藤綱一君提出)

第三十五 日南鐵道東部線速成ニ關スル建議案 (山道襄一君提出)

第三十六 酒田、觀音寺及眞室川間鐵道敷設ニ關スル建議案 (熊谷直太君外四名提出)

第三十七 今泉坂町間鐵道起點變更ニ關スル建議案 (石塚三郎君外四名提出)

第三十八 借家人ノ利益保護ニ關スル建議案 (廣瀬德藏君外四名提出)

第三十九 琵琶湖ヲ中心トスル國立公園設置ニ關スル建議案 (兼松寅太郎君外二名提出)

第四十 瀬戸内海ヲ中心トスル國立公園設定ニ關スル建議案 (山下谷次君外一名提出)

第四十一 鳥栖長尾間鐵道建設ニ關スル建議案 (加藤十四郎君提出)

第四十二 金鷄動章年金令改正ニ關スル建議案 (中野寅吉君外五名提出)

第四十三 蠶絲局設置ニ關スル建議案 (武藤金吉君外六名提出)

第四十四 蠶絲織物ノ單科大學設置ニ關スル建議案 (清水留三郎君提出)

第四十五 農業教育振興ニ關スル建議案 (加藤知正君外二名提出)

第四十六 鳥栖白井間鐵道建設ニ關ス

ル建議案 (山内範造君外三名提出) 第四十七 野岩羽鐵道速成ニ關スル建議案 (高橋元四郎君外二名提出)

第四十八 高等蠶絲學校建設ニ關スル建議案 (岡本實太郎君外二名提出)

第四十九 教員俸給支給法改定ニ關スル建議案 (建部逕吾君提出)

第五十 青森港ニ領事機關設置ノ交渉ニ關スル建議案 (王藤鐵男君提出)

第五十一 敦賀港ニ露國領事館設置ニ關スル建議案 (河崎清君外一名提出)

第五十二 伏木港ニ露國領事館設置ニ關スル建議案 (石原正太郎君外四名提出)

第五十三 少年團日本聯盟事業助成ニ關スル建議案 (山口義一君外二名提出)

○議長(粕谷義三君) 諸般ノ報告ヲ致サセマス

〔書記官朗讀〕 一政府ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ

大正十二年度第一豫備金支出ノ件

大正十二年度特別會計第一豫備金支出ノ件

大正十三年二月及三月中豫備金外ニ於テ豫算超過及豫算外支出ノ件

大正十三年三月中特別會計豫備金外ニ於テ豫算超過及豫算外支出ノ件

大正十三年度第二豫備金支出ノ件

大正十三年度豫備金外ニ於テ豫算外支出ノ件

大正十三年度特別會計第二豫備金支出ノ件

大正十三年度特別會計豫備金外ニ於テ豫算外支出ノ件

(以上三月三日提出)

染料製造獎勵ニ關スル法律案
船舶無線電信施設法案

(以上三月四日提出)

一議員ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ
家祿引直處分法案

提出者

關田 豐吉君 岡崎 邦輔君

關田 直彦君 中村啓次郎君

竹原 樸一君 松山常次郎君

新聞紙法中改正法律案

提出者

賴母木桂吉君 小山 松壽君

東 武君 安藤 正純君

秋田 清君 西村丹治郎君

恩給法中改正法律案

提出者

淺川 浩君 一柳仲次郎君

小池 仁郎君 山本 厚三君

澤田 利吉君 神部 爲藏君

手代木隆吉君 (以上三月五日提出)

國民諸和ニ關スル建議案

提出者

有馬 賴寧君

元西伯利居住民ニ對シ資金融通ニ關スル建議案

提出者

寺島 權藏君 武内 作平君

一柳仲次郎君 砂田 重政君

則元 由庸君 牧山 耕藏君

黑住 成章君 河崎 清君

小池 仁郎君 堤 清六君

佐々木平次郎君 岡田伊太郎君

山本 厚三君 淺川 浩君

八郎湖ヲ中心トスル國立公園設置ニ關スル建議案

提出者

信太儀右衛門君 村山喜一郎君

鹽田 團平君 井出繁三郎君

田中 隆三君 柳田清兵衛君

池田 泰親君

日本海沿岸鐵道完成ニ關スル建議案

提出者

松井 郡治君 中村 貞吉君

大竹 謙治君 建部 遯吾君

石塚 三郎君 山田 又司君

關矢 孫一君 山田 助作君

齊藤眞三郎君 石黒大次郎君

吉原 義雄君 加藤 知正君

富永孝太郎君

農業保險ニ關スル建議案

提出者

小西 和君 村上 國吉君

賴母木桂吉君 (以上三月三日提出)

營養主食糧ノ取締及獎勵ニ關スル建議案

提出者

荒川 五郎君 長岡 外史君

中原徳太郎君 高田 松平君

望月小太郎君 田中 善立君

建部 遯吾君

町村長優遇ニ關スル建議案

提出者

山田 道兄君

七尾港ニ露國領事館設置ニ關スル建議案

提出者

佐藤 實君

京都高等蠶業學校ニ製絲科設置ニ關スル建議案

提出者

川崎安之助君 村上 國吉君

(以上三月五日提出)

一去三日政府ヨリ受領シタル答辯書左ノ如シ

衆議院議員湛增庸一君提出農村保健衛生ニ關スル質問ニ對スル答辯書

衆議院議員長峰與一君提出善良ノ風俗公ニ關スル質問ニ對スル答辯書

衆議院議員長峰與一君提出善良ノ風俗公ニ關スル質問ニ對スル答辯書

農村保健衛生ニ關スル質問主意書

右成規ニ據リ提出候也

大正十四年二月二十一日

提出者 湛增 庸一

農村保健衛生ニ關スル質問主意書

國民體格ノ健全ハ國家ノ進運ニ最重要ナル關係ヲ有ス而シテ強健ナル國民ノ體格ハ農村ニ於テ保持増進セラルモノナリ然ルニ我カ國ノ農村ニ於ケル衛生施設ノ不備ト農民ノ經濟的窮迫ノ爲ニ農村居住者一般ノ健康狀態ハ近時誠ニ寒心ニ堪ヘ

サルモノアリ是レ實ニ國家社會ノ重大問題ニシテ速ニ適當ナル方策ヲ講セサレハ國家ノ前途ニ憂慮スヘキ事態ヲ誘起スルニ至ルヘシ此ノ事實ニ對シ政府ハ如何ナル方策ヲ採ラムトスルヤ
右及質問候也

大正十四年三月三日

内閣總理大臣 子爵加藤 高明

衆議院議長 粕谷義三殿

衆議院議員湛增庸一君提出農村保健衛生ニ關スル質問ニ對シ別紙答辯書差進候

内務省閣衛第一五號

(別紙)

衆議院議員湛增庸一君提出農村保健衛生ニ關スル質問ニ對スル答辯書

我國ニ於ケル農村衛生ニ關シテハ異ニ大正五年六月二十七日内務省ニ保健衛生調査會ノ設置セラルルニ當リ特ニ農村衛生ニ關スル部門ヲ設ケ次之カ改善ニ資スル目的ヲ以テ大正七年七月九日同會聯合主査會ノ決議ニ基キ我國農村衛生狀態ノ實地調査ヲ施行スルニ決シ本省ハ直接全國九ヶ所ノ農村ニ就キ之カ實地調査ヲ行フト共ニ一面ニ於テハ大正十年以降各地方廳ヲシテ本省援助ノ下ニ同一標準同一調査方法ニ依リ各地方農村ニ就キ同様調査ヲ施行セシメ現在尙引續キ調査中ニ屬ス從テ今之カ總成績ヲ舉クルヲ得サルモ本省ニ於ケル調査成績ニ依レハ現今我農村衛生上注意スヘキ事項ト認ムヘキハ農村住民人體寄生蟲蔓延ノ著シキコト、各種疾病ノ多キコト、農村住民體格ノ優良ナラサルコト、農村飲料水ノ不良ナルコト、醫藥機關ノ不備ナルコト、乳兒死亡ノ多キコト、農村住宅ノ不衛生ナルコト、農村住民保健知識ノ特ニ缺乏セルコト、等ヲ舉ゲ得ヘク更ニ地方廳ニ於ケル全成績ノ完成ヲ見レハ略全國ノ狀況ヲ推定スルヲ得ルニ至ルヘシ、而シテ既ニ現在ニ於テ全國農村ヲ通シ其蔓延ノ明カナル人體寄生蟲ノ驅除ノ如キ不良ナル飲料水ノ改善ノ如キ、補助其他ノ方法ニ依リ

地方ヲ督勵シツツアルモ全般ニ互ル改善ニ關シテハ一面基礎調査ノ進捗ト相俟チ又中央及地方財政ノ許ス範圍ニ於テ速カニ方策ヲ確立シ之カ實行ヲ期セムトス
右及答辯候也

大正十四年三月三日

内務大臣 若槻禮次郎

善良ノ風俗公ノ秩序ニ關スル質問主意書

右成規ニ據リ提出候也

大正十四年二月二十四日

提出者 長峰 與一

善良ノ風俗公ノ秩序ニ關スル質問主意書

善良ノ風俗ヲ守リ公ノ秩序ヲ維持スル精神著シク廢弛シ破倫ヲ行フ敢テシテ恥ス痴態ヲ演シテ憚ラス世道人心ヲ蠱毒シ民心ノ作興得テ望ムヘカラス俗風ノ肅正亦期スヘカラス政府ノ之ニ對スル所見如何右及質問候也

大正十四年三月三日

内閣總理大臣 子爵加藤 高明

衆議院議長 粕谷義三殿

衆議院議員長峰與一君提出善良ノ風俗公ノ秩序ニ關スル質問ニ對シ別紙答辯書差進候

(別紙)

衆議院議員長峰與一君提出善良ノ風俗公ノ秩序ニ關スル質問ニ對スル答辯書

近時動モスレバ人心弛緩シ時ニ人倫ノ道ヲ誤ル者アルハ政府ノ深ク遺憾トスル處ナリ政府ハ益教育ノ改善振興ヲ圖リ特ニ國民道德ノ涵養ニ努ムルト共ニ社會教化施設ニ依リ國民精神ノ作興ヲ促シ時弊ヲ矯メムコトヲ期シ現ニ努力シツツアリ

大正十四年三月二日

内務大臣 若槻禮次郎

文部大臣 岡田 良平

一今五日政府ヨリ受領シタル答辯書左ノ如シ

衆議院議員黒住成章君提出司法權ノ運用

並司法事務能率増進ニ關スル質問ニ對スル答辯書

司法權ノ運用並司法事務能率増進ニ關スル質問主意書

右成規ニ據リ提出候也
大正十四年二月三日

提出者 黒住 成章

司法權ノ運用並司法事務能率増進ニ關スル質問主意書

一 司法官憲ニ對スル吾カ國民ノ觀念ハ封建以來因襲ノ久シキ今ニ不安ト恐怖ノ念ヲ以テ迎ヘ親善ノ念ニシテハ國民保護唯一ノ國權行使タル司法威信ノ爲メニ憂慮ニ堪ヘス政治更新ノ秋ニ方リ國民ヲシテ司法官憲ニ對スル親善信賴ノ念ヲ深カラシムルコトニ關シ司法當局ハ如何ナル抱負ヲ有スルヤ

二 時代ノ進歩ト共ニ世相複雜トナリ爭訟事案ノ紛糾益多キヲ加フ殊ニ震災災後ニ於ケル帝都ノ法衙ニ於テ一層其ノ甚シキヲ認ム從テ事務滿溢シ民人ノ實生活ニ副ハサルノ憾アリ之ニ對シ當局ハ如何ナル所見ヲ有スルヤ

三 國家ノ根本組織ヲ脅威スル行動ニ對シ捜査上又處分上遺憾ノ點點カラス罪形小ナリト雖現下ノ思想界ニ於テハ其ノ影響スル所甚タ大ナリト信ス之ニ對スル當局ノ所見如何

四 辯護士法改正法律案ハ明治四十五年以來屢々議院ヨリ提出セラレ審議研究サルコト十有三年然ルニ今ニ政府ハ其ノ提案ヲ爲ササルハ如何ナル理由ニ基キヤ時代ノ進歩ニ伴ヒ辯護士ノ個性人格ヲ尊重シ辯護士團體ノ社會道德ノ向上ニ意ヲ致シタル改革ヲ速ニ爲ササルヘカラスト信ス當局ノ所見如何

五 陪審法施行ニ付司法當局ハ如何ナル準備用意ヲ爲シツアリヤ

イ 陪審員タラムトスル民衆ニ對スル訓練

ロ 陪審裁判官タラムトスル者ニ對スル指導殊ニ修習遣外裁判官ヲ汎ク一般ヨリ選擇セサル理由

ハ 裁判所設備

六 檢事局カ不起訴書類ノ取寄ニ應セサルハ被疑者ノ名譽ヲ重ムスル趣意ナラムモ其ノ本人ニ於テ學識上必要ナル場合尙之ニ應セサルハ司法運用ノ根本精神ニ反セサルヤ

七 辯護士以外ノ訴訟當業者ニ對シ如何ナル取締ヲ爲サルトスルヤ殊ニ其ノ假裝又ハ信託的讓渡ノ行爲ニ對シ特殊立法ヲ爲スノ意ナキ當局ノ所見如何

八 全國辯護士會長ヲ司法官會議ニ參加セシムルハ相互ニ司法事務ノ運用ヲ理解セシムル且同時ニ司法事務能率ヲ増進セシムルモノアリト信ス之ニ對シ政府ノ所見如何

九 辯護士及私立法律學校教授ヲ司法官及辯護士登用試験ノ試験委員ニ採用セサル理由如何

十 借地借家調停法施行後ノ成績如何具體的ニ答辯アリタシ

右及質問候也

大正十四年三月五日
內閣總理大臣 子爵加藤 高明
衆議院議長 伯爵谷 義三
衆議院議員 黒住成章君提出司法權ノ運用並司法事務能率増進ニ關スル質問ニ對シ別紙答辯書差進候

〔別紙〕
衆議院議員 黒住成章君提出司法權ノ運用並司法事務能率増進ニ關スル質問第一、二、三、六、九、十項ニ對スル各辯書

二、訴訟事務ノ處理ニ付テハ絶ヘス最善ノ努力ヲ致シツアルニ拘ラス訴訟事件ノ激甚ナル増加ハ往々ニシテ事件ノ滯滞ヲ來サシムルノ已ムナキニ至ルヲ遺憾トス司法當局ハ民事訴訟法ノ改正ト相俟テ裁判所ノ擴張、人員ノ充實、其ノ待遇ノ向上等ニ依

三、國家ノ根本組織ヲ脅威スルカ如キ事犯ノ近時激増シタルハ遺憾ナリ司法當局ハ搜索並ニ處分ニ付細心ノ注意ヲ拂ヒツツアリ而シテ各個ノ事犯ニ付テハ之レカ訴追ヲ爲シ刑罰ヲ加フヘキヤ否ヤニ付テハ充分ナル考慮ヲ加ヘツツアリ從テ非違ヲ發見シタル場合ニ於テ事極メテ輕微ニシテ其ノ處罰ノ適當ト爲ササル場合ニ於テハ不起訴ノ處分ヲ爲シタル事例アリ然レトモ此ノ種ノ犯罪ニ付テハ罪形小ナル故ヲ以テ放置スルコトナク充分ナル意ヲ致スハ勿論更ニ進デ其ノ因テ來ル原因ヲ探究シ犯罪ノ防遏ニ付些ノ違算ナカラシメサルヘカラスト

六、不起訴書類ヲ民事裁判ニ採用スルコトハ相當便宜アリト信スルモ之ニ依リ被疑者ノ名譽ニ影響ヲ來ス場合アルヘク又起訴猶豫若ハ微罪不檢舉ノ處

分ヲ爲シタル案件ニ付テハ公益上之ヲ開示スルヲ適當トセサルモノアリ此ノ理由ニ因リ改正刑事訴訟法ハ其ノ第五十五條ニ於テ訴訟ニ關スル書類ハ公判開廷前ニ於テ之ヲ公ニスルコトヲ得スト規定シ趣旨ニ於テ不起訴記録ヲ他ニ提供スルコトヲ禁シタリ

九、辯護士又ハ私立學校ノ教授ヲ司法官又ハ辯護士試験委員ニ採用セサルハ現今ノ試験制度ニ於テ之ヲ許ササルニ因リ政府ハ該法制ヲ改正スヘキヤ否ヤニ付テハ充分ノ考慮ヲ爲スヘシ

十、借地借家調停法施行後ノ成績ハ別表ニ示ス如クニシテ極メテ良好ナリト追テ爾餘ノ質問ニ對シテハ彙ニ本會議ニ於テ答辯濟ニ有之候

大正十四年三月五日
司法大臣 小川 平吉

地方裁判所受理
管內別所受理
東京 一三、九四九 一〇、三四九 一六六 二、九九二 一三、五〇七 四四二
横濱 五五九 四九二 六 三三 五三三 二六
京都 二七九 二二〇 四 四二 二六六 一三
大阪 一二七五 九八三 二二 一九四 五 一、二〇三 七二
神戶 二二八 一六二 一一 三三 二 二〇八 一〇
計 一六、二八〇 一一、二〇六 二〇九 三、二九三 九 一五、七七一 五六三

〔左ノ報告ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノ爲メ茲ニ掲載ス〕
一、去三日議長ニ於テ選定シタル委員左ノ如シ
明治三十二年法律第七十號中改正法律案外三件委員
神田 正雄君 横山 一格君
齋藤太兵衛君 佐藤 實君
下元鹿之助君 由谷 義治君
永井 作次君 安部 庸三君
龍 純義君 井坂 豐光君
委員
小池 仁郎君 太田信治郎君
中原徳太郎君 平川松太郎君
加藤 鯛一君 戸田 由美君
本多貞次郎君 土屋 興君
吉村 伊助君 川口 義久君
森 肇君 志賀和多利君
飯村 五郎君 赤間壽之吉君
古川 清君 杉 宜陳君
砂田 重政君 清瀬 一郎君
震災被害地ニ營業稅免除ニ關スル法律案

樞密 尙君 安藤 正純君

宮崎三之助君 矢野 鈺吉君

若尾幾太郎君 本田 義成君

浦山助太郎君 林田龜太郎君

一、去三日治安維持法案委員松浦五兵衛君、

降旗元太郎君、中谷貞賴君辭任ニ付其ノ

補關トシテ中村嘉善君、田中善立君、廣

瀬德藏君ヲ、會計士法案委員井本常作君

辭任ニ付其ノ補關トシテ關俊吉君ヲ執レ

モ議長ニ於テ選定セリ

一、昨四日教育ノ機會均等ニ關スル建議案外

六件委員倉元要一君、土生彰君辭任ニ付

其ノ補關トシテ丸山浪彌君、内ヶ崎作三

郎君ヲ執レモ議長ニ於テ選定セリ

一、去三日理事補關選舉ノ結果左ノ如シ

治安維持法案委員

理事 廣瀬德藏君 (理事中谷貞賴君補

關)

鐵道敷設法中改正法律案委員

理事 石坂豐一君 (理事今里準太郎君

補關)

一、去三日常任委員補關選舉ノ結果左ノ如シ

第五部選出

豫算委員 橫山勝太郎君 (松田三德君

補關)

一、昨四日常任委員補關選舉ノ結果左ノ如シ

第一部選出

豫算委員 高見之通君 (松田源治君補

關)

第一部選出

請願委員 堤清六君 (浦山助太郎君補

關)

昨四日委員長及理事互選ノ結果左ノ如シ

明治三十二年法律第七十號中改正法律案

外三件

委員長 砂田 重政君

理事 橫山 一格君 志賀和多利君

杉 宜陳君

震災被害地ノ營業稅免除ニ關スル法律案

委員長 小池仁郎君

理事 安藤 正純君 本田 義成君

林田龜太郎君

○議長(粕谷義三君) 是ヨリ會議ヲ開キマ

ス、御諮リ致スコトガアリマス、田口文次

君病氣ニ付、三月四日ヨリ三月十七日マデ、

西英太郎君病氣ニ付、三月七日ヨリ三月二

十日マデ、右兩君ヨリ請假ノ申出ガアリマ

シタ、許可スルニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ〕異議ナシト呼フ者アリ

○議長(粕谷義三君) 御異議ナシト認メマ

ス、仍テ許可致シマス——議事進行ニ關シテ

發言ヲ求メラレテ居リマス、之ヲ許シマ

ス——中林友信君

〔中林友信君登壇〕

○中林友信君 諸君、私ハ茲ニ議事進行ニ

付テノ發言ノ許シヲ得マシテ、森田代議士

ノ遭難事件ニ付キマシテ最も眞面目ニ、最

モ眞切味ニ、私ハ政黨員タルノ立場ヨリ

ハ、寧ロ我が帝國ノ代議士トシテ、我が立

憲政體ノ議員ト致シ、殊ニ私共選出サレマ

シタ大阪府ノ同僚ト致シ、又特ニ私ト席ヲ

隣ニ致シテ居リマス森田代議士ノ立場ト致

シマシテ、私ハ茲ニ一言自分ノ思フ所ヲ披

瀝致シマシテ、諸君ノ御清聴ヲ煩ヒタイト

思フノデアリマス、去ル三月二日ニ於ケル

森田代議士ノ議場内及議場外ニ於ケル遭難

事件ニ付キマシテハ、森田君ノ友人トシテ

多數同僚諸君ノ御慰問ヲ得マシタコト、

各政黨ヨリ代表者ヲ出シテ御慰問下サレマ

シタコト、更ニ温情ナル議長及副議長ガ

昨日森田君ヲ御慰問下サレタコトハ、私ハ

同府ヨリ選出サレタ者ト致シマシテ、實ニ

満足ノ意ヲ表スルノデゴザリマス、併ナガ

ラ三月二日ニ於ケル其現場ノ光景ニ於キ

マシテハ、私ハ實ニ遺憾限リナイノデゴザ

リマス、諸君、三月二日ニ於ケル倉元代議

士ノ演說ニ當リテ、其原稿ヲ奪取サレ、其原

稿ヲ取去ラレマシタ事柄ニ付キマシテハ、

既ニ我黨ノ則ニ於テ事柄ニ付キマシテハ、

ルノデゴザリマスガ故ニ、私ハ此事件ニ對

シマシテハ多言ヲ費サヌノデゴザリマス、

併ナガラ倉元君ガ此演壇ヨリ去リマシテ、

議場ノ東南隅ノ革新俱樂部ノ諸君ノ出入リ

サレラフノ「ドアー」ヲ開ケテ、倉元君ガ本

黨ノ控室ニ歸ラレマス其途中ヲ擁護シ

テ、後ヨリ附イテ行ク者ハ私デアリ

ス、其際ニ於キマシテハ數十名ノ暴漢ト

言ヘバ或ハ語弊ガアルカモ知レマセヌガ、議

場ニ出入スル微聲ヲ有シタ人ガ數十名、議

場ノ表方關ノ方ニ當リテ立テ居ラレタノデ

アリマス、而シテ倉元君ト私ト通行スルヤ、

倉元デアル倉元デアルト云フ言葉ヲ以テ餘

リ暴行ノ態度ハナカッタノデアリマスルガ、

向フノ關ノ所ヲ倉元君ガ廻リマスルトキ

ニ、暴漢ガ倉元君ヲ投倒シタノデアリマ

ス、而シテ多數ノ院外ノ人ガ、暴漢ガ政友

本黨ノ控室ニ襲來致シタノデアリマス、其

事ハ私ハ事實目撃ヲ致シテ、而シテ更ニ引

返シテ來マスルト、森田ガヤラレテ居ルト

云フ聲ヲ聞キマシテ、私ハ直ニ此森田君ノ

現場ニ立到ラウトシタノデアリマスルガ、其

時ハ早數十名デハナイ、百名以上ノ群衆ニ

ナッテ居リテ、而モ守衛ノ方ニ遮ラレテ、森

田君ノ近クニ近寄ルコトガ出來ナカッタノ

デアリマス、而シテ現在ノ「演ヲカンデヤ

レト」呼ブ者アリ、(笑聲)

○議長(粕谷義三君) 靜肅ニ願ヒマス

○中林友信君(續) 諸君、此問題ハ至極眞

面目ナル問題デアリマス、故ニ私ハ政黨的

感情ヲ離レテ御話ヲ致シテ居ルノデアリマ

ス、私ノ誠意ハ決シテ諸君ノ野次ヲ受ケ、

若クハ諸君ノ冷笑ヲ受ケル氣分デヤッテ居

ラスノデアリマス、苟モ立憲政體ノ言論ノ

府ニ於テ、院ノ内ヨリ、院ノ外ヨリ、所謂

議場内ト議場外トヨリ議員ガ挾撃ヲ受ケ

テ、而シテ其挾撃ヲ受ケタ森田代議士ハ、

一昨日アタリノ容態デハ至極重症デアッテ、

新聞ニモ危篤ナリト傳ヘラレマデノ大問

題デアリマス、此問題ニ對シテハ、若モ諸

君ガ一片ノ誠意モ無イトスレバ、普通選舉

ヲ唱ヘラレル今日ニ於テ、院ノ議場内ト議

場外トニ於テ斯ノ如キ暴行ト、斯ノ如キ暴

ガアリト云フコトヲ、普通選舉後ノ狀態ニ

想起シマシタナラバ、私ハ實ニ精神寒カラ

ザルヲ得ヌノデアリマス、是ニ於テ私ハ自

分ノ同僚、自分ノ同府縣ヨリ出マシタ森田

君ノ遭難ニ對シテ、第一ニ私ハ議長ハアノ

事情ノ實際ヲ今日マデ如何ニ御取調ヘガア

リマシタカ、又今日以後ニ於テ、森田君ノ

議場内及議場外ノ座下ニ於テ起リタルアノ

遭難、アノ負傷ニ對シテハ議長ハ如何ナル

御取計ヲ爲サレルモノデアアルカト云フコト

ヲ伺ヒタイノデアリマス、同時ニ第二ニ、

三月二日ヨリ本日マデ早三日間ハ費シテ、

四日目ニナリテ居ルノデアリマス、其間ニ

於テ議長ハ如何ナル取調ヲサレタカ、其

事實ノ報告ヲ承リタイノデアリマス、第三

ニ於キマシテハ、私ハ倉元君ニ追隨シテ、

此暴漢ノ我黨ノ控室ニ這入ッテ來ルコトヲ

防イダノデアッテ、森田代議士ガ果シテ如

何ナル地點ニ於テ、如何ナル地位ニ於テ此

負傷ヲシタモノデアアルカト云フコトヲ具サ

シタ結果ト致シマシテ、其暴行ハ議場内

ニ起リタコト、座下ニ起リタコト、何レガ重

大ナリシヤト云フコトヲ知リタイノデアリ

マス、尤モ休憩後デアリマシタ故ニ、議長

ハ此議長席ニ居ラレザルガ故ニ、詳シク御

存知ナイト仰セラレルカモ知レマセヌガ、

若モ議長ガ議長席ニ居ラレザル場合ニ於テ

ハ、警務課若クハ守衛ノ者ガ相當ニ此議場

内及議場内ヲ警護シテ居ルニ違ヒナイノデ

アリマスカラシテ、ソレ等ノ者ノ報告ハ如

何ナリシヤト云フコトヲ知リタイノデアリ

マス、第四ニハ守衛ナルモノハ單ニ立番ダ

ケガ守衛ノ任務デアアルカ、議場ノ「ドアー」

ノ出入口及座下ニ於テ立番ヲシテ居ルダケ

ガ、守衛ノ任務デアッテ、臨時事ノ起リタ

ニ守衛ハ之ヲ相當ノ處置ヲ致スト云フコト

ガ守衛ノ任務ニアラザルヤ、然ルニ守衛ハ

本黨ノ控室ニ多數亂入シテ來マシテモ、矢

張本黨ノ控室ノ前ノ所ニ守衛ハ唯、立ッテ

居ンタマケデアアルト云フコトデアッテ、私ハ

此事ガ起リテ居ルノニ、守衛ガ何故默ッテ居

ルカト云フ言葉ヲ聞イテ、初メテ守衛ガ活

動ヲシ始メタノデアリマスカラ、守衛ニ對

スル命令ハ如何ニ行ハレテ居ルカト云フコ

トヲ聞キタイノデアリマス、第五ニ於テ

ハ、院内ノ醫者ハドッ云フ醫者デアアルカ、

如何ナル經驗ト如何ナル學識ト、如何ナル

病狀ニ對スル手當ノ方法ヲ知テ居ル醫者
デアアルコト云フコトヲ聞キタイノデアアリマ
ス、即チ第六ニ於テ、議員ガ負傷シタ場
合ニ於テ、森田君ハ宿ニ歸リテカラハ非常
ニ重態ニナリ、他ノ醫者ニ診テ貰フ所ガ、
是デハ腦髓血ヲ起スカ、心臓麻痺ヲ起ス
カ、今此胸ガ痛クテ心臓ニ如何ナル影響
ヲ來スカ分ラザル狀態ニ在リ、身體ノ一
部ハ若モ生命ヲ取留メルトモ不具癡疾ニナ
ルダケノ容態デアアルニ拘ラズ、警務室ニ之
ヲ收容シタ場合ニ於テ、私ハ窓ノ外ヨリ硝
子越シニ見マシタ所ガ、晏然トシテ椅子ニ
腰ヲ掛ケサセテ居リタト云フコトハ、警務
室及――議員ガ之ヲ手當ヲスルニ、吾々ノ
貴重ナル此身體ニ對シテ甚ダ冷淡ニアラザ
リシヤト云フコトヲ聞キタイノデアアリマ
ス、(山猫ハ直グ治ル)「山猫」歩イテ歸リタ
ヤナイカハ、呼フ者アリ、其事ハ御憤ミナサ
イ此場合ハ――第七ニ於テハ成程當時騒ガ
シイ場合デアアリマシタガ故ニ、警務室ニ何
人モ出入ヲ禁ゼラレルノハ時ノ措置ニ於テ
宜シキヲ得タノデアアラウト思ヒマスルガ、
私ハ此廊下ニ於テ前代議士南鼎三君ニ出會
ヒマシタト云、南君ハ森田ハ死シテ居ラ
ヌカト云フ言葉ガアツタノデアアリマス、其
故ニ私ハ慌テ、本黨ノ幹事ト致シ、更ニ大
阪府ノ選出ノ同僚ト致シテ、警務室ニ這入
ルコトヲ守衛ノ人ニ再三頼ミマシタガ、守
衛ハ入レテ呉レナカッタノデアアリマス、守
衛ニ對スル命令ハ何人モ出入ヲ禁ゼラレテ
アルノデアアルガ、其場合ニ於テ守衛ハ臨機
ノ處置ヲ執リナケレバ、森田君ノ家族親戚
ハ居ラヌノデアアル、家族親戚ノ居ラザル以
上ハ同郷ノ代議士ガ最も森田君ノ事情ヲ知
テ居ルノデアアルカラ、直ニ如何ナル處置ヲ
爲スカト云フコトヲ考ヘタイノデアアリマ
ス、其餘地ヲ與ヘラレナカッタノハ、守衛
ニ對スル警務課ノ命令ハ、守衛ハ唯、木偶ノ
坊ノ如クニ守リテ居レバ宜イト云フダケノ
平素ノ命令デアアルヤ否ヤ問キタイノデア
アリマス、第八ニ於キマシテハ、吾々ガ此廊
下ヲ歩クニ當リ甚ダ危險デアアル、身邊ニ如
何ナル危害ヲ來スカ分ラナカッタノデアアル

ガ故ニ、議長ニ向テ相當ノ警戒ト相當ノ
用意ヲ願ヒタイト云フコトヲ申出デマシ
タ、其際ニ於テ議長室ハ何人カ知リマセヌ
ガ、私ノ知ル所ニ於テハ大臣ガ這入リテ居
ラレタサウデアアリマスガ、大臣ニハ相當ノ
大臣室ガアル筈デアアルノニ、議長室ハ緋メ
ラレテシマツテ、他ノ吾々反對黨ノ議員ハ議
長室ニ於テ議長ト此交渉ヲスルコトノ出來
ナイノハ如何デアアルカ、議長室ハ他ノ人ガ
占領シテ然ルベキモノデアアルコト云フコト
ヲ伺ヒタイノデアアリマス、最後ニ於テ――
最後ニ於テ憲政布カレタカラ以來三十有餘
年ノ間、議場内ニ於テ流血ヲ見タコトハ去
ル日ニ於ケル猪野毛君ノ問題ト、而シテ森
田君ノ問題トデアアリマス、此流血ヲ見ルヤ
ウナコトハ、議長トシテハ餘程責任ノ重イ
モノト思ヒマシテ、(守衛ノ問題ハドウシ
タ)ト呼フ者アリ、守衛ノ問題ニ對シテモ此
問題ニ對シテモ、議長ハ如何ナル責任ヲ持
タレルモノデアアルコト云フコトヲ伺ヒタイ
ノデアアリマス、少クトモ吾々ニハ十三萬人
ノ國民ガ附イテ居ルノデアアル、少クトモ吾
吾々ニハ八千人ノ選舉有權者ガ附イテ居ルノ
デアアル、故ニ吾々ノ一身ハ自己ノ一身ニ非
ズシテ、選舉區ニ於ケル十三萬人ノ國民、
而シテ八千人ノ有權者ト、而シテ六千萬國
民ノ代表者トシテノ立場ニ在ルノデアアリマ
ス、此者ガ斯ル危害ヲ受ケタニ拘ラズ、議
長ガ晏然トシテ居ラレルト云フコトハ、議
長ノ責任ハ何レニ在ラト云フコトヲ私ハ
伺ヒタイノデアアリマス、而シテ議場内ニ於
ケル事ハ議長ノ采配ニ依リマスルガ、廊下
ニ於ケル問題ニ付テ斯ノ如ク國家ノ選良ガ
身體ト生命ノ安全ヲ得ザル危險地ニナリ
タ場合ニ於テ、司法大臣及内務大臣ハ如何
ナル考ヲ持テ居ラレルコト云フコトヲ伺
ヒタイノデアアリマス、是ダケニ對シテ明快
ナル御答辯ヲ得ナケレバ、私共ハ安心シテ
議院ニ出席スルコトガ出來ナイノデアアリ
マスガ故ニ、議事進行ノ上ニ於テ一大關係
アリト信ズルガ故ニ、私ハ感情ヲ離レ、最も
冷靜ナル頭ヲ以テ、茲ニ是ダケノ御答ヲ致
ス次第デゴザリマスカラ、願クバ明快ナル

御答辯ヲ得タイト思フノデアアリマス(拍手
起ル)
○議長(粕谷義三君) 只今中林君ヨリ數項
ニ涉ル議長ニ對スル御質問ガゴザリマシ
タ、ソレヨリ前ニ私ハ茲ニ一言申上ゲナケ
レバナラヌ事ガアリマス、去ル二日普選案
上程ノ日ニ於キマシテ、議長ガ倉元君ニ對
シテ發言ヲ禁止シマシタ件、及議院ノ内
外ニ於キマシテノ出來事ニ對シマシテ、一
昨三日則元君及吉良君ノ兩君ヨリ議事進行
ニ關スル御發言ニ於テ、議長ニ對スル御尋
ガアリマシタ、其事ハ當日副議長ヨリモ承
リ、且ツ速記録ニ依リテ詳細拜讀致シマシ
タ、實ハ其日少シク健康ヲ害シテ居リマシ
タノデ、小泉副議長ノ御代理ヲ願ヒマシタ
爲ニ、直ニ御答ヲ致ス運ビニ至リマセヌデ
デアリマス、則元君ノ御尋ハ大體三點デア
リマス、第一ハ議長ガ倉元君ノ御演說ヲ制
止シタ理由ハドウ云フコトデアアルカ、斯ウ
云フ御尋デアアリマス、議長ハ當時大體ノ理
由ヲ申述ベテ置キマシタガ、更ニ茲ニ御答
ヲ致シマス、諸君ノ發言ノ權利ハ最も重大
ナル權利デアリマシテ、之ヲ尊重致サナケ
レバナラヌ事ト云フコトハ論ヲ俟タヌノ
デアアリマス、私ハ常ニ此信念ヲ以テマシテ
ナガラ其言論ガ法規ニ關シマスル場合ハ申
スマデモナイノデアアリマス、假令法規ニ明
文ガ無イト致シマシテモ、若シ其言論ガ議
事ノ進行ヲ妨ゲルモノト認メマシタ場合ニ
ハ、議長ハ議長ノ權能ニ於テ之ヲ制止シ得
ベキモノト信ジテ居リマス(拍手起ル)而シ
テ之ヲ制止致シマシタル所ノ先例ハ多々ア
ルノデアアリマス、何レモ議事進行ヲ妨ゲル
ノ故ニ基イテ居ルト信ジマス、御承知ノ如
ク倉元君ハ當日登壇セラレマスヤ、議長ニ
對シテ數箇月間病氣ヲ致シテ咽喉ヲ痛メテ
居ルカラ、大聲ヲ發シ得ナイ、尙ホ議場ガ
騒グト演說ガ出來ナイカラト云フコトヲ御
斷リニナリマシタ、併シ御演說ヲ承テ居
リマスルト、相當ニ大キナ聲ヲ出サレテ居
マス(拍手起ル)議場少シク批評ヲ致シマス

ル者ガアリマスルヤ、忽チ演說ヲ中止セラ
レマシテ、サウシテ緩々ト御演說ニナリマ
シタ、如何ニモ御病氣後デアルト拜察ヲ致
シマシタ、斯ノ如ク致シマシテ、倉元君ハ
其演說ノ初ヨリ議長ガ之ヲ制止シマスマ
デ、一時間餘ヲ費サレマシタ、時間ヨリ申
シマスナラバ決シテ長イトハ申セマセヌケ
レドモ、其演說ノ大半ハ參考文書ノ朗讀ニ費
サレテ居ルノデアアリマス(拍手起ル)即チ普
選ガ輿論デアイト云フコトノ引證ト致シマ
シテ、憂國熱血團總本部ト云フ所カラ出タ
宣傳ビラ、或ハ東京在郷陸海軍將校有志團
カラ出タ印刷物、或ハ全國陸海軍將校團カ
ラ出タ印刷物、或ハ愛澤寧堅氏其外二三氏
ノ普選反對意見書等ヲ長々ト讀上ゲラレマ
シタ、當日演說者ノ通告ハ御承知ノ如ク三
十有餘名ノ多數ニ上リテ居リマシテ、其中
僅ニ五名ノ演說ガ済シタノミデ、後ト二十
有餘名ヲ殘シテ居リマス、議長ハ諸君ノ言
論ヲ抑壓セントシタル者デアアリマセヌケ
レドモ、倉元君ニ對シマシテハ屢、其論旨ヲ
進メラレシコトヲ注意シ、且ツ參考書類ハ
速記録ニ掲載スルノ便宜モアルコトデアリ
マスカラ、時間ヲ尊重セラレ、德義ヲ以テ
參考文書ノ朗讀ヲ止メラレシコトヲ望シ
ノデアアリマス、何トナレバ同君ノ演壇ノ上
ニハ吉良君ガ後カラ御居ニナリマシタ分ヲ
併セマス、吉良君モ言ハレマス通り、十數
冊ガ堆ク積マレタツタノデアアリマス、之ヲ
悉ク朗讀セラレマスノニ、何時間ヲ要スル
カ分ラヌノデアアリマス(拍手)サウシテ倉元
君ハ議長ノ注意ニモ拘ラズ、更ニ他ノ文書ヲ
朗讀セラレントシタノデ議場騷擾ヲ來シ、私
ヲシテ遂ニ休憩ヲ宣スルノ止ムナキニ至ラ
シメタノデアアリマス(拍手)斯ノ如ク倉元君
ノ執ラレマシタ態度ハ、即チ參考文書ノ朗
讀ニ長時間ヲ費サレ、少シモ其論旨ヲ進メ
ラレマセヌコトハ、議長ニ於テハ遺憾ナガ
ラ議事ノ進行ヲ妨ゲラレルモノト認メマシ
テ(拍手)尙ホ此上同君ガ其參考文書ノ朗讀
ヲ繼續セラレマスコトハ、徒ニ議場ノ騷擾
ヲ醸シ、議事ハ妨グタルモノト信ジマシ
テ、議長ハ常識ノ判斷ニ依リマシテ、議長

ノ權能ニ於テ倉元君ノ發言ヲ停止致シタルノ
デアリマス(拍手)第二ノ御尋ハ森田代議士
ノ御負傷ニ關聯致シマシテ、之ニ就テ議長
ハ如何ナル處置ヲ取リシカ、將來院內ノ取
締ヲ如何ニスルカト云フコトデアリマス、
此出來事ハ休憩中議場ノ外ニ起リマシタ
ス、議長ハ之ヲ目撃致サヌデアリマス、
斯ノ如キ豫期セザル所ノ暴行事件ガ起リマ
シテ、森田君ガ重傷ヲ負ハレマシタ事ニ對
シマシテハ、私ハ甚ニ限リナキ遺憾ノ意ヲ
表シマスルト同時ニ、森田君ニ對シテ深甚
ナル御同情ノ念ヲ禁ズルコトガ出來ナイノ
デアリマス、此事件ニ付キマシテハ、議長
ニ於キマシテモ十分調査ヲ致シ、適當ノ處
置ヲ執ル考デアリマス、尙ホ將來院內ノ取
締ニ關シマシテハ、近時ノ出來事ニ鑑ミマ
シテ、院內ノ治安ヲ保ツ上ニ於テ最善ノ努
力ヲ致シマス考デアリマス、第三ノ御尋ハ、
何故ニ平井光三郎君ト清水留三郎君トヲ懲
罰ニ付セナカッタカ、甚ダ不公平ナル處置
デアルト云フ御尋デアリマス、成程平井君
ハ倉元君ノ御演說中此演壇ノ所ニ登ラレマ
シタ、併シ何ヲ爲サシタカト云フ、倉元
君ノ參考文書ヲ視カレタノデアリマス、議
長ハ同君ニ對シテ降壇ヲ命ジマスルヤ、直
ニ其命ニ從ハレマシタ、他人ノ演說中此演
壇ニ登リマスコトハ善イ事トハ存ジマセ
ヌ、併ナガラ議長ノ懲罰權ハ最も重大ナル
モノデアリマスシテ、是ハ濫ニ行使スベキモ
ノデナイト信ジテ居リマス(ヒヤ)「拍
手」而シテ當日平井君ノ行動ハ、議長ニ於
テハ懲罰ニ付スルノ程度ニアラズト認メタ
ノデアリマス(拍手)清水君ニ在テハドウ
云フコトヲ爲サレタカ、是ハ休憩ノ後ノ事
デアリマスシテ、議長ハ目撃致シテ居リマ
ス、則元君ハ之ヲ休憩前ノ如ク言ハレマシ
タ、議長目録デアリ以上ハ、直ニ洞見シ得
ル事デアラウト述ベラレテ居リマスガ、清
水君ノ事ハ則元君ノ御考違ヒデハナイカト
私ハ考ヘマス(拍手)隨テ清水君ヲ議長ニ於
テ懲罰ニ付スルコトハ出來マセヌ、議長ハ
決シテ偏頗ノ處置ヲ爲ス考ハ何時モ持タヌ
ノデアリマス、大體之ヲ以テマシテ則元君

ニ對スル御答ト致シマス、吉良君ノ御尋モ
大體則元君ノ御尋ト同一ノ御趣旨ト存ジマ
スカラ、此則元君ニ對スル御答ニ依テ御
諒承ヲ希ヒマス、尙ホ吉良君、則元君ノ兩
君ヨリ議長ニ對シテ與ヘラレマシタル所ノ
御忠告ハ、謹シテ拜承ヲ致シテ置キマス、
次ニ只今中林君ヨリ議長ニ對シテ十箇條ニ
互ル御質問デアリマスルガ、大體御答ヲ致
シマス、其第一ハ取調ヲシタカ、次ニハ其
結果ガ如何デアルカ、其當時ノ狀態ハ如何
デアッタカト云フ御尋デアリマスルガ、是
等ニ付テハ只今相當ニ調査モ致シテゴザイ
マス、併ナガラ今此場合茲ニ申述アベキ事
デナイト考ヘマス、守衛ノ任務ニ付キマシ
テハ、既ニ是ハ法規ノ明ニ示ス所デアリマ
シテ、事務局ニ於キマシテモ守衛ノ任務ニ
付テハ常ニ守衛ニ對シテ相當ニ訓示モ致シ
テゴザイマス、唯當日執リマシタル所ノ事
ニ付テハ、尙ホ篤ト調査ヲ致シマシタル上ニ
御答ヲ致スコトニ致シマス、ソレカラ囑託
醫ノ事柄ニ付キマシテハ、是又篤ト調査ヲ
致シマシタル上ニ御答ヲ致シマス、更ニ議長
室ニ大臣ノ入リ居テ居タリ御尋デアリマシ
タ、是ハ御承知ノ通り休憩ノ場合デアリマ
ス、直ニ議事ガ開カレルト云フコトニナリ
マス、御承知ノ如ク大臣室ハ大分離レ
テ居リマス、ソレヨリハ暫クノコトデ
アルカラト云フノデ、議長室ニ休憩ヲセラ
レテ居テ次第デアリマス、ソレカラ此出
來事ニ對スル議長ノ責任觀念如何ト云フコ
トデアリマス、此事ニ付キマシテハ私ハ議
長ト致シマシテ、實ニ恐縮ニ堪ヘナイノデ
アリマス、併ナガラ今此場合此責任如何ト
云フコトニ付テ御答スル限リデナイト思フ
ノデアリマス、是ダケノコトヲ御答申シテ
置キマス(拍手)

○則元由庸君 議長
○議長(粕谷義三君) 則元君何デスカ
○則元由庸君 只今ノ御答辯ニ付テ尙ホ私
ハ伺ヒタイ...

○議長(粕谷義三君) 則元君
(則元由庸君登壇)

○則元由庸君 去ル二日ノ出來事ニ付キマ

シテ、一昨日私ヨリ議長ニ對シテ質問ヲ致
シタル所ガ、只今議長ヨリ詳細御答辯下サイ
マシタル段ヲ私ハ感謝致シマス、併ナガラ
其御答辯ニ付キマシテ尙ホ私諒解致シ兼ね
ル點ガアリマス、改メテ茲ニ御尋ヲ致
シマス、先づ第一ノ問題ニ付キマシテ議長
ノ御執リニナリマシタル所ノ其手續ハ、私共
ハ遺憾ナガラ甚ダ手温イモノデアルト云フ
コトヲ感ズル者デアリマス、一體議事ノ進
行ニ付キマシテ議長ガ常ニ深甚ナル注意ヲ
御拂ニナリマスコトハ、ソレハ私共モ承知
致シテ居リマスシテ、左様ニ信ジテ居ルノデ
アリマスガ、併シ當院ノ慣例ト致シマシ
テ、往々ニシテ議員ガ此演壇ニ登テ討議
ヲ致シマスル際ニハ、多少ノ參考書類ニ付
テ引用スルコトモアリ、或ハ又其討論中ニ
聊カ多岐ニ互リマシテ演說ヲスルコトモ
アリマスルノハ、獨リ去ル二日ニ於ケル倉
元君ノミデハアリマセヌ、ソコデ私ハ一昨
日其引例ト致シマシテ、既往數回ニ涉リマ
シテ吾々ガ現ニ目撃致シマシタル所ノ其例ヲ
引キマシテ、殊ニ少數黨ノ方ヨリ論議ヲ試
ミル際ニ當リマシテハ、ドウシテモ時間ヲ
取ルコトモアル、或ハ又種々ノ言議ヲ附加
引用シナケレバナラヌコトモアルガ、ソレ
ハ常ニ何レノ場合ニ於キマシテモ議長ガ多
少ノ雅量ヲ以テ御看過ニナラセテ居ル、ソレ
ガ即チ議場ヲ圓滿ニセシムル所ノ一ノ方法
デアルト云フコトヲ御尋ヲ致シテ居リマス
ノデ、更ニ改メテ申上ダマスレバ、先年營
業稅問題ガ此議場ニ討議サル、ニ當リマシ
テ、或派ノ議員ハ參考書類ヲ御讀ニナリ、
而モ其則讀ハ議長モ御記憶ニナラセテ居ル
アリマセウガ、緩々トシテ長ク々々御讀ニ
ナリマシテ、去ル二日倉元君ガ參考書類ヲ
讀マレタヤウナモノトハ自ラ其選ヲ異ニ致
シテ居リマシタガ、當時ノ議長ハ之ニ對シ
マシテモ屢々注意ヲ發セラレタコトハ私承
知致シテ居リマスルガ、其言論ヲ妨グルト
云フヤウナコトハ無カッタノデアリマス、
又倉元君ガ其演說ニ於キマシテ、初二病氣
デアルト云フコトヲ御斷リシタニ拘ラズ、
ドウモ左様デナカッタト云フコトデアリマ

スガ、私共ハ倉元君ガ病氣サレテ居タルコ
トハ承知致シテ居リマス、其倉元君ノ當時
ノ言論ニ於キマシテモ、モウ暫ク議長ガ御
聽ニナリマシタナラバ、直ニ本論ニ入ルベ
キコトハ略々承知シ得ベキ程度ニ在リタ
ウニ私共ハ見受ケテ居リマス、而シテ又參
考書類ヲ讀ムニ致シマシテモ、一部ノモノ
ヲ讀ンデ天下ノ國論ハ斯様ナモノデア
ル、一部ノ諸君ハ頻リト自己ノ主張ヲ天下ノ國
論ナリト主張サル、場合ニ於キマシテ、
我が國民ノ中ニ之ニ反スル所ノ色々ノ意見
ヲ持テ書面ヲ發シテ居リマス、諸方ヨリシ
テ斯様ナ書面ノ出テ居ルノハ、即チ吾々黨
派ノ主張スル所ノ其說ニ國民ハ共鳴シテ居
ル理由デアルト云フコトヲ、言葉ヲ以テ演說
スルヨリモ、先づ參考書類ヲ讀ンダ方ガ事ガ
明ニ分リマシテ、且ツ議事ヲ進行ヲ進ムル場
合モ多イノデアリマス、斯ウ云フ場合ニ於
テ參考書類ヲ讀ムト云フコトハ、從來例モ
アルコトデアリマスルガ、議長ハ此場合ニ
於テ自己ノ常識判斷ニ憑ヘ、議事規則ニ無
シト雖モ尙ホ制止シ得ルト云フコトヲ御述
ニナリマシタガ、是ハ甚ダ將來ニ惡例ヲ貽
スモノデアアルマイカト云フコトヲ更ニ御
尋ヲ致シマス、從來議長ガ屢々議員ノ發言ニ
付キマシテ、時ニ注意ヲ與ヘル、或ハ又制
止ニナリマシタコトハ、吾々ノ記憶スル所
ニ依リマスレバ、多ク質問等ノ場合デアリ
マス、其許サレテ居ル質問ニ全ク關係ノ無
キコトヲ屢々辯ゼラル、場合ニ於キマシテ、
議長ハ注意ヲ與ヘ、續イテ發言ノ制止ヲサ
レタコトハ私共承知致シテ居リマスルケレ
ドモ、自分ノ論議ヲ進ムルニ付キマシテ、
肝要ナル所ノ參考書類ヲ口述ニ代ヘテ之ヲ
朗讀スル場合ニ制止セラレタト云フコトハ、
私共ソナナニ長イ議會生活ヲ致シテ居リマ
セヌガ、約三十四年ノ間未ダ會テ一度モ斯
様ナ事ニ遭遇シタコトハナイノデアリマ
ス、議長ハ果シテ此規則ニ基カズ、議長自
身ノ常識判斷ニ依テ、將來モ亦其問題ハ
如何様ナ黨派ノ人、與黨三派ノ人、議長ヲ
支持シテ居ラレマス所ノ各派ノ人ノ演說ノ
場合ニ於キマシテモ、此論法ヲ以テ果シテ

嚴重ニ御實行ニナルカ否ヤト云フコトヲ茲ニ改メテ御尋ヲシテ置キタウゴザイマス、ソレカラ次ハ議員ノ身體生命ニ關スル問題デアリマス、森田君ノ病床ニ呻吟致シテ居ルコト、其病狀ガ甚ク輕クナイト云フコトハ、議長モ御承知デアル筈デアリマス、然ルニ此問題ニ付キマシテ昨日各派交渉會ヲ御開キニナツタコトハ私モ承知致シテ居リマス、クレドモ、其問題ハ至テ手温イ事デアアル、少シ許リノ何カ新計畫ヲ御協議ニナツタ云フコトヲ承テ居ルヤウナ次第デゴザイマス、從來吾々ノ身體ニ付キマシテ、規則ニモアリ又慣例ニ依テ相當ノ取締ハアリマスルガ、去ル二日ニ於ケル場合ノ如キモノハ、私共未ダ會テ聞カナイノデアリマス、アノ場合ニ於キマシテ總令議長ハ議場外デアリマスカラシテ、御目撃ニナツテ居ラスニ致シマシテモ、併シ議長ハ此議院内ノ事ニ付キマシテハ、警察權モ御持チニナツテ居ル、私今此ニ衆議院規則ヲ見テ見マスルト云フト、第七十一條ニハ斯様ナ事ガ規定シテ居リマス、議院内部ニ於テ重罪輕罪ノ現行犯人アルトキハ守衛又ハ警察官更ハ之ヲ逮捕シテ議長ノ命令ヲ請フヘシ但シ逮捕ニ於テハ議長ノ命令ヲ待タスシテ逮捕スルコトヲ得ス、斯ウナツテ居リマス、此議場内ニ於テハ議長ノ御指圖ヲ待タナケレバ守衛ハ人ヲ逮捕スルコトガ出來ナイガ、議場外デアルト云フト、現行犯ノ場合ニ於テハ守衛ガ直ニ逮捕ヲシナケレバナラス、去ル二日ノ出來事ハ議場外デアリマスルガ、現行犯デアルト云フトハヨモヤ如何ニ辯ヲ弄スル人ト雖モ反對セザル所デアラウト私ハ思フ、而シテ數十名ノ守衛ガ役所ニ居ラレマシテ、サウシテ多數ノ目前ニ於テ斯ノ如キ重大ナル暴行ガ演出サレマシテ、而モ其時間ハ數分間ニ至リテ爲サレテ居リマス、此場合ニ於テ議長ハ如何ナル報告ヲ聽カレテ居リマスルカ、或ハ又議長ノ權力ニ於キマシテ如何ナル方法ノ取調ベヲ命ゼラレテ居ルノデアリマセウカ、先程ノ御答辯ニ依リマスルト云フト、此問題ニ付キマシテハ調

査中デアルト云フ御答辯デアリマシタガ、現行犯ノ場合ニ於キマシテハ數日、數十日後ニ至リテ、詳細ナル取調ベヲ爲スニモ及バナイノデアリマシテ、早速相當ノ處置ヲ以テ御取調ベニナリマシタナラバ、其事ガ議場内デ済ム問題デアルカ、或ハ司法權ノ發動ニ依テ之ヲ處置スベキモノデアアルカト云フコトハ、賢明ナル議長ニ於テ直ニ御理解ノ行ク事デアラウト私ハ考ヘテ居リマス、私ハ此場合ニ改メテ此件ニ付キマシテ、去ル二日ニ於ケル現行犯ノ場合ニ於ケル其處置ヲ御尋致シタイ、議長ハ議院規則第七十一條ヲ如何様ニ御解釋ニナルカ、其規則ヲ如何様ニ之ニ依テ御處置ニナリマスカト云フコトヲ、更ニ茲ニ御尋致シテ置キタイノデアリマス、第三ノ懲罰問題ニ對シマシテモ、手短カニ更ニ御答辯ヲ煩シタイノデアリマス、議長ハ倉元君ガ未ダ演壇ヲ去ラザルニ當テ、後ノ議員ガ此壇上ニ登クテ、他人ノ原稿ヲ破棄サレルト云フコトハ宜クナイ事デアリマスガ、併ナガラ是ハ懲罰ニ値スベキモノデナイト云フヤウナ御意見デアツテ、私ハ從來此議場ニ於テ懲罰問題ノ起リマシタ場合ニ於キマシテハ、斯様ニ腕力ヲ以テ他人ノ原稿ヲ拂ヒ去ルガ如キ場合ニ於キマシテハ、未ダツレト同一ノ例ハアリマセヌケレドモ、之ヲ他ノ例ニ比照致シテ見マスレバ、是ハ甚ダ宜シクナイ事デアアル、議長モ既ニ其事柄ガ惡イ事デアルト云フコトハ御認メニナツテ居リマスガ、私ト見解ノ異ナル所ハ其程度ノ問題デアリマス、若シ或ル議員ガ演壇ヲ去ラザル場合ニ當テ、後ノ議員ガ勝手ニ此壇上ニ登ツテ、他人ノ持ツテ居ル所ノ物ヲ取去リ、若クハ拂ヒ去ルト云フコトガ出來マシタナラバ、此壇上ノ規律節制ハ如何様ニ將來議長ハ御取扱ニナルノデアアルカ、又一人ノ人ノ演壇ニ登ツタコトハ議長ノ御答辯ニ依テ稍ノ理窟ガ付クニ致シマシテモ、然ラバ下ノ方ヨリ登テ來テ其草稿ヲ下ヨリ取去ツタ場合ニ於テハ、如何ニ之ヲ御答辯ニナルノデアリマセウカ、登テ來タ者ハ登ル權利ガアルカラ宜シイト云フ御

意見デアアルナラバ、下ノ方ヨリ來タ者ハ如何ニナルノデアリマスカ(休憩中ダ)ト呼フ者アリ)向フ邊ヨリ休憩中ダト云フ御言葉デアリマスガ、サウデアリマセヌ、マダ二日間ノコトデ如何ニ詭辯ヲ弄シ、如何ニ種々ノ辯ヲ弄サレマシタ所デ、マダ日ガ淺イコトデアリマスカラ、天下万人左様ナコトニ耳ヲ藉ス者ハアリマセヌ、議長ハ先日ノ教育費ノ場合ニ於キマシテハ、一方ニ右ノ方ヲ見テ居タカラ、左ノ方ニ起ツタ問題ニハ注意ヲ拂フ機會ガナカッタト云フ御答辯ガアリマシタガ、二日ノ時ニハ議長ノ直下デアリマシテ、演ゼラレタ所ノ出來事ハ議長ニ直面致シテ居タ、ソコデ議長ハヨモヤ休憩後デアルト云フコトノ御辯解モアルマイト思フテ居リマスガ、今申上ダマシタヤウニ下ヨリ登テ手ヲ用キテ、サウシテ取去タ人ニ對シマシテハ、議長ハ如何様ニ御考ニナツテ居ルカ、若シ斯様ナ者ガ看過サル、ト云フコトニナリマシタナラバ、將來右ヨリ登リ、左ヨリ手ヲ出シテ此演壇ニ登ツテ居リマス議員ノ辯論ヲ妨ゲ、言論ヲ壓迫シ、若クハ持ツテ居ル所ノ草稿ヲ無クシ去ルト云フヤウナ場合ニ於キマシテモ、何等制裁スル所ハナイ、勿論天下ノ選良デアリマスカラ、議員各自ニ道德上ノ問題ヲ以テ自制サル、ノハ同様デアリマスガ、當議會ニ於キマシテ議長ノ光景ヲ見テ居リマスルト云フト、四百ノ選良必シモ御自制ニナツテ居ラス、種々様々ニ規則ヲ犯シテ、種々ナル暴行ヲ演ゼラレテ居リマスカラ、是ハ議員各自ノ自制ニ俟ツト云フヤウナコトヲ以テ、此問題ヲ取片付ケル譯ニハ私ハ行クマイト思ヒマス、故ニ私ハ改メテ此點ニ對シマシテモ議長ノ明快ナル御答辯ヲ更ニ煩シタイト思フノデアリマス

○議長(粕谷義三君) 重ネテ則元君ヨリノ御尋ニ御答致シマス、第一ノ發言禁止ノ點ニ付キマシテハ、曩ニ御答ヲ致シテ置キマシタ通りデアリマス、將來與黨ノ演說ノ場合ニドウスルカト云フ御尋デアリマシタガ、同一ノ場合ニ於キマシテハ、議長ハ同一ノ處置ヲ執ル考デアリマス、第二ハ守衛長ヨリソレト守衛ニ命ジマシテ報告書ヲ徴シテ居リマス、目下之ヲ綜合シテ調査シテ居リマスカラ、追テ之ヲ明ニスル時ガアルデアラウト思ヒマス、第三ノ點ニ付キマシテハ、既ニ曩ニ御答ヲ致シタ以外ニ於テ、議長ニ於テ答辯ヲ致スコトハ無イノデアリマス、是ダケノ事ヲ御答ヲ致シテ置キマス

○田淵豐吉君 議長

○議長(粕谷義三君) 田淵豐吉君

(田淵豐吉君登壇)

○田淵豐吉君 諸君、私自身ニ於テモ非常ニ遺憾ト思フ、諸君ニ對スル事デナク、非常ニ遺憾ニ思フ事ガ頻々トシテ起ルノデアリマス、私自身ガ色々壓迫ヲ受ケテ困ル、ドウモ斯ウ云フ議員ヲ務メルニモ困ルヤウナコトガ大方アル、私ハ一寸御尋シタイデスガ議長、此間ノデスナ、何時デシタカ、普選案ノ討議ノ日ニ議長ガデスナ、人ノ精神ニ立入ルヤウデ失禮デスガ、矢張言テ惡イ事ハ御至ニ改メナケレバナラスト思フノデス、何故カト云フト、アノ時私ハ丁度居ナカッタ、身體ガ惡カッタカラ、所ガ何トカ云フ人ガ隨分長クヤッタラシイ、他カラ見テ一種ノ議事妨害デアルト云フ風ニ見エルノデアリマス、公平デナイカ知ラヌガサウ思フ、所ガ私ハ思フ、議長ガ何ガ故ニ之ヲ打切ツタカト云フコトニ付テ聽カウト思フ、是ハ重大ナル問題デアアル、ソレハ何ヲ言フカト云フト、私ノ考ハデスナ、議長ハ其御方ガ此處デ演說ヲシタコトガ議事規則ニ反スルカライカヌノデアアルカドウカト云フコトニ付テ、議長ノ心理及諸君ノ考ヲ聽キタイ、是ハ恐ラク人ノ心ヲ忖度スルト云フコトハ失禮デアリマスケレドモ、廻テ來タモノヲ見ルト同日ハ午後十時頃討論ヲ打切ルト云フコトガ問題ノ骨子デアラウカト思フ(拍手)ソコガ問題ノ骨子デアラウカトハナイカト思フ、ソレガ問題デハナイカト思フ、私ハサウ思フ(此時發言者多シ)聽イテ下サイ、一寸待テ下サイ、私ノ論議ヲ進メサシテ下サイ(前提ガ間違テ居ル)ト呼フ者アリ)間違テ居レバ後デ一ツ御願致シマス、ソコデ本黨ノ高見君ガ此處ヘ出

テ面白イコトヲ言フ、才前等モ餘計ナ事ヲシテ申合セテ破ルナラ、俺等モ勝手ヲヤルゾト云フコトヲ言ハレタヤウニ思フ、其時何ゾ風雲ガ捲起ルデアラウト私ハ思フ、何ゾ爲サタカト云フト、各派デ交渉ヲ爲サツサウデス、無所屬ノ方ニハ交渉ハ無イガ、諸君ハ何時デモ勝手ナ事ヲシテ居ルノデア、御互ガ交渉シテ修正案ニ賛成ヲ御互ニ餘リシナイコトニシヤウデヤナイカト云フ申合セテシタサウデア、質疑ヲ御互ニシナイコトニシヤウデヤナイカト云フコトハ大ナル間違デア、質疑ハ大ニヤ、テ、國民ニ對シテ如何ナル疑問ガアルカト云フコトヲ明ニスルノガ本當デア、サウ云フコトヲ申合セテスルノガ間違デア、而シテ申合セテシタモノトスレバ、何故諸君ハソレヲ守ラヌノデアアルカ、是ハ破テ方ガ幾分トモ責任ガアルト思フガ、才前等ガ破テカラ俺等モ勝手ナ事ヲヤルト高見君ガ咆哮サレタヤウデア、其結果ガ現ハレテ來テ茲ニ問題ニナテ來タノデア、何故カト云フト十時頃ニ討論ヲ打切ルト云フコトハ、本黨ノ人モ承諾シテ居、サウデスナ、聞イテ見ルト（拍手）併シ向フガ破、タカラ此方カラモ破、テヤラウト云フコトニナテ來タノデアアラウト思フ、所ガ是等ハ無所屬ノ側カラ考ヘルト、重大ナル普選案デアリマスカラ、慎重審議シテ質問モ質疑モ大ニヤ、テ、討論ヲ聞ハシテ二日デモ三日デモヤラナケレバナラヌ重大ナル問題デアルト思フ、政府ハ樞密院ニ開口垂レテ、六十日モ滞滯シテ居、タデハナイカ、此方ハソレヲ十時頃ニ切ルト言、タデヤナイカ、討論モ一日デ切ル、サウシタ時ニ政友會ノ人が午前十時カラヤラウト言フト、本黨ノ人が常ノ通り一時カラヤラウト云フコトヲ言、タサウダ、是モ一寸オカシナ話ダ、ソレカラ十時ニ濟マナケレバ翌日ヤラレタラドウカ、諸君ガ十時ニ打切ルト云フコトヲ勝手ニ決メテ居ル、ソコデ矛盾ガ出來テ仕方ガナイ、又議長ガ茲ニ打切ルト云フコトヲ言ウタ、其結果人が負傷シテ寢テ居ルト云フヤウナ醜態ヲ演ズルデハナイカ、

故ニ議長ノ遣方ガ悪い、猪野君ノ時デモサウダ、モウ二三分開待、タラ怪我人ハ出來ヌ、待タヌカラアンナ事ガ出來タ、嘗テ小橋君ガ四時間決算書ヲ讀ンダ、其時高草美代藏君デアッタカドウカ知ラヌガ、小橋君ノ後デ又長クヤラウトシタ、私ハ政友會ニ幹旋シテ君等ガ横暴スルカライカヌ、横暴ヲシ給フナト言フト、政友會ガ謝タカラ革新俱樂部——國民黨デアッタカガソレナラ許シテヤルト云ウテヤラナダ、四時間讀ンダコトヲ私知、テ居ル、ソコデ問題ガ起、テ小橋君ハ四時間讀ンダ、今度ハ一時餘リデア、私ハ普選ニ反對スルノハ大反對デア、大反對デアアルガ、國民ノ意思ヲ議政壇上ニ盡サレタケノ大ナル義務ガアルト思フ、是ハ普選案以上ノ重大ナル問題デア、之ヲ慎重審議シテヤルト云フコトガ最も必要ナコトデア、私ハ信ズル、故ニ議長モサウ云フコトヲ言ハナイデ、オトナシク聽イテヤレバ宜イ、ソレヲ十時マデト云フ期限を決、テ居ルカト云フ餘計ナコトヲ言、テ、切、テシマッタノデア、其證據ヲ議長ニ聽キタイ、ソコデ私ノ問題ハ此失態問題モゴザイマスケレドモ、重大ナル問題ハ人ガ演説ヲシテ居ル場合ニ、之ヲ切ルノニハドウ云フヤウニシタラ宜イカト云フ法則ヲ發見シタイ、ソコデ「オプストラクション」合法的議事妨害ナラバ宜イカト云フコトニナル、議事妨害ガ悪いト云フコトナラバ、合法的ト云フコトハ無イ筈ダト云フコトニナテ來ル、茲ニ問題ガアル、聞ク所ニ依レバ英國ナカハ途中デ打切ラヌト云フコトヲ聞イテ居ル、若シ打切、タラ横暴ナル議長デア、多數政黨ガ少數政黨ヲ壓迫スルト云フヤウナコトハ、是レ憲法政治ノ重大ナル問題デア、所ガ「オプストラクション」ヲ認メテ、何所マデモ「オプストラクション」ヲ認メテ、議事妨害ニ三百六十五日續ケルコトニナル、然ラバ之ヲ如何ニスルカト云フコトガ問題デア、本人ノヤッテ居ル間タケハ許シテ、他ノ者ガヤッテ居ルハ切ルト云フ、哲學的ニハ完成シテナイケレドモ、ソ

コニ「ツノ」マキシム規則ヲ作ラウト云フコトニナテ居ル、故ニ議長ハ如何ナル場合ニ切ルカト云フコトヲ茲ニハハキリ決メテ置カナケレバナラヌ、ソコデ言論ノ自由ヲ尊重スル上ニ於テハ、成ベク其人間ガ降壇シナイ間ハ此言論ヲ自由ニ終リマデヤラスヤウニ是マデナッテ居タト思フ、然ルニ何ガ故ニ此重大ナル法案ニ對シテ切、タノデアアルカ、是ハ私ハ大ナル誤リデアアラウト思フ、私ハ言フコトガ下手デアリマスカラ長クナリマシタガ、此點ヲ吾々ハハキリシテ置カナケレバナラヌト思フ、故ニ二日デモ三日デモ何故ヤラヌカ、貴族院ニ送ルノガ一日遅レタカラト云ウテドノ位ノ損失ガアルカ、堂々トシテ彼等ヲ鞭撻スレバ宜イノデア、恐レル事ハナイ（ソレニハ日限ガアルト呼フ者アリ）日限ハ無イ、議會ノ會期ヲ延長スルコトガ出來ルデハナイカ、三日デモ五日デモ延長スルコトガ出來ルデハナイカ、何故延長シナイカ、ソナヤウナ腰ノ弱イコトデハ貴族院ヲ壓スルコトハ出來ナイ、何所マデモ行カナケレバナラヌ、ソナナ亂暴ナル議長ガアッテハイケナイカラ吾々ハ議長ニ不信任ナダ、ソレカラサウ云フコトヲ諸君ト争ウテモ仕方ナイカラ私ハ止メルガ、第二ニ議長ハ十時マデ討論ヲ續ケルト云フ腹ガアッタカラ、サウ云フ事ヲ爲サツノデアアラウト思フ、ソレハ如何デアアルカ、前ニモ幾分答ヘラレマシタケレドモ、議員ノ言論ガ如何ナル點ガ惡カッタト云フコトヲハハキリ述べテ貰ヒタイ、若シ十分間ト雖モ朗讀演説ガ惡イノカ善イノカ、ソレヲ聽キタイノデア、サウ云フヤウナ事デハ私ハイカナイト思フ、ソレカラ第三ニハ私ハ議院ノ取締ニ付テ、議長ノ只今ノ言ニ付テ、私ハ度々申上ゲタ通り、議長ガ休憩ト云フト直グニ叩ク、危ナクテ仕樣ガナイノデア、廊下ヘ行ケバ廊下デ叩ク、半死半生ニ遭ハヌノデア、是レ議長ハ取締ヲシマスと言ヒマスケレドモ、ドウ云フ取締ヲシテ居ルカ、寧ロ議員ヲ懲罰ニ掛ケルト云フヤウナ法ヲ設ケル事モ「ツノ」方法デアラウト思フ、私ガ

何過モ言、テ居ルノニ聽カヌト云フノハドウ云フ譯デアアルカ、之ヲ極メナケレバイヤ、是ハ固ヨリ之ヲ極メタカラト云ウテ亂暴ナ者ハ何ヲスルカモ分ラヌケレドモ、極メナイヨリハ矢張極メタ方ガ宜カラウト思フ、ソレカラ第四ニ聽キタイノハ、猪野君ノ懲罰ハ其處ニ出テ來テ居ル、此間カラ一度出テ來ルケレドモ懲罰ガドウナッタノカ一向ニ譯ガ分ラヌカラ聞ニ聲ヲ積リデアアルカドウカ分ラヌ、ドウモハツキリジナイ、皆事情ニ依、テ變遷シテ、少シモ正義公道ニ依、テ行動シナイ、猪野君ヲ懲罰スルト同君ガ怒、テ訴ヘタラ危ナイト云フヤウナ思想カラヤラヌノデアアルカ、若モサウデナクシテ猪野君ヲ懲罰ニ付スベキモノデナイ、間違、テヤ、タノデアアルト云、テ謝スルノデア、カドウカ、議長ハ左ヲ向イテ休憩シタト言ヒ、右ヲ向イテハ休憩シナカッタヤウダト云フコトヲ言ウテ居ル、サウ云フヤウナ曖昧模稜ナコトデ葬ラウトスルノハ宜クナイ、故ニ私ハ必ズ猪野君ヲ懲罰スル程ノ事ガナカッタト云フナラバ、諸君ガ謝テ來テ後サウ云フ間違、タ事ヲシマセヌト云フコトヲ懲罰委員ガ辭職スルナリシテ、明カニシテ貰ヒタイ、議長之ニ對スル態度如何、以上私ハヒドイコトヲ言フノデア、ハナイケレドモ、是ハ何トカシナケレバナラヌト云フコトヲ常ニ考ヘテ居ルカラ、此時間ヲ割イテ議長ニ尋ネ、又諸君ニ尋ネルヤウナ次第デアリマス、

○議長（粕谷義三君） 田淵君ニ御答致シマスガ、初メノ御等ハ矢張倉元君ノ發言ヲ禁止シタル理由ノヤウデアリマス、此事ニ付キマシテハ既ニ則元君、吉良君ニ御答シタ以外ニ議長ニ於テ申述べル事ハ無イノデアリマス、又討論ヲ議長ガ打切、タ如クニ述べラレマシタガ、是ハ田淵君ノ誤解デアアラウト思フノデアリマス、討論ノ打切ハ即チ動議ニ依、テ決スルノデアリマス、ソレカラ文章ヲ朗讀シテハ惡イカト云フ御話デアリマスガ、是ハ差支ナイノデアリマス、唯、其程度ノ問題、即チソレハ常識ニ應ヘテ御

テ居ル、今試ニ日本デ出來ル二十八種ノ平均市價四圓三十錢ニ對シテ、三割五分ノ關稅ヲ賦課シテ居ルノデアリマスルガ、此計算カラ見ルトキニハ、市價ハ一圓ニ付テ寧ニ二十六錢減ノ割合トナツテ居ル、二十六錢減ノ割合ニナツテ居ルカラ四圓三十錢ノ

平均市價ニ對シテハ、若シ關稅ガ無ケレバ三圓十八錢二厘デ買ヘルノデハナイカ、三圓十八錢二厘デ買ヘル物ヲ一般ノ需要者、織物業者、吾々國民ノ染料ハ、四圓三十錢ノ物ヲ使ハセナケレバナラヌ、四圓三十錢ノ物ヲ使ハセテ數箇ノ染料工業會社ヲ保護スル、其保護モ見込ガ立テバ宜イケレドモ、十年ヤツテ見込ガ立タナイ、モウ五六年ヤツテ見ヤウト云フノデ此案ヲ出スニ至ツテハ、政府ノ染料工業ニ對スル所信ト云フモノヲ疑ハザルヲ得ナイノデアリマス（拍手）更ニ輸入制限ハ徒ニ市價ヲ高カラシムルノミデアル、試ニ我國ノ織物業ハドノ程度マデ生

ヲ立テ宜シカラウト思フノデアリリマスガハ
私ハ先以テ只今三土政府委員ノ御説明ニ依
リマスト、前ノ工業染料工業政策ヲ躰踏シ
タヤウトモアリ、躰踏シナイヤウデモアリ
マス、私ハ今日ノ日程ニ此染料ノ關稅ヲ撤
廢スルト云フ建議案ヲ出シテアノ關稅ヲ撤
ラ、詳細ハ其御審議ノ際ニ申サウト思フノ
デアリリマスケレドモ、丁度此同ジ日デ此案
ガ政府カラ出マシタニ付キマシテ、此機會
ニ政府ノ所信、政府ノ御考、此政策ニ關ス
ル根本ノ要點ヲモウ少シ詳シク承リタク、
此質疑ヲ致シタ次第デアリマス（拍手）
○副議長（小泉又次郎君） 三土政府委員

ヘナケレバ發達が出来ヌノデアリマス、獨逸ノ如キハ普佛戦争前、今日カラ申セバ六十年前ヨリ巨額ノ經費ヲ掛ケテ、汲々シテ研究調査ヲ致シ、幾多ノ苦心慘澹ヲ嘗メテ今日ノ地位ヲ占メタノデアリマス、歐洲戦争後ハ世界各国ハ如何ナル事ヲ致シテ居ル戦ルト申シマス、武藤君ノ御承知ノ通り、各國共一時輸入品ノ禁止ヲ致シマシタ、英吉利ニ致シマシテモ、佛蘭西ニ致シマシテモ伊太利ニ致シマシテモ、亞米利加ニ致シマシテモ、資本ノ大合同ヲ致シ、或ハ高率ナル關稅ヲ課シ、或ハ極端ナル政策ヲ以テ保護致シテ居ルノデアリマス、亞米利加ノ如

分ガ万分ノ二、即チ十圓ノ反物ニ對シテ二厘ノ負擔デアリマス、毛織物ニ對シマシテ「モスリ」友禪ニ付テ申シマス、モスリ「モスリ」友禪ニ對シマシテハ千分ノ一デアリマス、十圓ニ付キ一錢デアリマス、最も多ク課リマスモノハ木綿ノ緋及綿無地物デアリマスガ、是ハ千分ノ五デアリマスカラ、十圓ニ付テ五錢掛テ居ル譯デアリマス、此位ノ犠牲ヲ拂テ關稅ノ政策ニ依リマシテ此工業ヲ成立セシメルト云フコトハ、御議論ハアルマイト思フノデゴザイマス、唯々輸入制限マデ致スノハドウカト云フコトデア

織物ハ大藏省ノ昨年ノ調査ニ依リテ見マシレバ、十一億四千五百万圓以上ニ上リテ居ル、輸出織物ハ三億四千八百万圓ニ上リテ居ル、此二十億ニ垂ントスル所ノ内地ノ需要、輸出ノ織物ハ悉ク染料ヲ必要トスルノデアリマス、然ルニモ拘ラズ政府當局ハ内地ノ消費ニ於テ顧ミザルノミナラズ、輸出獎勵ニ於テ之ヲ見ナイ、見ナイバカリデナイ、偶々當業者等ガ之ヲ慫ハマスルト、ナニ一反當リニ於テ其率ハ僅ナモノデナイカ、成程一反當リニ於テハ僅デアリマスケレドモ、之ヲ只今申上ゲタ大體カラ申シマスレバ、非常ナ大キナル問題ニナルデアリマス、キヲ要スルニ輸出ノ織物ヲ獎勵スル上ニ於キマシテ、又内地——吾々ノ此著物、總テノ衣類ヲ安ク上ゲル點ニ於テ、此染料工業ノ政府ノ研究ガ足ラナイ、士族ノ商法ヲ何年續ケテオヤリニナルノデアリマスカ、私ハ其點ニ付キマシテハ大藏當局（農商務當局、政府ニ於キマシテ御役人揃ヒデ、士族商法揃ヒデ、工業染料ナドト云フコトニ付キマシテハ政策ノ案ガ立タナイデ、國務大臣モ、政府委員モ、賢明デハアラシヤルガ、矢張此屬僚ノ案ヲ御出シニナツテ、前ノ引繼ニ此案ヲ出スノデナйкаト云フコトヲ憂ヘルノデアル（拍手）若シレ染料工業ノ政策ニ付テ、軍事上ニ於テ必要ガアルト云フナラバ——軍事上ニ付テ此工業ヲ保護シテ置クト云フ必要ガアルナラバ、別ニ相當ノ案

○政府委員(三土忠造君) 只今武藤君ヨリ織物工業ノ立場カラ、染料ニ對シテ色々ナニ御意見ガアリマシタガ、要スルニ大正四年ニ現行法ヲ制定致シマシテ、染料工業ノ保護獎勵ヲ致シタコトハ、是ガ果シテ效果ガアツタカ否カ、又最近省令ヲ以テ處分致シマシタル輸入制限ト云フコトハ、徒ニ我國ノ染織業者、織物業者ガ使用スル所ノ染料ノ價格ヲ高メテ、内地消費者ノ負擔ヲ重クシ、海外ノ貿易ノ發展ヲ阻害スルト云フヤヤシ、御意見デアリマシタガ、政府ノ見ル所デハ大正四年ニ制定致シマシテ現行法ニ依ル補助、此補助ハ人ノ見様ニ依ッテ或ハ豫期ノ效果ヲ收メナカッタト見ラレマセウガ、或ハ豫期以上ニ效果ヲ收メタト云フ人モアルデアリマス、此方法ハ如何ニモ類例ノ無イ方法デアリマシテ、會社ノ場合ヲ審査致シマシテモ八朱ノ配當ノ補給ヲ致シテ居ルノデアリマス、併シ大正四年、先刻申シマシタ通り法律制定ノ當時ニ於キマシテ、謂ハハ暗中模索ト云フヤウナ狀況デアッタ我國ノ染料工業ガ、爾來長足ノ進歩ヲ致シマシテ、我國ニ於ケル主要染料ノ種類六十五六種ノ中デ三十種以上ノ、而モ獨逸品ニモ或物ハ優ル程ナ成功ヲ致シタト云フコトハ、全く此保護獎勵ノ賜ダト考ヘマス、申スマデモナク染料工業ハ無機化學、有機化學ノ中ニ於キマシテ工業上最モ深遠ナル學理ヲ必要トスル工藝デアリマス、特殊ノ獎勵ヲ與

ハ平均七割ノ關稅ヲ課ケテ居リマス、此工業ハ吾々決シテ屬僚ノ意見ヲ聞イテ左右セラレタノデアリマセヌ、國家ノ大局カラ考ヘマシテ、ドウシテモ一時多少高イモノヲコトヲ確信致シタノデアリマス、御承知ノ通り此工業ノ工程ニ於キマシテハ、軍事上必要ナル爆發物ナドガ皆此中デ製造サレルノデアリマスガ、今回保護致シマスニ付キマシテハ、「コールドール」分溜物ヲ處分スルコトヲ始メル工業ダケニ保護致スノデアリマス、又工業ノ工程ニ於キマシテ幾多ノ新藥ト稱スル醫藥ヲ發明セラレ、或ハ學術上ニ必要ナル科學工藝品ガ發明セラレルノデアリマス、故ニ如何ナル犠牲ヲ拂 テモ、國家ノ存立上今日ニ於キマシテハドウシテモ是ハ成立セシメナケレバナラヌ問題デアリマス、而シテ織物ハ内地消費並ニ外國輸出ノ總高ガ随分上額ニ上リマス故ニ、此總額ニ對シマシテハ染料ノ價ノ高イト云フコトガ相當ニ上額ノ高ニ上リマスケレドモ、之ヲ織物一ツ々ニ分ケテ見マスト大シタ問題デナイノデアリマス、例ヘバ現在關稅ニ於キマシテ武藤君ガ能ク御承知ノ通り、普通ノ染料ハ從價三割五分ヲ課ケテ居リマス、人造藍ニ對シテ二割ヲ課ケテ居リマス、普通ノ染料ノ三割五分ガ如何ニ響イテ居ルカト申シマス、絹織物ヲ標準ト致シマシテ銘仙縞綿仙ニ對シマシテハ万分

ト云フ已ムヲ得ナイ立場ニ立、タノデアリマス、諸君モ御承知ノ通り、歐洲戰爭以來我國ニ染料工業ガ大小合セマシテ百有餘ノ多キニ達シタノデアリマス、サウシテワレハ一時ハ相當ニ成立シテ居、タノデアリマスガ、歐洲戰爭ノ終熄ト共ニ世界各國ハ殆ド全部輸入禁止ノ政策ヲ採リマシタ爲ニ、獨逸ガ工業復舊ノ後ニ於キマシテ、獨逸ノ最も主要産業デアル所ノ染料ノ輸出ハ東洋ニ限ラレマシタ、是ニ於テ我國ノ染料工業ヲ根柢ヨリ破壊致シマスル積リデ、既ニ我國ニ存立シテ居リマスル品種ノ染料ニ對シテハ非常ノ廉價ヲ以テ賣、テ參リ、サウシテマダ我國ニ成立シテ居リマセヌ染料ニ對シテハ、非常ノ高値ヲ以テ賣、テ參、タ、サウシテハ、彼此相殺シテ獨逸ハ算盤ヲ取、テ居、タノデアリマス、然ラバ此輸入制限ヲ致シマシタ爲ニ、日本ノ内地ニ既ニ成立シテ居リマス所ノモノガ、非常ニ上、タカト申ストサウハ上ラヌノデアリマス、獨逸ガ日本ニ於テ既ニ成立シテ居リマスル染料ニ付キマシテハ、相當ノ企業利益ヲ見積、テ、相當ノ價格ヲ以テ經濟上引合フ程度ニ於テ賣、テ參リマスナラバ、少シモ憂フルニ足ラヌ程度ニ達シタノデアリマス、唯、獨逸ガ不當廉賣ノ手段ニ依、テ非常ニ安價ニ賣、テ參リマス爲ニ、我國ノ既存ノ染料工業ガ非常ノ打撃ヲ受ケタ譯デアリマス、ソレ故ニドウシテモ當分ノ中ハ各國ノ例ニ

做ヒマシテ非常ナル重稅ヲ課スルカ、或ハ輸入制限ノ方法ヲ採ラナケレバナラヌ、御承知ノ通り我國ニ今日既ニ存在シテ居リマシテ染料工業ニ對シマシテハ輸入制限ヲ致シテ居リマスガ、其他ノ物ニ付キマシテハ他ノ方法ニ依リマシテ輸入スルコトヲ許シテ居リマス、併ジ之ニ對シマシテハ前ニモ申シマス通り、三割五分ノ課稅ヲ致シテ居リマス、此三割五分ノ課稅ヲ致シ、一面ニ於テ相當ノ保護獎勵ヲ致シマスナラバ、吾等ノ計畫致シテ居リマス通り、五六箇年ノ後ニハ我國ニ於テ最モ必要トスル二十種ノ染料工業ハ成立致スコト、確信シテ疑ハナイノデアリマス、現ニ實驗室ノ試驗ニ於キマシテハ二十種ノ中隨分出來テ居リマス、之ヲ工業的ニヤリマスニハ相當ノ期間補助シナケレバナラヌ、斯ウ云フ考デアリマシテ、決シテ傳統の農商務省ノ各課ノ技師連ガ研究シテ居ルコトノミヲ採用シタノデハナク、吾等ハ統一の政治家ノ立場ヨリシテ大局ヨリ考ヘ、世界各國ノ方策等ヲモ參考致シマシテ、茲ニ確信ヲ以テ提案シタ次第デアリマス、而シテ是ガ爲ニ一時我國ノ織物業ニ對シテ多少ノ負擔ハアリマシテウケレドモ、是ハ國家全體カヲ見、特ニ國防上カラ見、産業上カラ見、學術上カラ見、保健ノ上カラ考ヘマシテ、國家永遠ノ方策ト致シマシテハ之ニ對シテ暫ク吾等ハ眼ヲ閉ナケレバナラヌト思ヒマス、斯様ナ趣旨ヲ以テ提案シタ次第デアリマスカラ、左様ニ御諒解アラントヲ希望致シマス

○副議長(小泉又次郎君) 加藤知正君

(加藤知正君登壇)

○加藤知正君 只今御提案ニナリマシタ染料製造獎勵ニ關スル法律案ニ付キマシテ、武藤代議士ヨリ染料政策ニ關スル御質問ガゴザイマシタガ、私ハ其政策問題カラ少シク離レマシテ、四五ノ質問ヲ致シテ見タイト思フ者デアリマス、歐洲大戰ノ結果染料ノ輸入ガ杜絶シタノデ、去ル大正四年度ニ於キマシテ染料製造獎勵法ナルモノヲ布カレ、各種ノ化學工業ニ對シマシテ、政府ハ多額ノ補助金ヲ供與シテ、以テ是ガ獎勵

勵ニ努メラレタノデアリマス、ケレドモ事ハ豫想ニ反シマシテ、成功スルモノハ尠ニ少カッタノデアアル、却テ補助金ヲ自發的ニ辭シテ廢業致シタモノモ少クナイノデアリマス、即チ彼ノ大日本「グリーセン」會社ノ如キ、或ハ東洋製藥會社ノ如キ其一例デアアルデアリマス、ケレドモ唯一ツ日本染料會社ダケハ、是ハドウニカスウニカ存續致シテ今日ニ至ッタノデアリマス、是レ言フマデモナク先刻政府委員ノ御説明中ニモアリマシタ如ク、政府ハ此會社ニ限リマシテ特ニ其損失ヲ補填シ、尙ソレノミナラズ其資本金ニ對シテハ朱ノ利子ヲ補給スル、斯様ナ特別ノ保護ヲ與ヘ援助ヲ與ヘタ結果、此日本染料會社ナルモノガドウニカスウニカ今日マデ維持スルコトガ出來タノデアアルト吾等ハ信ジテ居ルノデアアル、所ガ此政府ノ特別ノ保護援助ナルモノハ本年ノ十月ヲ以テ其約束ガ切レバナラヌデアアル、故ニ今回政府ハ此法律ヲ御出シニナツタノデアアリマス、此法律ヲ御出シニナツタノデアアリマス、即チ此會社ニ對シテ特別ノ保護援助ヲ與ヘンガ爲ニ、茲ニ此法律ヲ御出サレタノデハゴザイマスマイカ、之ヲ私ハ第一ツ御伺フシテ見タイノデアリマス、尤モ此第二條ヲ見マスルコト云フト「本法ニ依リ獎勵金ノ交付ヲ受クルコトヲ得ベキ者ハ帝國法律ニ依リ設立シタル株式會社ニシテ其ノ資本ノ半額以上及議決權ヲ過半數ガ帝國臣民ニ屬スルモノニ限ル」トゴザイマスカラシテ、或ハ是カラ見マスルコト云フト、此會社ノミニ限ツタモノトモ思ハレヌノデアリマス、若シ此會社ノミニ限ツタモノデナイトシマスルナラバ、此第二條ニ於キマシテ「前項ノ會社ハ命令ノ定ムル所ニ依リコイルタル分溜物ノ處理ヲ以テ染料製造ノ工程ヲ開始スルコトヲ要ス」ト云フコトガアリマスガ、詰リ此指定ノ染料ヲ採ヘル所ノ會社ナラバ、何レノ會社デモ此補助ヲ與ヘ、保護ヲ爲サル所ノ御考デアルカドウカ、之ヲ一ツ御伺フシタイノデアリマス、即チ彼ノ三池ニ於ケル三井礦山ノ染料部ノ如キモノハ、確ニ其援助ヲ受ケ保護ヲ受クル所ノ資格ノアルモノデハナカラウカ、斯様ナ

モノニ對シマシテハ、政府ハ其御指定ニナツタモノヲ造リマスレバ、御補助ヲ御與ヘナサル積リデアアルカドウカ、之ヲ御伺シタイノデアリマス、ソレカラ關稅改正ノコトデアリマスガ、此關稅改正ト云フコトハ、今期議會ニ之ニ關スル所ノ法律案ヲ御出シタル御考デアアルカドウカ、若シ御出シタル御見込デアアルカ、或ハ之ヲ引下ゲル御考デアアルカ、只今ノ御説明ニ依リマスルト云フト、高クナサレモ引下ゲル御考ガナイヤウニ思ハレマスガ、此點ハ如何デゴザイマセウ、此關稅定率ヲ高メ保護ヲ爲サルコト云フコトハ、或ハ以テ内地ノ染料其物ノ事業ヲ發達セシムル上ニ付テハ、或ハ效力ガアルカモ知ラヌガ、一面ニ於キマシテハ其結果ガ物價ノ騰貴トナリ、殊ニ多數ノ吾等國民ガ用ユル所ノ人造藍ノ如キハ、著シク其影響ヲ受ケナケレバナラヌノデアアル、而モ是ハ中産階級以下ノ多クノ國民ガ使用スル所ノ木綿其他ノ織物ニ使用セラル、所ノ、此藍ナルモノガ詰リ高クナツテ、自然吾等共ガ其影響ヲ受ケナケレバナラヌコトニナルノデアアル、又一面ニ於キマシテハ、此關稅率ヲ高メ染料ヲ高カラシムルノハ宜シイガ、自然輸出スル所ノ織物ガ高クナル勘定ニナルト思フノデアアル、我國ノ織物ノ需要先ハ言フマデモナク支那、印度、南洋方面デアアルノデアリマス、彼ノ方面ノ生活程度ハ至低イモノデアアル、其低イ程度ノ需要地ニ對シテ高イ所ノ關稅ヲ課ケテ、之ヲ高カラシムルコト云フコトハ、果シテ是ハ輸出獎勵ノ方法ニ適フモノデアリマセウカ如何デゴザイマセウカ、此點ニ於テ吾等ハ大ニ疑問ナキヲ得ヌノデアリマス、尙ホ其次ニ於キマシテ輸入制限令ノコトデアリマス、昨年六月農商務省令ヲ以テ輸入制限令ヲ公布セラレマシタガ、此事ハ吾等共ハ一面ニ於キマシテハ確ニ獨逸或ハ奧地利ニ於ケル所ノ、染料ヲ輸入スルコトガ出來ルデゴザイマセウ、ナレドモ彼ノ日佛協約ニ依リマシテ英吉利或ハ佛蘭西、亞米利加等カラ來ル所ノ染料ハ、是ハ如何トモスルコ

トガ出來ナイノデアリマス、サレバ此輸入禁止令ニ依リテ獨逸、奧地利ノ方面ノ染料輸入ヲ防グコトハ出來マシテモ、英、佛、米ノ方面カラ輸入ル所ノ染料ハ、日佛協約ニ依リテ防グコトハ出來ナイト思フ、果シテサウダトスレバ、此輸入禁止令ナルモノハ恰モ頭ヲ隠シテ尻尾隠サスト同ジ様ナモノデアルト思フノデアリマス、尙ホ御伺フ致シタイノハ日獨條約ヲ結ブニ當リマス、獨逸ハ輸入制限令ノ撤廢ヲ希望スルコト云フコトヲ伺ヒマシタガ、果シテソレガ本當デアアルカ如何デゴザイマセウカ、其眞偽ノ點ヲ御伺致シタイノデアリマス、尙ホ政府委員ノ御答辯ヲ伺ヒタイノハ、今回ノ此法律ニ依リマシテ毎年百萬圓以內ノ獎勵金ヲ、向フ六箇年ヲ通ジテ四百萬圓支出スルコト云フコトデアリマス、是ハ果シテ如何ナル所ノ算出ノ基礎ヲ有セラル、ノデゴザイマセウカ、之ヲ一ツ御伺申上ゲタイ吾等共ノ推測スル所ニ依リマス云フト、現在ノ日本染料會社ナルモノハ資本金八百萬圓デアアル、ソレニ對シテ政府ハ八朱ノ利子ヲ補給シテ居ル、丁度四百萬圓ヲ六箇年デ割ツテ見マス云フト、一年六十萬圓ナルノデアリマス、ソレニ充ル爲ニ此四百萬圓ト云フモノヲ計上セラレタモノデハゴザイマスマイカ、此點ヲ御伺フ致シタイノデアリマス、尙ホ序ニ御伺フ致シタイノハ倫敦會議ノ結果、我國ハ獨逸ヨリ賠償金ノ代リニ染料ヲ取ルト云フコトデアリマス、果シテ是ハ事實デゴザイマセウカ如何デゴザイマセウカ、若シ事實ト致シマスレバ、如何ナル所ノ種類ヲ御取リニナル御考デアアルカ、又其數量ハ幾何デゴザイマセウカ、之ヲ御伺致シタイ、而シテ其賠償染料ナルモノハ是ハ民間一般ニ拂下ゲル所ノ御考デアアルカ、或ハ染料輸入ノ專門商ニ或數ヲ限ツテ御拂下ニナルノデアアルカ、此點モ御伺フ致シタイ、若シ之ヲ一般ニ安ク拂下ゲルト云フコトニナリマシタナラバ、折角政府ガ保護ヲ致スル所ノ會社ト其者トガ無益ノ競争ヲスルヤウナコトニナリマスマイカ、是等ノ點モ御伺フ致シテ見タイト思フノデアリマス、以上述べマシタル

點ニ於キマシテ、幸ニ政府委員ノ明快ナル御答辯ヲ得ルコトガ出来マスレバ、洵ニ幸福デゴザイマス(拍手)

○副議長(小泉又次郎君) 三土政府委員

(政府委員三土忠造君登壇)

○政府委員(三土忠造君) 加藤君ノ御尋ノ第一點ハ、現行法ノ下ニ於テ大日本染料製造株式會社ニ補助ヲ與ヘテ居ルガ、是ハ本年十月ヲ以テ滿了スルカラシテ、此會社ニ對シテ別箇ノ方法ニ依テ補助スル爲ニ此案ヲ出シタノデハナイカ、同ジ目ノヲ以テヤルモノハ他ノ工業會社デモ補助スルカト云フ御質問デアリマス、御質問ノ通りデアリマシテ、現行法ニ依ル補助トハ全く趣旨ヲ根柢カラ異ニ致スノデアリマス、前ニ申上ゲマシタ通り、今回ノハ二十種ノ重要ナル染料ニ限リマシテ生産補助ヲ致スノデアリマスカラ、其染料ヲ生産致シマスルモノニ對シテハ、如何ナル會社デモ株式會社ナラ 助ヲ致スノデアリマス、而シテ現ニ我國ニアル會社ニ致シマシテ、此補助ニ依テ直ニ或ル仕事ヲ爲シ得ラル、ト云フノハ一番ガ日本染料會社デアリマス、其次ガ三井ノ三池ノ染料工業會社デアリマス、ツレカラ又和歌山ニ由良工業會社ト云フノガアリマス、富士工業會社ト云フノモアリマス、是等位ノ會社グラウト思ヒマスガ、尙ホ他ニ適當ナルモノガアリマスルナラバ、如何ナル會社ト雖モ種類ヲ擇バヌノデアリマス、即チ製品ヲ目的トシテ補助ヲ致スノデアリマスカラ、日染ノミニ限ルノデハナイト云フコトヲ申上ゲマス、第二ニ現在ノ關稅更ニ改正シテ、或ハ引上ゲルト云フ意思ガアルノデハナイカ、之ヲ若引上ゲルト致シマスナラバ、我國ノ織物工業ノ上ニ於テ非常ナ打撃デアルト云フコトノ御心配デアアルヤウデアリマスルガ、只今ノ所ニ於キマシテハ、此關稅ニ手ヲ着ケル考ハ持ッテ居リマセヌ、併シ一覽 稅ノ今調査中デアリマスルカラ、他ノ稅トノ權衡上ドウ云フ事ガ起ルカモ知レマセヌケレドモ、今ノ所デハ關稅ニ付キマシテハ、改正ヲシテ之ヲ増率トスルト云フヤウナ考ヲ持ッ

テ居リマセヌ、ソレカラ第三ニハ輸入制限ヲ致シテ居ルケレドモ、是ハ主トシテ獨逸ニ對スルノデアラフテ、佛蘭西、伊太利等他ノ國ニ對シマシテハ、條約ノ關係上之ヲ實行スルコトガ出来ナイ、故ニ所謂尼拔ケニナラシマヒハセヌカト云フ御話デアリマスガ、事實其通りデアリマス、形カラ申セバ其通りデアリマシテ、日佛條約、日伊條約、共ニ御互ニ如何ナル品物ニ付キマシテモ、大體主義方針ト致シマシテハ、輸入制限ハ致サヌト云フコトニ條約決定シテ居ルノデアリマス、唯、特殊ノ物ニ對シマシテハ列強國シマシテ輸入制限ヲスル場合ヲ留保シテアリマスルガ、併シ其染料ニ付キマシテハ此列強國ニ除外ニ當ルヤ否ヤト云フコトハ疑問デアリマシテ、昨年ノ輸入制限ニ付キマシテハ、他ノ國ニハ適用セヌト云フコトニ致シテ居リマス、併シ事實ニ於キマシテハ是等ノ國ニヨリ我國ニ輸入セラル、染料ハ殆ド無イノデアリマシテ、獨逸ノ品物ヲ輸入致シマスレバ、制限ノ目的ヲ達スルノデアリマス、尙ホ今回條約改正ニ際シマシテ、獨逸政府ハ此制限ノ日本ノ權利ヲ取去テ、自由ニ輸入ヲスルコトガ出来ルヤウニ條約ヲ締結シタイト云フコトハ獨逸政府ノ希望デアリマス、併シ前申スヤウナ次第デ、我國トシマシテハ此工業ハ國家存立上ドウシテモ成立セシメナケレバナリマセヌカラシテ、我國ハ自由ニ輸入ヲ制限シ得ラル、權利ヲ留保致シタイト思ウテ、折角其積リテ進行致シテ居ルヤウナ次第デアリマス、ソレカラ補助金割出シ基礎デアリマスガ、是ハ何レ許シ事ハ委員會會中上ゲマスガ、大體申上ゲマスルト云フト、賣上金高ノ約一割ト云フコトヲ標準ニ致シテ居リマス、即チ市價ト生産費トヲ能ク調査致シマシテ、サウシテ賣上金高ノ約一割見當ヲ目標ト致シマシテ此豫算ヲ組ンダ次第デアリマス、此賣上金高一割ノ補助ヲ致シマスルナラバ、大抵此工業ハヤッテ行ケルグラウト云フ計算ノ下ニ立テタノデアリマス、ソレカラ獨逸ガ賠償染料ヲ各國ニ渡ス、日本モ之ニ加テ居ルノデアアル

カラ、尙ホ將來賠償染料ガ這入ッテ來ル筈デアアル、之ヲ如何ニスルカト云フ御質問デアリマス、御承知ノ通り昨年倫敦協定ニ依リマシテ、獨逸ノ賠償染料ヲ受取ルベキ期間ガ延長サレマシテ、千九百二十八年マデニナラシデアリマス、昨年末完了致シマスルノヲ、更ニ千九百二十八年マデ延長致シマシタ、此爲ニ我國ニモ希望ナラバ此染料ヲ獲得スルダケノ權利ガアルノデアリマス、而シテ若シ獲得スルト致シマスルナラバ、ドウ云フ染料ヲ獲得スルカト申セバ、申スマデモナク、既ニ我國ハ成立致シマシタル染料ハ獲得致サヌ積リデアリマス、我國ニ未ダ成立シテ居ラヌ染料ニシテ、我國ノ工業上、或ハ染色上非常ニ必要ナルモノヲ獲得致サヌト思フテ居リマス、而シテ其販賣ハ是マデノ方法ニ依リマス、ト云フト、先ツ政府ガ受取リマシタ染料ヲ第一ニ獨逸ノ製造會社ノ代理取扱店、之ニ先ツ優先權ヲ與ヘテ居ルノデアリマス、何故ナラバ是ガ第一ニ染料ヲ扱ッテ居タノデアリマスカラ、之ニ優先權ヲ與ヘル、ソレガナケレバ其次に與ヘルヤウニ致シタイトデアリマス、然ルニ倫敦協定ニ依リマシテ、「ドーズ」案ニ依リマシテ、各國トモ獨逸カラ受取タル染料ハ、商行爲ノ方法ニ依テ「ドーズ」面取引ノ方法ニ依テ之ヲ販賣スル、斯ウ云フ中合セテ致シタノデアリマス、是ガ爲ニ獨逸ハ非常ニ獨逸ノ國ニ都合ノ好イヤウチコトヲ申シテ參ッテ居リマスケレドモ、我國ニ於キマシテハ我國ノ折角補助ヲシヤウ、獎勵シヤウ、發達セシメヤウト云フ工業ヲ控ヘテ居リマスガ故ニ、是ノ計畫ヲ破壞セザル範圍ニ於テ適當ナ方法ヲ執リマシテ、只今ノ所デハ獨逸ノ代理店ナドニハ取扱ハシメヌ積リデアリマス、一般ニ成ベク今マデノ方法ヲ變ヘテ、公入札等ノ方法ニ依テ拂下ヲ致シタイ、斯ウ考ヘテ居リマスガ、マダ所謂取ラヌ狸ノ皮算用デアリマシテ、賠償染料ガ這入ッテ來テ居ラヌノデアリマス、尙ホ這入ッテ來マヌルマデニ於テ十分考慮致シマシテ、計畫致シテ居リマスル染料工業ノ獎勵ト、一般ノ經濟狀態ト

ニ矛盾致サル、不利益ナラザル方法ニ依テ此處置ヲ致シタイト考ヘテ居リマス、大體右ノ點デ御承知ヲ願ヒマス

○副議長(小泉又次郎君) 日程第二、本案ノ審査ヲ付託スベキ委員ノ選舉ヲ議題ト致シマス

第二 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

○井本常作君 本案ハ委員ノ數ヲ特二十八名トシ、議長ニ於テ指名セラレンコトヲ望ミマス

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○副議長(小泉又次郎君) 井本君ノ勸議ニハ御異議ナイト認メマス、仍テ勸議ノ如ク決シマス、——日程第三、船舶無線電信施設法案ノ第一讀會ヲ開キ、政府ノ説明ヲ求メマス、大倉通信大臣

第三 船舶無線電信施設法案(政府提出)

船舶無線電信施設法案 第一讀會

第一條 左ノ各號ノ一ニ該當スル日本船舶ハ無線電信ノ施設ヲ施シテ遠洋航路又ハ近海航路ニ於テ之ヲ航行シムルコトヲ得ス但シ航海ノ目的具ノ他ノ事情ニ依リ已ムコトヲ得スト認メラルトキハ主務大臣ハ期間ヲ指定シ其ノ施設ヲ施シテ之ヲ航行ノ用ニ供セシムルコトヲ得

一 總噸數二千噸以上ノ船舶

二 五十人以上ノ人員ヲ搭載スル船舶

前項第二號ノ人員ハ旅客ニ付テハ旅客定員ニ依リ之ヲ算定ス

傷病船員ノ補充、海難救助其ノ他已ムコトヲ得サル事由ニ因リ臨時ニ搭載シタル人員ハ之ヲ第一項第二號ノ人員中ニ算入セヌ

第一項第二號ノ船舶ニシテ總噸數二千噸未滿ノモノニ付テハ主務大臣ハ別段ノ規定ヲ設ケルコトヲ得

第二條 當該官吏ハ無線電信施設ノ検査ヲ行フ爲必要アルトキハ何時ニモ船舶ニ臨檢シ又ハ其ノ航行ノ停止ヲ命スルコトヲ得

第三條 船舶所有者又ハ船長カ本法、本

法ニ基キテ發スル命令又ハ前條ノ航行停止ノ命令ニ違反シテ船舶ヲ航行セシメタルトキハ千圓以下ノ罰金ニ處ハ前項ノ規定ニ該當スル船舶所有者カ未成年者若ハ禁治產者ナル場合又ハ法人ナル場合ニ於テ其ノ者ニ適用スヘキ罰則ハ其ノ法定代理人又ハ法令ノ規定ニ依リテ法人ヲ代表スル者ニ之ヲ適用ス

第四條 正當ノ事由ナクシテ當該官吏ノ臨檢ヲ拒ミ妨ケ若ハ忌避シ又ハ其ノ尋問ニ對シ答辯ヲ爲サス若ハ虛偽ノ陳述ヲ爲シタル者ハ五百圓以下ノ罰金ニ處ス

第五條 本法ニ於テ船舶所有者ニ關スル規定ハ船舶共有ノ場合ニ在リテハ之ヲ船舶管理人ニ、船舶賃借ノ場合ニ在リテハ之ヲ船舶賃借人ニ適用シ船長ニ關スル規定ハ之ヲ船長ニ代リテ其ノ職務ヲ行フ者ニ適用ス

第六條 本法ハ日本船舶ニ非サル船舶ニシテ本法施行地内ノ港ニ出入スルモノニ之ヲ準用ス

附則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

○國務大臣(大藏省) 船舶無線電信施設法案デゴザイマスガ、是ハ御承知ノ通り近來餘程ヤカイマス問題ニナリ居リマス、ソコデ愈海上ニ於ケル生命ノ安全ト云フ爲ニ此法ヲ設ケマス、ソレデ船舶業者ノ經濟關係、色ノモノカヲ對致シマシテ、二千噸以上若クハ五十人以上ヲ乗セテ居ル船ニ之ヲ強制シテ行フ、斯ウ云フ法案デゴザイマス、此近來ヤカイマシウナリマシタ小歴史ヲ述ベマス、御承知ノ通り千九百十二年ニ「タイタニック」號ガ大西洋デ沈没致シタ、此大キナ船デアデ非常ナ人命ヲ失タト云フノカラ、非常ニ生命ノ保護ト云フコトガヤカマシウナリマシテ、亞米利加ニ於テハ即時ニ此強制法ヲ設ケタノデアリマス、ソレカラ間モナク千九百十四年ノ一月デアリマシタガ、倫敦デ英、米、佛、獨、其他十一箇國ノ代表者ガ寄リマシテ、サウシテ此海上ニ於ケル生命ノ安全ト云フ爲ニ協約ヲ作シ各調印致シマシタガ、間モナク、大戦ガ勃發シタ爲ニ、ドノ國モ批准ニナラズシテ其儘ニナッタノデアリマス、批准ニハナラテ居リマセヌガ、主ナル國ニ

於キマシテハ強制シテ之ヲ行テ居ルノデアリマス、ソコデ日本ニ於キマシテモ、海外航路デ行キマスノハ皆強制サレテ、内國船外國船ヲ問ハズ、皆其法ヲ布イテ居ル國デハ之ヲ強制シテヤラセテ居ルノデアリマス、所ガ日本ニハ是ガゴザイマスセヌカラ、強制範圍ヲ離レルト云フ、其裝置ノアルモノデモ人ヲ下ストカセマコトヲヤラテ、隨分危險ナ事ヲヤラセテ居リマス、ソレカラ近來ノ日本ノ近海ノ有様ヲ見マス、非常ニ遭難船ガ多イデ、ドウシテモ擱ケマセヌノデ此法ヲ設ケマシテ、二千噸以上、人間五十人以上ヲ乗セテ居ルモノハ之ヲ強制シテヤラセルト云フ法案デアリマス、詳細統計等ハ委員會ニ於テ説明致シマス、ドウソ御協賛ヲ願ヒマス(拍手起ル)

○副議長(小泉又次郎君) 日程第四、右議案ノ審査ヲ付託スベキ委員ノ選舉ヲ議題ト致シマス

第四 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

○井本常作君 本案ハ政府提出明治三十二年法律第七十號中改正法律案外三件ノ委員ト同一委員ニ、併セテ付託セラレンコトヲ望ミマス

○副議長(小泉又次郎君) 井本君ノ動議ニ異議ナシト認メマス、仍テ動議ノ如ク決シマシタ

○作間耕逸君 議事日程變更ニ關スル緊急動議ヲ提出致シマス、即チ大正十三年度歲入歳出總豫算追加案、第一號、同年度各特別會計歳入歳出豫算追加案、特第一號、及豫算外國庫ノ負擔トナルベキ契約ヲ爲スヲ要スル件追第一號ヲ此際特ニ上程シテ一括議題トナシ、豫算委員長ノ報告ヲ求メ、其審議ヲ進メラレンコトヲ望ミマス

○副議長(小泉又次郎君) 作間君ノ動議ニ異議ナシト認メマス、仍テ日程ハ變更セラレマシタ、第一號、大正十三年度歲入歳出總豫算追加案、特第一號、大正十三年度各特別會計歳入歳出豫算追加案、追第一號豫算外國庫ノ負擔トナルベキ契約ヲ爲スヲ要スル件ヲ一括議題ト致シ、委員長ノ報告ヲ求メマス——委員長町田忠治君

○町田忠治君 只今議題トナシテ居リマスル、大正十三年度豫算追加案第一號、特第一號、追第一號、右三案ノ豫算委員會ニ於ケル經過ノ大要及其結果ヲ御報告致シマス、一昨三日豫算委員會ニ於キマシテ、右三案ニ對シ大藏大臣ノ説明ガアリマシタ、御承知ノ如ク追加豫算ハ本會議ニ付セズ、直ニ豫算總會ニ掛ケラレルコトニナリテ居リマスガ故ニ、私ハ諸君ノ御審議ノ便宜ニ、追加豫算案ノ内容ノ大體ヲ極メテ簡單ニ説明致シマス、大正十三年度歲入歳出總豫算追加第一號トシテ計上セラレタル金額ハ、歲入歳出各三千八百七十四万四千七百五

(第一號)大正十三年度歲入歳出總豫算追加案

報告書

一(第一號) 大正十三年度歲入歳出總豫算追加案

右ハ本院ニ於テ可決スヘキモノト議決致候此段及報告候也

大正十四年三月五日

豫算委員長 町田 忠治

衆議院議長粕谷義三殿

(特第一號)大正十三年度各特別會計歳入歳出豫算追加案

報告書

一(特第一號)大正十三年度各特別會計歳入歳出豫算追加案

右ハ本院ニ於テ可決スヘキモノト議決致候此段及報告候也

大正十四年三月五日

豫算委員長 町田 忠治

衆議院議長粕谷義三殿

(追第一號)豫算外國庫ノ負擔トナルベキ契約ヲ爲スヲ要スル件

報告書

一(追第一號)豫算外國庫ノ負擔トナルベキ契約ヲ爲スヲ要スル件

右ハ本院ニ於テ可決スヘキモノト議決致候此段及報告候也

大正十四年三月五日

豫算委員長 町田 忠治

衆議院議長粕谷義三殿

十三圓デアリマス、而シテ其追加ヲ要スル最モ主ナルモノニ、三ヲ舉ゲマスレバ、爲替相場下落ノ爲メ政府ガ海外ニ於テ外國貨幣ヲ以テ支拂フヘキ豫算ノ不足ヲ補フ爲メ、貨幣交換差金ノ増加一千六百三十三萬圓ヲ計上サレタルガ第一デアリマス、次ハ臨時軍事費特別會計廢止ノ爲メ、茲ニ一千萬圓ヲ一般會計カラ繰入レル必要ガ生ジタノデアリマス、第三ハ先般ノ行政財政整理ノ結果トシテ、一時恩給ノ増加ヲ要スルモノ及一般ノ恩給、其他扶助料ノ豫算ノ不足ヲ補フ必要ナ、茲ニ七百五十萬圓ヲ計上サレタノデアリマス、今一ツハ同計上ノ爲メ替相場下落ノ爲メ、在外官吏ノ在勤條ヲ増加スル必要ノ爲メ外務、陸軍、其他各省ヲ通ジテ三十一萬餘圓ヲ計上サレタルガ主ナル費目デアリマス、之ニ對シマシテ歳入ニ於キマシテハ刑務所收入ノ増加三十六萬餘圓、海軍受託造修收入ノ増加二十萬餘圓、及前年度剩餘金繰入三千八百三十三萬餘圓デアリマス、但シ茲ニ御諒解ヲ得テ置キタイノハ、前年度繰入三千八百三十三萬餘圓中、一千萬圓ハ豫テ政府ノ計畫シテアル大正十二年度剩餘金使用額ノ中カラ保留シテアルモノヲ以テ之ニ充テ、二千八百三十三萬餘圓ハ先般大藏大臣ガ聲明サレタ大正十三年度及大正十四年、兩年度ノ追加豫算ノ財源トシテ保留シテアル、六千萬圓ノ豫算ヲ支出スルベキデアリマス、大藏大臣ノ説明ハ新様デアリマシタガ、豫算委員會ハ、全額ニ付託セズ、總會ニ於テ審議ヲ遂ゲルコト、致シテ質問應答ニ入りマシタ、質問應答ニ上リマシタ箇條ハ十數箇條ノ多キニ上リテ居リマスガ、其中最モ主ナルモノハ、貨幣交換差金一千六百三十三萬圓ヲ算出スル計算ノ基礎ハ何レニ在ルヤ、又大正十三年度ノ追加豫算ノミナラズ、大正十四年度ニ於テモ等シク此差金ヲ計上スル必要ヲ政府ハ認メテ居ルカト云フ質問デアリマス、之ニ對シテ政府ハ大正十三年度ニ於テ海外ニ於テ支拂フヘキ政府ノ義務ニ屬スル金額、凡ソ二億五千萬圓アル、政府ハ大體ニ於テ其ノ割二千五百萬圓ハ爲替差損トシテ茲ニ計上シテ皆サンノ御協賛ヲ得ル等ノ金額デアアルガ、政府ガ曾テ買入レタル所ノ正貨ノ買入價格ガ金ノ純分比例ニ對シマシテ、殆ど一千万圓ノ差増アルガ故ニ、此豫算ニ於キマシテハ、一千六百萬圓ノ差損ヲ計上シタノデア

ルノデス、斯様ナ説明デアリマス、而シテ大正十四年度ニ於テモ等シク千五百万圓乃至千六百万圓ノ範圍ニ於テ更ニ追加豫算トシテ協賛ヲ得ル豫定デアルト云フ説明デアリマス、第一臨時軍事特別會計說明ニテハ、其計數ニ付キマシテノ質問デアリマス、惟フニ臨時軍事特別會計ハ大正三年以來十四年ノ間今日ニ續イテ居リマス、其金額巨億ニ達シテ居リマス、歴代ノ内閣ガ之ニ支出シタル效果ニ對シマシテハ、院ノ内ニ於テ頗ル議論ノ多イ臨時軍事特別會計デアリマス、而シテ其金額ノ正確ナルモ、今日マデハ判然致サナカッタ、此度此會計ヲ廢止スルコトニナリマス、初メテ正確ナル金額ヲ得マシタ、故ニ茲ニ諸君ニ御披露致シマス、即チ臨時軍事費ノ實行豫定額ハ八億九千九百万圓ノ多キニ上リマス、其内一級會計ノ繰入ニ屬スルモノ二億九千九百万圓、公債支辨ニ屬スルモノ五億五千九百万圓、特別會計所屬ノ收入ニ屬スルモノ三千八百九百万圓、其合計ハ八億八千九百万圓デアリマス、前申上デマシタ實行豫定額ハ八億九千九百万圓ニ對シマシテ、茲ニ一千万圓ノ不足ヲ生ジマシタル故ニ、此一千万圓ヲ一般會計カラ繰入レヤウト云フ案デアリマス、今一ツハ金額ハ少クアリマス、多數ノ委員カラ展質問應答ノアツタ問題ハ、此度ノ收入豫算中ニ現ハレテ居リマス、刑務所收入ノ増加三十六萬餘圓ノ問題デアリマス、政府ノ提出サレタル豫算案並ニ之ニ附屬スル説明ニ依リマス、ト、作業ヲ擴張シテ此收入ハ得ラル、如ク現レテ居ルノデアリマス、之ニ對シテ刑務所ノ作業ハ固定シタル資本ノ利子ヲモ要セズ、國稅其他ノ諸稅モ要セズ、一般市場ノ貨銀ニモ制セラル、コトナキ爲メ、生産費極メテ低廉デアラル、然ルニ茲ニ刑務所ノ作業ヲ擴張シテ新ニ三十六萬圓ノ歲入ヲ得ルコトニ致シマス、サナキダニ不振ノ我が産業界ヲ壓迫スル虞ハナキカト云フ詳細ナル質問ガアリマス、之ニ對シテ政府ハ種々ナル事情並ニ理由ヲ開陳セラレテ、民間經濟社會ト競争スル範圍外ニ於テ此作業ヲ擴張ヲシ、斷ジテ民間經濟社會ヲ壓迫スルコトノナイヤウナ責任ヲ執ルト云フ説明ヲ以テ終リマシタ、デアリマス、其他尼港殉難者ノ遺族ニ對シ慰安ノ途ヲ講

ズルノ件ニ對スル質問、北樺太ノ利權問題ニ關スル政府ノ處置ニ對スル質問、日露漁業協定條約ノ期限及場所ニ關スル質問、北海道留萌ニ於ケル東洋拓殖會社資金ノ額實問ヲ初メトシテ、十數項ノ質問應答ガアリマス、其詳細ハ委員會ノ速記録ニ該テ茲ニ略スルコト、致シマス、次デ右三案ノ討論ニ移リマシタ、政友本黨ノ委員諸君ヲ代表セラレテ委員會ノ一人ヨリ、意見ハ此所ニ保留シテ本會議ニ於テ述ベラレルト云フコトノ外ニ憲政會、政友會、革新俱樂部、中正俱樂部ヲ代表セラレテ各委員ヨリ、本案ニ向テ全部賛成ノ意ヲ表セリタルノデアリマス、(拍手)而シテ同時ニ一二有力ナル希望ヲ述ベラレテ居リマス、ハ、其一ハ在外官吏ノ加俸増加ノ件ニ對シテ、アリマス、爲替相場下落ノ爲ニ之ヲ増加スルノ必要ヲ認メタト云フコトハ、一ノ事情ルニシテ聽取レバ、日本ノ近來ノ物價ト海外諸國ノ物價ト比較スルハ、戰後英米ヲ初メシテ海外ノ物價ハ日本ニ比較スル著シク低落シテ居ルニ反シ、日本ノ物價ハ平均シテ近頃頗ル騰貴シ、其英米ニ對スル日本ノ物價ハ頗ル高位ニアル、若シ爲替相場下落ノ爲ニハ在動俸トシテ外國ニ在ル官吏ノ受取ガ減ズルガ爲ニ、之ヲ救済スル意味デアレバ、同時ニ内國ニ於ケル官吏ノ俸給ニ向テモ考慮ヲ要スル案デアル、頗ル有力ナル質問ガアリマス、政府ハ種々ナル此必要ニ迫ル諸外國ノ事例ニ徴シマシテ、假ニ之ヲ諒トスルガ、政府ハ出來ルダケ爲替相場ノ回復ニ對スル對策ヲ講ジテ、斯様ナ變態ノ増加ハ一日モ早ク之ヲ廢止スルコトニシタイト云フ希望ガ政友會ノ委員カラ出マシタ、又革新俱樂部代表委員ヨリハ爲替相場變動ノ爲ニ在外官吏ノ加俸ヲ致スノハ已ムヲ得ザルトシテ、政府ガ海外ニ於テ從事シテ居ル事業、並ニ政府ガ國家必要ノ事業トシテ海外ニ於ケル民間ノ事業ニ對シテ少カラザル金額ヲ補助シテ居ル、爲替相場變動ノ爲メ殊ニ支那ニ於ケル爲替相場ノ最も變動多キガ爲メ、政府ノ補助シテ居ル金額ヲ以テシテハ豫定ノ事業ガ進行セザル虞ガアル、故ニ此方面ニ向テ政府ハ十分ノ考慮ヲシテ、國家事業トシテ補助シ、若クハ政府自ラ若手シテ居ル事業ノ進行ヲ妨ザルヤウナ對案ヲ講セラレタイト

云フ希望デアリマス、斯様ニ致シテ本案ハ大多數ヲ以テ豫算總會ヲ通過シタニ付キマシテハ、何卒諸君ニ於ケラレテモ委員會決定通り、御協賛アラント希望致シマス、(拍手起ル)

○副議長(小泉又次郎君) 委員長ノ報告ニ對シ賛成ノ通告ガアリマス、岩切重雄君

○吉植庄一郎君 此場合質疑ガアリマス

○副議長(小泉又次郎君) 岩切重雄君暫ク

○吉植庄一郎君 豫算總會ニ於テ御尋ヲ致スノデアリマス、當時内務大臣ガ出席シテ居ラレナカッタ、其質問ヲ保留シテ置キマシタカラ、此機會ニ於テ御尋ヲスルノデアリマス、ソレハ過日提出ノ大正十三年度追加豫算ノ中ニハ、萬國勞働會議ニ對スル所ノモノガアリマス、今日ニ至ルマデ數回萬國勞働會議ニハ我國ヨリ代表ヲ出シテ其會議ニ參加ヲ致シタノデアリマス、然ルニモ拘ラズ我國ノ勞働立法ハ、今日依然ルニシテ何等ノ進展ヲ見ナイノデアリマス、曩ニ勞働者ノ健康保險法ガ法律トナシテ居ルノデアリマス、既ニ法律トナシタモノ、施行スラモ尙ホ今日實行シナイノデアリマス、勞働爭議調停法ノ如キハ新聞紙上ニハ屢々其提出ヲ傳ヘラレタガ、今日尙ホ其提出ヲ見ナイノデアリマス、又勞働組合法案ノ如キニ至ッテハ、尙ホ其提出ノ消息ヲ聞カナイノデアリマス、政府ハ一面ニ於テ治安維持法ヲ議會ニ提案シタ、今審議中デアアル、一面ニ於テハ勞働會議ニ參加シテ、尙且ツ勞働組合法、勞働爭議調停法或ハ健康保險法、是等ノモノニ對シテ何等考慮ヲ拂ハズシテ、而シテ治安維持法ヲ提出シタルガ爲メ、全國ノ勞働社會ニ於テハ此治安維持法ナルモノハ勞働階級壓迫ノ惡法ナリトシテ、反對ノ聲ガ甚ダ多イノデアリマス、斯ノ如クシテ而シテ此追加豫算ニハ依然トシテ萬國勞働會議ノ爲ニ其經費ノ不足ヲ要求シテ居ルノデアッテ、政府ノ眞意何レニ在リヤヲ疑ハザルヲ得ナイ、是ニ於テ吾々ハ豫算總會ニ於テ此經費ヲ御尋シタノデアリマス、然ルニ當時大藏大臣ハ國務大臣トシテ、勞働保險法ハ大正十五年度ニハ答セラレテ居リマス、他ノ勞働立法ニ對シテハ所管大臣ガ居ラヌカラシテ、内務大臣ヨリ御答スルガ然ルベシト云フノ御控ヘニ

ナッタノデアリマス、是ガ質問應答ノ概要デアリマス、本日ハ内務大臣ヨリ此件ニ對シテ、勞働組合法或ハ勞働爭議調停法、是等ハ本期議會ニ一會期最早餘ス所幾許モナイノデアアルガ、出スノデアアルカ出サヌノデアアルカ、出サナイト云フナラハ何故ニ出サヌノデアアルカ、而シテ本年出サナイト云フナラハ何時之ヲ出スト云フノデアアルカ、之ニ對シテ政府ガ明快ニ此問題ニ對スル所信ヲ披露セラレンコトヲ希望スルノデアリマス

〔政府委員片岡直溫君登壇〕

○政府委員(片岡直溫君) 吉植君ノ豫算委員會ニ於テ御質疑當時、内務大臣ハ貴族院ニ出席ヲ致シテ居リマシテ、豫算總會結了ノ時マデニ、出席シテ御答ヲ致ス積リデ居、タノデアリマス、貴族院ノ會議ハ御承知ノ如ク尙ホ繼續シテ居リマス、今日モ此處ニ缺席シテ居リマス、私ヨリ大要ヲ御答申上デマス、勞働問題ハ我が産業ノ上ニハ最も大切ナル事柄デアリマス、我國ガ既ニ國際聯盟ニ加入致シテ、勞働會議ニ代表者ヲ出シテ居ル今日ニ於キマシテハ、勞働問題ニ對シテ諸般ノ法規ヲ定ムベキハ此際定ムルガ相當デアルト信ジテ居リマス、殊ニ勞働問題ナルモノハ經濟界ノ盛衰ニ件ウテ或ハ紛擾ガ起リ、經濟界萎靡ノ際ハ其紛擾ハ減ル云フヤウナ姿ニナッテ居リマス、現ニ統計ノ完全ニナッテ居リマス英國ナドニ於ケル勞働狀態ノ統計ヲ見マシテモ、經濟界ニ於ケル金利ト稍、此事柄ハ並行シテ居ルヤウニ見エテ居ルノデアリマス、故ニ我國ノ如キ今日ノ此經濟界萎靡ノ場合ニ於テ、是等ノ問題ヲ解決スルコトハ適當ナル時機デアルト思フテ居ルノデアリマス、ソレ故ニ内務當局トシテハ勞働組合法、勞働爭議調停法、健康保險法、何レモ定ムベキハ定メ、實行スベキハ實行スルヤウニ致シタイト云フ考ヲ以テ進ンデ居ルノデアリマス、サリナガラ此勞働問題ナルモノハ極メテ重大ナル關係ヲ有シテ居リマス、故ニ組合法ヲ制定致スルニシマシタ所ガ、諸般ノ關係ニ於テ能ク是等ノ諒解ヲ得テ、相當ナル法案ニシナケレバナラヌノデアリマス、内務當局トシテハ略、立案ハ致シマシタ、其關係スル所ノ廣キ爲メ、勞働組合法ナルモノハ未ダ閣議ノ決定ヲ經ルマデニ運ンデ居リ

マセヌ、少クモ勞働爭議調停法ダケハ今期議會ノ協賛ヲ求メルヤウナ運ビニ致シタイト思フテ居リマスガ、是モ同ジ關係ノアル事柄デアリマス、内務當局ノミノ意見ヲ以テ決定アルコトノ出來ナイコトハ勿論デアリマス、是亦遺憾ナガラ今日只今閣議ノ決定ヲ致シタコトヲ御報告ヲ申スコトノ出來ナイノヲ甚ダ遺憾ニ存ジマス、斯ノ如キ次第デゴザイマシテ、案ノ總マリ次第提出ヲ致シテ協賛ヲ求ムルコトニ致シタイト存ジテ居リマスガ、議會ノ會期ハ退タニ切迫致シマシテ、或ハ此會期中ニハ閣ニ合ハカト云フコトハ、只今茲ニ明言ヲスルコトガ出來得ナイノデアリマス、健康保險法ノ如キハ既ニ法律其物ハ出來テ居ルノデアリマス、故ニ遅クモ本年——大正十四年ノ十月頃ヨリ之ヲ實施スルヤウナ準備ヲ進メタイト存ジテ進シテ來タノデゴザイマシマスガ、是ハ大藏大臣ヨリ豫算委員會ニ於テ說明致シマシタ如ク、本年ノ財政上此費用ヲ協賛ヲ求ムルコト云フ運ビニ行カナカッタコトヲ頗ル遺憾ト致シマス、併ナガラハ大正十五年度ニ於テハ十分考慮ヲ加ヘテ、實行スルヤウニ致シタイト云フヲ持テ居ルコトヲ云フコトハ、既ニ大藏當局ヨリ明言セラレタヤウナ次第デアリマスカラ、是ハ十五年度ヨリ實行スルヤウニ致シタイト存ジテ居リマス、大要是ダケノ御答辯ヲ致シマス(拍手)

○副議長(小泉又次郎君) 岩切重雄君

○岩切重雄君 只今議題トナリマシタ大正十三年歳入歳出總豫算追加、即チ第一號外二案ニ關シマシテ意見ヲ述ベタイト考ヘマス、吾々ハ本追加豫算ニ對シマシテハ、三ツノ點ニ付キマシテ政府ニ強キ意味ノ注意ヲ促シ、ソレニ對スル意見ヲ開陳致シマシテ、本追加豫算ニハ賛成ノ意思ヲ表シマシト思フノデアリマス、三個ノ點ト申シマスノハ、其第一ハ歳入ノ部類ニアリマス所ノ刑務所收入ノ増加トシテ計上サレマシタ所ノ三十六万九千五百五十一圓ト云フ其歳入デアリマス、此三十六万九千餘圓ト云フ刑務所ノ收入ナルモノハ、先ニ豫算委員會ノ說明モアリマシタ如ク、此點ニ關シマシテハ頗ル議員間ニ於テモ注意ヲ促サレテ居ル所ノ問題デアリマス、即チ簡單ニ申シマスレバ、民間ノ事業トノ間ニ此點ニ關シテ幾分之ヲ壓迫スルガ如キ性質ノモノデアルト

致シマスナラバ、將來ニ向テ政府ハ十分ニ注意ヲ促サレナケレバナリナリ條件デアルト考ヘルノデアリマス、故ニ既ニ追加豫算ト致シマシテハ殆ド決算ニモ等シキ過去ノモノデアリマスカラ、吾々ハ之ヲ荒立テテ申スコトハ致シマセヌガ、將來ニ向テ此刑務所ノ仕事ニ對シテハ、政府ハ十分ナル注意ヲ拂ハレシコトヲ吾々ハ甚ダ希望ヲ述ベテ置クノデアリマス、次ニ私ハ歳入ニ於ケル二ツノ點ニ於テ政府ニ希望ヲ述ベ、強キ意味ニ於ケル反省ヲ促シタイト思ヒマスコトハ、大藏省所管ニ屬シマスル分トシテ、諸拂戻及補填金ノ増加ト云フ款ノ中ニ在リマス、貨幣ノ交換差金トシテ計上致サレマシタ所ノ一千六百餘萬圓、此差損金ノ問題デアリマス、第二ハ在外在勤俸增加ノ臨時給與ニ關スル點、此一點デアリマスガ要スルニ此二點ハ先般來經濟界ニ於テ、及議場ニ於テモ問題トナリ居リマス所ノ金ノ輸出解禁、即チ日本ニ於ケル圓價ノ低落、外國爲替ノ問題ニ關係シテ起テ來タ所ノ問題デアリマス、即チ金ノ解禁、其可否ニ付テハ從來政府トシテハ此點ニ對シテ十分ナル政策ヲ執ラレナイコトヲ極メテ遺憾トシテ居ルノデアリマスガ、併ナガラ十三年度ノ追加豫算トシテハ、既ニ過去ノ事實デアリ、又既ニ現在行ヒツ、アル當面ノ問題デアリマシテ、此點ニ對シテ吾々ハ政府ニ希望ヲ述ベ、且ツ注意ヲ促ス外致方ナイノデアリマス、且又吾々ハ金ノ解禁問題ニ對シテハ條件ヲ附シテ、將來ニ於テ圓價ノ回復ヲ圖リ、爲替關係ノ回復ヲ圖ルコトヲ吾々ハ主張致シテ居ルノデアリマスカラ、只今茲ニ現レマシタ追加豫算ニ對シマシテハ贊成スル外致方ナイノデアリマス、即チ第一一千六百萬圓ノ交換差損金ノ項目デアリマスガ、此差損金ノ問題ハ恐クハ大正十四年度ノ追加豫算ニ對シマシテモ、幾多ノ經費ガ追加豫算トシテ要求サレルモノデアリカト吾々ハ想像スルノデアリマス、即チ政府ノ今日マデ執リモラレタ所ノ爲替政策ガ此結果ヲ產出スモノトシテ、吾々ハ之ヲ考ヘナケレバナラヌ、爲替ノ關係、圓價ノ關係ガ政府ノ對策宜シキヲ得マシタナラバ、十三年度ノ追加豫算ニ於テ千六百萬圓、或ハ十四年度ニ於テハ是レ以上莫大ナル經費ヲ國家ニ要求スルコトハナイト吾々

ハ考ヘルノデアリマスガ、遺憾ナガラ此圓價對策ノ宜シキヲ得ザル爲ニ茲ニ至ラタコトヲ極メテ吾々ハ遺憾トスルノデアリマス、何卒將來ニ對シテハ、爲替問題ニ對シテ政府ハ十分ナル政策ヲ執リ、斯ノ如キ莫大ナル差損金ガ豫算ノ上ニ對シテ現レザランコトヲ、吾々ハ今日ヨリ希望セザルヲ得ナイノデアリマス、ソレハ政府ト雖モ斯ノ如キ交換差損金ガ國家ノ經濟財政ノ上ニ現ハレルコトハ、決シテ政府ト雖モ望シテ居ラレナイ、即チ其宜シキヲ得ルナラバ斯ノ如キ經費ヲ要求スルニ至ラズト雖モ濟ム問題デアリマス、即チ此點ニ對シテ、將來ニ對シテ大藏大臣ニ十分ナル對策ヲ講ゼラレンコトヲ此席ヨリ希望致シテ置クノデアリマス、更ニ第三ノ問題ト致シマシテハ其大部分ハ外務省ニ關係アル問題デアリマスガ、外務省ハ在外在勤臨時加俸ニ對シテ二十一万五千餘圓ト云フ金ヲ要求シテ居ル、總體ノ豫算ノ上ニ於テハ三十一萬餘圓ノ金ヲ要求シテ居ルノデアリマス、此三十一萬餘圓ハ其額ニ於テハ極メテ僅デアリマスガ、此由來ヲ茲ニ申シマスルナラバ、恐ラク議員諸君モ極メテ不合理ナルモノデアルトニ氣付カレララウト私ハ思フノデアリマス、即チ如何ナル理由デアアルカト言ヘバ、今日外國ニ勤勞致シテ居ル官吏ニ對スル俸給ナルモノガ圓價ノ低落、爲替關係ノ爲ニ割以上ノ利益ナル位置ニ立テ居ル、ソレ故ニ是ニ對シテ増給ヲシヤウト云フノガ此案ノ趣旨デアリマス、私ハ圓價ノ低落ト云フコトハ外ニ對シテハ對外價值ノ下落デアリ、内ニ對シテハ對内價值ノ低落デアリ、即チ内地ニ於テハ物價ノ騰貴ノ爲ニ官吏ハ二割方ノ減俸ヲサレテ居ル同一ノ事ニナルトシフノデアリマス、然ルニ外國ニ勤勞致シテ居ル官吏ニ對シテハ一割五分ノ増俸ヲ茲ニ提出シテ、内地ニ於ケル官吏ニ對シテハ何等ノ考慮ヲ拂ハナイト云フノハ、是ハ聊カ矛盾デアリカト私ハ思フノデアリマシマス、更ニ然ラバ從來獨逸ノ馬克ノ非常ニ暴落ヲ致シマシタ時ハ外國ニ滯在シテ官吏ハ、或ハ留學生ハ、僅カ一圓ノ金ヲ以テモ外國ニ於テハ非常ナリ裕澤ナリシテ居ラタ其時ハ政府ハ會テ之ニ對シテ減俸ヲ爲シタコトハナカッタデアリカ、然ルニ今日圓價ガ低落シテ爲替關係ガ惡イト云フノ

デ、俄ニ外國ニ在ル者ニ二割増給ヲ爲スト云フコトハ、是ハ餘程考ヘナケレバナラヌ問題デアル、然ラバ將來ニ對シテ爲替ノ變動ノ度毎ニ、此先例ニ依リテ或ハ増俸ヲ爲シ、或ハ減俸ヲ爲スト云フヤウナコトガ、茲ニ起テ來ルノデヤナカ、政府ハ之ニ對シテハ勅令ヲ以テ其方法ヲ定メルト云フノデアリマスガ、勅令ヲ定メル時ニ於キマシテハ十分ナル注意ヲ拂テ將來ニ對スル此一ツノ慣例ニ對スル完全ナル政策ヲ執ラレ、非ズンバ、色々ナル問題ガ此ニ起テ來ルノ私ハ思フノデアリマス、即チ此第二及第三ノ點ハ、共ニ政府ノ爲替問題、對爲替政策ノ結果起リ來ル問題デアリ、吾々ハ此點ニ對シテ平素ノ我黨ノ主張ヲ根據ト致シマシテ、茲ニ一言強キ意味ノ希望ヲ述ベ、且ツ注意ヲ促シテ本年十三年度ノ追加豫算ニ贊成ヲ致ス者デアリマス(拍手)

○副議長(小泉又次郎君) 採決ヲ致シマス、三案共委員長報告ニ贊成ノ方ノ起立ヲ求メマス

(贊成者 起立)

○副議長(小泉又次郎君) 大多數デアリマス、仍テ三案共委員長報告通り可決確定致シマシタ——日程第五、社寺現境内地無償下付二關スル法律案、第一讀會ヲ開キマス、提出者ノ趣旨辯明ヲ許シマス——安藤正純君

第五 社寺現境内地無償下付二關スル法律案(安藤正純君外五名提出)

第一讀會

社寺現境内地無償下付二關スル法律案

第一條 社寺現境内地ニシテ現ニ國有ニ屬スル現境内地ハ申請ニ依リ之ヲ其ノ社寺ニ下付スヘシ

第二條 本法ニ依リ下付ノ申請ハ大正十七年四月三十日迄ニ之ヲ主務大臣ニ差出スヘシ

第三條 此ノ申請ニ對スル處分ニ付不服アル者ハ其ノ指令ヲ受ケタル日ヨリ三月内ニ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

第四條 第一條ニ依リ下付ヲ受ケタル者ハ其ノ境内地及立木竹ノ所有權ヲ取得ス

前項ニ依リ所有權ヲ取得シタル者ハ其ノ土地及立木竹ニ付第三者ノ現ニ有スル權利ヲ害スルコトヲ得ス

第五條 本法ニ依リ下付ヲ受ケタル境内

地及立木竹ハ地方長官ノ許可ヲ受クルニ非ザレハ之ヲ譲渡シ又ハ地上權抵當權若ハ質權ノ目的ト爲スコトヲ得ス第六條 本法施行前行政處分又ハ裁判所ノ判決ヲ受ケタル者ト雖本法ニ依リテ付ノ申請ヲ爲スコトヲ妨ケス

附則
本法ハ大正十四年五月一日ヨリ之ヲ施行ス

〔安藤正純君發言〕

○安藤正純君 只今議題ニ供セラレテ居リマスル社寺境內土地無償下付ニ關スル法律案ニ付キマシテ、簡單ニ説明シマス、社寺ノ神祇寺院ノ境內土地云フモノハ、昔ハ高僧明徳ガ靈地ヲ相シマシテ之ヲ開拓シタモノカ、或ハ王侯豪族ガ信仰ニ依リマシテ城地ヲ寄附シタモノカ、若クハ神社寺院自ラ資金ヲ投ジテ開墾シタモノカデアリマシテ、極メテ少數ノ外ハ本來神社若クハ寺院ノ所有デアリマス、故ニ其寺院ノ住職個人ノ境內地方所有テナイト共ニ、又官シ地デモナイデアリマス、然ルニ往々ニ官シテ神社寺院ノ境內土地、境內土地以外ノ元ノ神社寺院ノ領地ト混同致シマシテ、境內土地ヲモ亦公領地ト見做シテ居ルコトガアリマスノハ、是ハ甚シキ誤謬デアリマス、此事ノ現ニ明治四十三年以後ノ行政裁判所ノ判決例ニ依リテモ明ニ之ヲ認スルコトガ出來ルデアリマス、然ルニ明治四年社寺領地上云ノ制令ガアリマシテ、神社寺院ノ領地ト云フモノハ土地トナリマシテ、是ハ領地デアリマスルカラ、此上土地ヲ命ゼラレタノハ至當ノ事ト存ズルデアリマスルガ、但シ是ハ境內土地ハ何等ノ關係ガ無イノデアリマス、其後明治八年ニナリマシテ、今度ハ神社寺院ノ境內土地ノ分割上地ノ命令ガアリマシテ、是ハ境內土地ノ中デ不用ナ所ダケヲ區劃シテ、是ハ境內土地ノ趣意ナノデアリマス、斯様ナ譯デアリマスカラ此前後二回ノ土地命令ガアリマシテモ、神社寺院ノ境內土地ト云フモノハ、今日依然トシテ境內土地ナクテハナラナイニ拘ラズ、明治初年ニ廢佛毀釋ガ行ハレマシテ、當時此ノ佛教排撃ノ政治ヲ方針ニ聚セラレマシテ、寺院ガ非難ナ迫害ヲ被テ、悉ク其後寺院ト云フモノハ上地ヲ命ゼラレテ皆官有地ニナリテ居ルデアリマス、併シ其後政府ハ此法律ノ適用ヲ誤テ居ルト云フコトヲ認

メマシテ、政府自ラ是ガ救済策ヲ致シマシテ、自分ノ費用デ開墾スルト云フ確證ノアルモノニ限リテ、無代下付スルト云フ達ヲ出シタノデアリマス、此結果自費デ開墾ヲシタリ、無代下渡シテ受ケタ神社モアリマス、又寺院モ多數アリマシテ、其神社ノ坪數ガ千六百八十餘万坪ニナリテ居ルデアリマス、然ルニ明治二十二年ニ會計法ガ實施セラレマス共ニ、此自費開墾ノ確證アルモノハ、無代下付スルト云フ所ノ達ガ自然廢止ノ狀況ニナリ、今日ニ及ンダノデアリマス、而シテ神社寺院ノアリマスガ、是ハ寺院ノ方ガ無論非常ニ多イ、其寺院ノ方カラモ云ヒマス現在全國ニ七方ノ寺院ガアリマスガ、其中約五方ノ寺院ハマダ下戻ニナリテ居ラナイノデアリマス、同じ性質ノモノガ一方ハ私有地デアリ、一方ハ官有地ニナリテ今日殘テ居ルノハ、頗ル不公平デアリマスカラ、此不公平ノ地勢ヲ直ス共ニ、一面政府ガ常ニ唱ヘラレ所ノ、宗教尊重ト云フ意味カラ致シマシテモ、今日廢額ヲ致シテ其維持ノ困難ニナリテ居ル所ノ神社若クハ寺院ニ、此官有地ト云フ當然下ダベキ性質ノ官有地ヲ下付シテ、而シテ社會感化ノ本務ヲ盡サスルノガ當然デアルト存ズルデアリマス、即チ本案提出ノ趣意ハ此精神ニ基キマシテ、社寺ノ境內土地ニシテ現ニ國有ニ屬スル境內土地ハ、申請ニ依リテ之ヲ其社寺ニ下付スベシト所云フノガ此法案ノ精神デアリマス、附加ヘテ申上ダテ置キマスガ、此法案ハ頗ル簡明デアリマシテ、當然社寺ニ交付スベキモノデアリマスカラ、明治四十四年ニ貴衆兩院ニ請願ヲ致シタ際ニ、直ニ採擇トナリテ居リマス、爾來衆議院デハ法律案トシテ最近マデニ六回通過シテ居ルデアリマス、唯、衆議院デ通過致シマシタガ、不幸ナ事ニハ何時モ會期ガ無イ爲ニ貴族院ノ方ガ是ガ審議未了トナリテ今日ニ延ビテ居ルヤウナ次第デゴザイマスガ、大正十二年ノ通常議會ニ於キマシテ、衆議院ハ即チ六回目ノ衆議院デ、此法律案ヲ可決シテ貴族院ニ送リマシタ、其大正十二年ノ議會ニ於キマシテ貴族院ハ委員會ニ於テ、委員長カラ既ニ此法案ハ衆議院ヲ六回通過シテ居ル、政府モ何トカ考慮シタラドウカト云フ委員長カラ話ガアリマシタ、之ニ對シテ當時ノ政府委員モ其意ヲ諒トシテ、次ノ議會ニハ

政府案トシテ之ヲ提出スベシト云フヤウナ返答ガアッタ次第デアリマス、斯ノ如キ經過ヲ以テ年々議會ニ提出セラレ、而モ衆議院ヲ常ニ通過シテ居ルデゴザイマスモ、何卒慎重ニ御審議ノ上ニ、此法案ノ可決セラレシコトヲ希望スル次第デアリマス（拍手）

○井本常作君 本案ノ關連者外十六名提出、震災被害地ノ營業稅免除ニ關スル法律案ノ委員ト同一委員ニ、併セテ付託セラレシコトヲ望ミマス

（賛成ト呼ブ者アリ）

○副議長（小泉又次郎君） 井本君ノ動議ニ御異議ナシト認メマス、仍チ動議ノ如ク決シマス——日程第六、公娼制度制限ニ關スル法律案ノ第一讀會ノ續ヲ開キ、委員長ノ報告ヲ求メマス——委員長鳩居哲君

第六 公娼制度制限ニ關スル法律案（松山常次郎君提出）

報告書
一 公娼制度制限ニ關スル法律案（松山常次郎君提出）

右ハ本院ニ於テ否決スヘキモノト議決致候此段及報告候也
大正十四年二月二十七日
公娼制度制限ニ關スル法律案委員長 鳩居哲

衆議院議長粕谷義三殿
（鳩居哲君發言）

○鳩居哲君 公娼制度制限ニ關スル法律案ニ付キマシテ、委員會ノ經過並ニ結果ヲ簡潔ニ御報告申上ダタイト存ジマス、本案ハ重大ナル法律案デアリマスカラ、委員會ノ初メニ當リマシテ、十分ナル審議ヲ盡クサレシコトヲ委員長トシテ特ニ委員會ニ望ムデ置イタ次第デアリマス、本案提出ノ理由ハ公娼ヲ廢止スルト云フデアリマシテ、直ニ之ヲ廢止スルニ付キマシテハ、ソコニ多ク困難ガ横テ居リマスガ爲ニ、ソコノ制限ヲ設ケテ之デアリマス、ソレハ新ニ公娼ヲ始メントスル者、又ハ貸座敷營業ヲ爲サントスル者ヲ禁止スルト云フ所ノ法律ナノデアリマス、本案ヲ審議スルニ付キマシテハ、其質疑應答ガ約三時間ニ及ビテ盡サレタノデアリマスガ、之ヲ包括的ニ要點ヲ述ベタイト存ズルデアリマス 第一ニ是

ハ人道上ノ見地カラ見ラレタ觀察ト、第二ニハ風紀上ノ見地カラ、第三ニハ衛生上ノ見地カラ、此三點ニ要約スルコトガ出來ルト信ズルデアリマス、此三點ニ付テ簡明ニ論旨ヲ述ベテ見タイト思フデアリマス、第一人道上ノ問題カラ、即チ人權問題トシテ、或ハ國家ガ此公娼ヲ認ムルト云フコトガ甚ダ宜シクナイト云フ政府委員ハ、レタノデアリマス、之ニ對シテ政府委員ハ、公認ト云フコトハ、道徳上ノ觀念カラ言ウテモ餘リガバシイ事デハナイノデアリマス、若モ是ガ健康保險ノ上ニ何等ノ支障ヲ來サナイ以上ハ、政府ト雖モ直ニ是ハ廢メタイノデアリマス、併ナガラ奈何セン現在ノ我國ノ實狀ヲ見ルトキハ、却テ之ヲ廢止スルト云フコトニ依リテ、害毒ガ彌漫スル虞ガアルト云フコトヲ強ク危惧スルノデアリマス、アルト云フニ、人権問題ト致シマシテモ既ニ法規ニ於テ出來ル限リノ自由ト、出來ル限リノ保護トヲ與ヘテ居ル、決シテ人身賣買或ハ奴隸制度ノ如キモノデハナイノデアリマス、却テ私娼窟ト云フ風ナモノガ出來マスルト、當局ノ監督ハ其點ニハ及バナイト云フ虞ガアルノデアリマス、ソレデアリマスカラ、御互ニ各人ガ自省シテ性ノ抑制ヲ爲シテ、立派ナル人ガ出來テ、茲ニ私娼ノ横行スルト云フガ如キ事モ無クスレバ、此公娼ト云フガ如キモノハ當然自滅スベキモノデアリマス、當然是ハ廢止スベキモノデアリマス、第二ノ風紀上ノ見地カラ質疑應答ガアッタノデアリマス、公娼ヲ認ムルト云フコトハ即チ賣淫行爲ヲ認メル、賣ルト云フコトヲ認メル以上ハ、之ヲ買フト云フコトモ國家ガ認許シテ居ルノデアリマス、斯ル觀念ハ甚ダ德義ノ上カラ見テモ面白クナイ、又一般ノ貞操觀念ノ上カラ言フテモ甚ダ是ハ面白クナシテ、善良ナル風俗ニ反スルト云フデアリマス、之ニ對スル議論ハ直ニ此公娼ヲ廢止スルトシタナラバ、茲ニ私娼ハ立ロニ横行シテ、サウシテ却テ社會ノ善良ナル風教ヲ害スルト云フ虞ガアルノデアリマス、之ニ依リテ花柳病ト云フモノ、蔓延ハ恐ルベキモノデアリマス、私娼檢査ハ其被檢査者ノ約半數ガ有毒者デアルト云フコトヲ見テモ明デアルト云フデアリマシテ、其他經濟上ノ見地カラ或ハ相當ナル考慮ヲ拂ハズシテ、直ニ廢止スルト云フガ如キハ不可能

デアルト云フコトニ在ルノデアリマス、第三論セラレタノハ衛生上ノ見地カラデアリマス、花柳病ノ傳播ニ關スル問題デアリマスガ、此問題ニ付テハ或ハ公娼ヲ設置シタガ爲ニ花柳病ノ傳播ガ益、甚シイト云フノガ、此案ニ賛成者ノ意見デアリマス、又反對論ハ此公娼ノ設置ト云フコトハ花柳病ニ對シテ設備、或ハ監督ガアリマスルカシテ、之ニ對シテハ却テ花柳病ノ傳播セシメナイト云フ議論デアリマス、之ニ就テハ雙方共ニ統計ニ依テ論セラレタノデアリマス、殊ニ日本唯一ノ廢娼縣デアリマスル群馬縣ノ例ハ、雙方カラ是ガ引用セラルトデアリマス、其統計ノ主タルモノヲ御紹介申上デマスレバ、大正十年度ニ於テ全國ノ壯丁ノ検査ニ於テ、千人ノ中ニ全國ノ平均ガ一・八・七二人デアリマス、所ガ其年ニ群馬縣ハ一一・一三人デアリマス、ソレカラ大正十一年度ニハ一七・四七二人ノ平均數ニ對シテ、群馬縣ニ於テハ一〇・六七二人デアリマス、ソレカラ大正十二年度ニハ平均數ハ一五・三三人デアリマス、群馬縣ニ於テハ一八・〇六人デアリマス、大正十二年度ニ於テハ群馬縣ハ非常ナ増加ニナリタリマス、尙ホ準廢娼縣トシテ和歌山縣ヲモ引證サレタノデアリマス、斯クテ質疑應答ヲ終リマシテ討論ニ入ル譯デアリマス、委員ノ中カラ直ニ討論終結ノ動議ガアリマシテ、之ニハ規定ノ賛成ガアリマシタカラ、採決致シマシテ、遂ニ決議ニ入テ本案ハ少數ヲ以テ否決サレタノデアリマス、之ヲ以テ報告ト致シマス

(拍手)

○副議長(小泉又次郎君) 本案ニ對シ質疑並ニ賛否兩論ノ通告ガアリマスガ、先ヅ順序ニ依テ質疑ヨリ之ヲ許シマス——古川清君

○古川清君 簡單デアリマスカラ自席ヨリ御許シテ願ヒマス——本案ハ國民道德ノ上カラ申シマシテ重大ナ問題デアリマスガ、隨テ國民健康ノ上カラ、即チ衛生上カラ考ヘマシテモ亦重大ナ問題デアリマスカラ、此際內務當局及陸海軍當局ノ所見ヲ御伺シタイト思ヒマス(拍手)

(政府委員片岡直溫君登壇)

○政府委員(片岡直溫君) 只今ノ御質疑ニ御答ヲ致シマス、公娼制限ノ問題ハ人道上カラ之ヲ論ジマスレバ、公娼ノ如キ者ハ餘

ラ芳シキ事柄デハナイト思ヒマス、併ナガラ此公娼ナル者ノ沿革ヲ考ヘマスレバ、中ノ經歷ヲ有シ、中途ニ於テ廢止致シマシタ經驗モアルノデアリマス、廢止シテ見タ所ガ衛生上ハ娼婦トモ申スベキ者ガ甚タ、保健衛常ノ上ニ甚シキ惡影響ヲ促ス所ヨリシテ、又之ヲ公認スルコトニナリテ居ルノデアリマス、斯ノ如キ次第ノモノデゴザイマシテ、之ヲ廢スルト云フコトガ國民一般ノ自覺上ヨリシテ、保健衛生上顧慮スル所ノモノガ甚ダ少イト云フコトニ至ルコトヲ希望スル譯デアリマス、固ヨリ斯ノ如キコトハ世界ヲ通ジテサウ誇リスルモノデハナイノデ、併ナガラ他ノ文明國ニ於テ絶無カト云ヘバサウデハナイ、先日當席ニ於テ述ベマシタ如ク、巴里ニ於テモアルノデアリ伯林ニ於テモアルノデアリ、又之ヲ風教ノ上カラ論ジマスレバ、風教ノ上カラモ餘リ嘉スベキ問題デハゴザイマセズ、サリナガラ是等ハ風教ヲ害セヌヤウニ取締ヲ付ケテ居リマス、事柄ハ諸君ノ能ク御承知ノ通り、從前ハ店先ヲ飾テ多ク客ヲ引タモノデアリマスガ、左様ナ行動ハ今ハ禁止シテ居ル、又公娼ヲ認メテ貰ハウト云フコトニ對シテハ、其人ノ境遇ヲ能ク調査シ、眞ニ已ムヲ得ザル者ヲ許シテ居ラ、決シテ自由ヲ妨害シテ居ラヌデアリマス、故ニ純理論カラ言ヘバ相當理窟ハ立ツト思ヒマス、實際上ノ上カラ申シマスレバ、風教ヲ害スルコト獨リ公娼ノミナランヤデアリマス、又實際ノ上カラ申シマス、淫賣ノ種々ノ傳染病ヲ流布スルコトハ甚シイモノデアリマシテ、是ハ檢察致シマシタ約半數ニ當テ居ルノデアリマス、斯ノ如キ狀態ノ下ニ今直ニ之ヲ廢スルト云フガ如キコトハ寧ろ害ガ多クシテ、理窟ニハ適フカモ知ラセヌガ實際上當局トシテハ同意シ難イノデアリ、是デ大要盡シタト思ヒマス(拍手)

○副議長(小泉又次郎君) 三井政府委員(政府委員三井清一郎君登壇)

○政府委員(三井清一郎君) 陸軍當局ノ意見ト致シマシテハ、只今內務次官ノ御答辯ニナリマシタ趣旨ト同様デゴザイマス、陸軍ト致シマシテハ此性病ノ傳播ハ非常ニ軍隊ノ戰鬥力ニ影響ヲ致シマス、成ベク此影響ヲ受ケナイヤウニ各自ノ自覺ヲ喚起スルコトニ努力致シテ居ル次第デアリマス、併

シ御承知ノ如ク兵營附近ノ有様ハ洵ニ吾々ノ希望ニ反スル狀況ヲ呈シマス、故ニ軍隊ノ衛生ノ見地カラシテ、只今片岡內務政務次官ノ御述ベニナリタ趣旨ニ同意スル次第デアリマス(拍手)

○副議長(小泉又次郎君) 松山常次郎君(松山常次郎君登壇)

○松山常次郎君 只今委員長ノ報告ヲ承リマシタガ、委員長ハ此問題ニ付テ、委員會ニ於テ三時間質問應答ヲ致シタト云フコトヲ述ベテ居ラマシタガ、實際ハモウ少シ詳細ニ申上デマスレバ二時間ト三十五分質問ヲ致シタノデアリマス、私ハ之ニ就テ初ニ特ニ質問ヲ許シテ貰ヒタイト云フコトノ許可ヲ仰イダノデアリマス、委員會ノ承認ヲ得マシテ私ハ最後ニ質問ヲ致スコトニシテ居タンデアリマス、然ルニ忽チニシテ質問打切ノ動議ガ出マシテ、多數ニ依テ決シテ決セラレ、直ニ討論終結ノ動議ガ出マシテ、直ニ決セラレタ、直ニ又採決ノ動議ガ出タノデアリマス、委員長モ此不穩ナル行動ニハ少シク意外ニ感ジラレタヤウデ、一旦休憩ノ宣告ヲ致シタノデアリマス、然ルニ土屋與君ノ逆捻ヲ喰テ遂ニソレニ引摺ラレテ、直ニ此法案ヲ否決シ去タノデアリマス、斯ウ云フ事情デ、私ハ只今委員置イタ次第デアリマス、元來此委員會ハ其組織ノ初ニ於テ缺陷ガアルノデアリマス、此法律案ニ賛成者ハ政友會カラ十一名、本黨カラ十一名、憲政會カラ二十四名、革新俱樂部カラ八名、中正俱樂部カラ八名、實業同志會カラ三名、合計五十九名ト云フ問題トシテ取扱ハレルト云フコトニ一般ニ承認ヲ得テ居ラノデアリマス、然ルニ此會カラハ二名ノ中一人ハ賛成、一人ハ反對、憲政會カラ四名ノ中二人ハ賛成、二人ハ反對、是ハ自由問題ノ性質ト致シマシテハ當然ノ事ダト思ヒマス、然ルニ政友本黨カラハ二人共反對ノ人ガ出テ來タノデアリマス、而モ其一人ハ品川ヲ選舉區ト致シマスル土屋君、一人ハ大阪ノ南區ヲ選舉區ト致シマス、選舉區ノ關係上反對セザルヲ得ザル位置ニ居ル人デアリマス、是ハ自由問題トシテノ性質ヲ無視スルモノデアルト考ヘ

マシタルガ故ニ、私ハ二十六日ノ朝政友本黨ノ總裁床次君ヲ御訪問致シタノデアリマス、サウシテドウカ自由問題トシテ一人ハ賛成、一人ハ反對ト云フコトニシテ委員會出シテ貰ヒタイト云フコトヲ御願致シマシテ、是ハ自由問題ト爲スベキ性質ノモノデアリ、故ニ松田源治君ニ其事ヲ話ヲシテ置ケ、自分モ話ヲシテ置ケカラト云フ御話デアタノデアリマス、私ハ同賛成者ノ一人デアリ、大阪野良三君ニ向テ電話ヲ掛ケタ所ガ、大阪ニ向テ居ルト云フノデ、コンナニ早ク之ガ決テ居ルト云フ思ヒマセヌカラ、長文ノ電報ヲ打テ委員ニナリマセヌイト云フコトヲ願フタノデアリマス、牧野君カラ返事ガ参リマシテ、高見君ニ相談ヲシテ呉レ、自分ハナレナイカラト云フコトデアタノデアリマス、サウ斯ウ手間取テ居ル中ニ二十七日ノ第一回委員會ニナリマシテ、直ニ其一回ノ委員會ニ土屋君ト筒井君ガ出席シテ之ヲ否決シ去タノデアリマス、元來此法律案ハ私一人——政友會ノ人間デアル所ノ松山ガ一人提案者トナリテ居ルト云フコトニ付テ少シク申上デナレバナリマセヌ、是ハ自由問題デアリマスルガ故ニ、各黨派ノ人ヲ網羅シテ提案者ニナルト云フコトハ當然ガ件デアリマス、所ガ此問題ニハ危險ガ件デアリマス、斯ウ云フ譯デ私一人ガ提案者ニナリマシテ、實ハ是ガ上程ニナル數日前ヨリ宅ヘハ歸ラヌノデアリマス、自分ノ身體ヲ保護致シテ居ルノデアリマス、此問題ハ解決シテハバ、ドウ云フ事ガアツテモ宜シイガ、此問題ノ解決スルマデハ、身ニ危險ヲ受ケテハ困リマスルカラ理由デ私一人提案者トナリタト云フコトヲ御了承ヲ願ヒタイノデアリマス、ソレカラ元來此問題ヲ初メテ私が提ダテ立ツトコトニナリマシタ動機ヲ申上デマスレバ、過ル第四十七議會ニ於テ、此問題ガ院內ニ於テ非常ナ人氣ニナリタ——問題ニナリタ時ニ是ハ私が主唱者デハナカッタ、多クノ人ガ此問題ニ付テ熱心ニナリタ、皆ノ相談ノ結果松山ニ之ヲヤラセロト言ウテ私ニ持テ來タ、私ハ其時元來是ニ賛成デアリマス、所ガ此前ノ選舉ノ時ニ賛成者ガ非常ニ壓迫ヲ受

ケタノデアリマス、洵ニ氣ノ毒ナ地位ニ立
タ人モアルデアリマス、所ガ私ハ幸ナコ
トニハ前ノ選舉區デアアル兵庫縣ノ第十二
區、今度ノ選舉區デアアル和歌山縣ノ第三區
ニハ共ニ遊廓ガ無イノデアリマス、是ガ此
問題ヲ私ニヤラセト云フコトヲ決メテ主
引理由デアリマス、私モ其意味ニ於テ之ヲ
引受ケテデアリマス、他ノ人ハ選舉區ノ
關係上已ムヲ得ズ、再ヒ立ツコトガ出來ナ
イヤウニナツテモ、之ヲ一旦引受ケテ以テ
ハ自分ノ使命ヲ致シマシテ、他ノ人ト一緒
ニヘコタレト云フコトハ出來ナイコトデ
アリマス、此意味ニ於キマシテ私ハ本案
ヲ提ゲテ本朝議會ニ於テ自分決心シテ
立ツテデアリマス、幸ニシテ先ニ申シマ
スル通り五十九名ノ賛成者ヲ得テ、是ガ
此議會ノ問題トナツタ次第デアリマス、斯
ウ云フヤウナ理由ニ依リマシテ、元來此問
題ハ自由問題トシテ取扱ハルベキ性質ヲ
分ニ備ヘテ居ルモノデアルト私ハ信ズル
デアリマス、是ヨリ委員會ニ於テハ實質應
答及此所ニ於テ政府委員ノ御述ベニナツ
事ニ準據致シマシテ、私ノ論旨ヲ進メタ
ト考ヘマス、只今此所デモ片岡政務次官ガ
御述ベニナリマシタガ、公娼制度ハ徳川時
代ヨリ何百年來アルモノデアルカラ、今更
之ヲドウシナケレバナラヌト云フヤウナ譯
ノモノデアリマス、又ドウセ提案者ハ之ニ付
テ事實上奴隸制度ニ於テ云々ノコトガアル
ケレドモ、事實ハ今日自由ヲ與ヘテ居ル、
決シテ奴隸制度ト云フヤウナ狀態ニ在ル
ノデハナイ、斯ウ云フ事ヲ片岡政務次官ハ
御述ベニナツテ居ルデアリマス、今日ノ
遊廓ハ徳川時代ノ遊廓トハ性質ガ違ヒマ
ス、徳川時代ニ於キマシテハ所謂花魁ナル
者ニハ相當ナ見識ガ與ヘラレテ居テ、自
分ガ厭フ男ハ寄付ケナイダケノ自由ガ與ヘ
ラレテ居テ、其當時ニ於ケル社會文化ノ一
面ガ此所ニ代表セラレテ居テ、今日ノヤウ
ニ新聞トカ雑誌トカ、俱樂部トカト云フヤ
ウナ五ニ知見ヲ廣メル機關ガナイ、其當時
ニ於キマシテ社會ノ實際ヲ舉ゲ一ノ機關ト
シテ是ガ利用セラレテ居タルデアリマス、
然ルニ今日ケル遊廓ナルモノハ全ク賣
淫專門ノ魔窟ト變化致シテ居ルデアリマ
ス、徳川時代ノ文學、或ハ劇等ヲ見マス
ト、此ノ身賣ヲスルト云フコトヲ極メテ手

輕ニ取扱フテ居リマス、自分ノ親ノ爲メ、或
ハ愛人ノ爲メ一時辛イ務メニ服スルト云フ
コトガ書イテアルデアリマス、遊廓ニ身
ヲ墮スコトヲ非常ナ恐レベキ所ノ事トシ
テ、一旦身ヲ沈メレバ再ヒ満足ナ身體デ出
テ來ラレナイ危險ナ所デアルトハ書イテ居
ラナイデアリマス、ソレモ其害デアル、
徳川時代ニ於キマシテハ娼妓ニナル者ハ二
十六歳マデ――二十六歳ニナレバ如何ニ借
金ガ殘ツテ居テモ身ハ自由ニ放任サレテ居
ルデアリマス、サウ危險ナ所デハナカ
タ、是ガ今日ニ於キマシテハ身賣ト云フ言
葉ヲ避ケルガ爲ニ、唯、通例上ノ民法上ノ
解釋ノ貸借關係ニナツテ居ル故ニ、貸借關
係ガ決濟致サナイ間ハ二十六歳ニナツテモ
三十六歳ニナツテモ、四十二歳ニナツテモ
由ニナルコトガ出來ナイデアリマス、一
旦此所ニ身ヲ墮シマスと云フト、其所カラ
容易ニ離レルコトガ出來ナイデアリマ
ス、實際ニ於テ此遊廓内ニ於ケル勘定ハ前
借金ト云フモノハドウシテモ返スコトガ出
來ナイヤウニナツテ居ル、故ニ樓主ニ於テ
其人間ヲ必要トシナイ時ニ至ルマデハドウ
シテモ其所ヲ出ルコトガ出來ナイデアリ
マス、身體ガ老衰シテシマツテ或ハ病氣ニ
ナツテ働クコトガ出來ナクナルト云フコト
ノ外ハ解放セラレナイデアリマス、是ハ
事實デアリマス、其他ノ場合ニ於キマシテ
ハ身賣ヲセラレルカ、或ハ心中ヲシテ死ス
カヨリ此苦境ヲ脱スルコトガ出來ナイ、今
日段々社會ノ秩序ガ整フテ參リマシテ、一
旦斯ウ云フ所ニ這タ者ハ人ノ妻トナリ、
或ハ母トナリ、一般ノ人ト伍シテ行クト云
フコトガ洵ニ困難ニナツテ來タ、故ニ身賣
ヲセラレルト云フ機會モ少クナツタデア
リマス、サウスルト此苦界ヲ通レルニハ唯、
心中ニアルノ、是ガ今日遊廓ニ於テ心中沙
汰ノ多イ理由デアリマス、斯ウ云フ譯デ
昔ハ身賣ト云フテハ一種ノ奴隸生活デア
ル、今日ハ唯、金錢上ノ貸借デアルト云フノ
決シテサウ云フ奴隸生活デハナイト申シマ
スケレドモ、其實際ノ内容カラ申シマスナ
ラバ昔ノ此身賣時代ヨリモ、遙ニ殘酷ナ實
際ノ制度ニナツテ居ルデアリマス、斯ウ
云フヤウナ事實ニ基キマシテ私ハ事實上ノ
奴隸制度ト云フコトヲ書イタノデアリマ
ス、此事ニ付キマシテハ中原君カラモ反駁
ヲ受ケマシタ、又片岡政務次官カラモ反駁

ヲ受ケマシタケレドモ、私ハ今日ト雖モ今
デモ其理由ヲ改メル必要ヲ認メナイデア
リマス、片岡政務次官ハ今日ノ娼妓ニハ自
由ヲ與ヘテアル、自由廢業ノ途モ開イテア
ルト云フコトヲ申シテ居ラレマスガ、此自
由廢業ノ内容ニ付テ少シク實際ノ狀況ヲ御
話申ダナケレバナリマス、本當ニ政府
ガ此娼妓ニ對シテ自由廢業ヲサセルト云フ
親切ナル心ガアルナラバ、手紙デモ或ハ他
人ノ申告デモ、自由廢業ヲシタイト云フ意
思ガ警察ニ届クナラバ、直ニ人ヲヤツテ樓
主ト掛合ハセ、其身ヲ引取ツテ將來生活シ
テ行ク道マデモ世話ヲシテヤルト云フ事マ
デ手ガ行届イテコソ、初メテ自由廢業ノ此
精神ガ徹底スルデアリマス、然ルニ今日
ノ實際ニ於キマシテハ、本人ガ警察ニ自分
デ届出ナケレバナラヌ、サウシテ樓主ト親
トガ立會ノ上デ皆ガ自由廢業ヲスルコトヲ
承認スルト云フコトニナツテ居ルデア
ル、元來此娼妓ヲ賣ルテ金ヲ握ツ所ノ親デア
ル、此樓主ハ其者ヲ虐使シテ金儲ヲシヤ
ル、此所ノ樓主デアリマス、而モ現在大金
ヲ之ニ貸シテ居ル所ノ債權者デアル、一方
ハ弱イ娼妓デアリマシテ、是等ノ親或ハ樓主
ノ前ニ於テ自己ノ要求モ權利モ主張スル
トノ出來ナイ所ノ弱者デアリマス、斯ウ云
フ人ヲ寄セテ茲ニ自由廢業ノ事ヲ相談シ
テ、ドウシテ此娼妓ノ爲ニ有利ノ解決ヲ望
ムコトガ出來セウカ(拍手)、斯ウ云フヤ
ウナ譯デ自由廢業ナルモノハ認メラレテ居
リマス、ケレドモ實際ニ於テ此自由廢業ト
云フノハ中々實現スルコトガ出來ナイノデ
アリマス、委員會ニ於ケル質問應答ヲ聽イ
テ居リマス時ニ、ドナタモ異口同音ニ此
制度ハ宜シクナイ、廢シ得ルナラバ廢シタ
イト云フコトヲ言ウテ居リマス、併ナガ當
實際其說明ヲ段々聽イテ居リマス、本當ニ廢
之ヲ廢サント云フ誠意ガナイ、本當ニ廢
サント云フ誠意デアラナラバ、實際研究シ
テ見テ廢スナラバ斯ウ云フ困ル事ガアル、
然ラバドウシタラ之ヲ解決スルコトガ出來
ルカト云フコトノ努力ガ之ニ伴ハナケレバ
ナラヌ筈デアル、然ルニ何等サウ云フ努力
ガ付テ居ラヌデアリマス、殆ド研究シ
テ參リマセヌ、何モ知ラナイト云ウテ宜シ
イ實情デアリマス、今日警察官吏ニ於テ此
娼妓ニ對スル本當ニ親切ナル心ガアルナ
ラバ、法律上今日認メラレテ居リマス所ノ此

自由廢業及娼妓取締規則ノ勵行ト云フ事ヲ
ヤリマスナラバ、今日ノ遊廓ハ皆潰レテ
シマヒマス、中原君ハ斯ウ云フ問題ハ法律
ヲ以テ之ヲ解決スルト云フコトハ望マシク
ナイ、各人ノ自覺ニ依ツテ之ヲ解決致シタ
イト云フコトヲ申シテ居ルデアリマス、
之ニ付キマシテハ私ハ此教育ノ問題ガ非常
ニ大切ナ問題トナツテ來ルト思フ、今日國
民教育ガ段々進歩シテ來タト云フコトハ、
此遊廓ニ對スル非常ナ脅威トナツテ居リマ
ス、少シク教育ヲ受ケテ世間ノ事ノ分
者ハ今日娼妓ニナルト云フヤウナコトヲ欲
スル者ハ殆ドウナイ、女工ニナツテモ良イモ
ノハ月百圓ヤソコヲ收入ガアル、ソレガ
娼妓ニナルト云フヤウナ者ガ段々減テ來
ル譯デアリマス、斯ウ云フヤウナ譯デ遊廓
ト云フモノハ新シイ分子ヲ供給スルコトニ
非常ニ苦心ヲ致シテ居ル、ソレガ爲ニハ誘
拐モ行ハレル、脅迫モ行ハレル、強制モ行
ハレル、今日統計ヲ見マシテモ此娼妓ト云
フモノハ藝妓或ハ酌婦ニ壓倒セラレツ、ア
ルコトガ明ニ分ツテ居リマス、是ハ國民教
育ガ進歩シ、段々教育熱ノ盛ニナツテ來ル
今日ト致シマシテ、將來ハ抛ツテ置イテモ
是ハ倒レルモノデアル、殊ニ義務教育ヲ八
年ニスル、二箇年延長ノ問題ガ何レ近キ將
來ニ於テ解決スルコトデアリマセウカ、斯
ウ云フコトガ實現セラレルコトニナレバ、
愈、此遊廓ト云フモノハ脅威ヲ受ケルモノ
デアルト云フコトヲ私ハ信ズルデアリマ
ス、今日ノ遊廓ハ全ク此若イ娼妓ノ無自覺無
智ト云フモノ、基礎ノ上ニ立ツテ、漸ク其
命運ヲ保ツテ居ルト云フ實狀デアリマス、私
ハ之ニ付キマシテハ文部當局ハ大ナル責任
ガアルト思フデアリマス、之ニ國民教育
ガ十分ニ施ス以上ハ、ドウシテモ此國民教
育ヲ受ケル途ニ於テ、若イ娼妓ニ自分ノ身
體ヲ保護スルダケノコトヲ教ヘナケレバ
ナラヌ、自分ノ權利トシテ決シテ他ノ者ノ誘
惑ニ依ツテ、或ハ脅迫ニ依ツテ、或ハ因縁ニ
絡ダ所ノ話ニ依ツテ、斯ウ云フ娼妓ニナド
ハナルベキモノデアナイ、若シ万一ナツテモ
自分ガ其所ヲ離レヤト思フ、何時デモ
出來ルノダ、前借金ガ總令アツテモ、ソ
ナコトハ心配ナイ、國ノ法律ハ立派ニ之ヲ
保護シテ居ルノデアルト云フコトヲ
明ニ教ヘテ、自分ノ身體ヲ保護スルダケノ
自覺ヲ十分ニ與ヘテ之ヲ社會ニ出スト云フ

ナ多クテアリマス。此ノ山ノ
ナ詳シキ數字モ出テ居リマスガ、唯、其千
分ノ比ダケヲ申シマスガ、千人ニ對シテ百
七十四人ト二三ト云フモノニナッテ居ルノ
デアリマス、是アルガ爲ニ群馬縣ノ大正十
二年ノ統計ガ非常ニ惡クナツタ、群馬縣内
ニ居ル、ダケカラ申シマス、ソレハ矢張
一〇〇ト云フ非常ナ好イ數字ヲ示シテ
居ルノデアリマス、尙ホ他ニ之ヲ立證スベ
キ多クノ統計ガアリマスガ、ソレハ此所デ
申シマセヌ、斯ウ云フヤウナ譯デ我國ノ群
馬縣ニ於ケル此花柳病ノ狀態ハ甚ダ宜シ
イ、群馬縣ハ花柳病ニ付テハ安全地帶ト申
スコトガ出來マス、斯ウ云フヤウナ意味ニ
於キマシテ、群馬縣ハ他府縣カラ入ッテ來
ル者デ病毒ヲ貰テ居ル者ガアリマスルガ
爲ニ、相當ニ其成績ハ汚サレテ居リマスケ
レドモ、若シ全國の二公娼ヲ廢止スルナラ
バ、花柳病ノ狀態ハ一層良クナルモノト私
ハ信ズルト答ヘテ置イタノデアリマス、先
程モ御述ベニナリマシタガ、片岡政務次官
ニ、若シ公娼ヲ廢止スルナラバ花柳病ガ非
常ニ殖エルト云フ、其證據ハ何ダト申シマ
スルト、只今モソレハ御述ベニナリマシタガ、
大正十二年ニ於テ私娼ノ檢査セヤツタ所ガ、
半數ニ近イ花柳病ノ患者ガ居ツタ、故ニ私
娼ハ花柳病ニ付テハ非常ニ危險デアルト斯
ウ斷定セラレタノデアリマス、是ハ片岡政
務次官ハ實業家ノ出身デアラセラルレルニモ
拘ラズ、實ニ此數字ノ取扱ノ疎漏ナコトニ
私共ハ驚クノデアリマス（拍手）若シ之ヲ比
較シヤウト思フナラバ、私娼ヲ檢査シタ所
ガ斯ウデアツタ、公娼ヲ檢査シタ所ガ斯ウ
デアツタ、故ニ私娼ノ方ガ宜シイト云フナ
ラバ此數字ノ取扱ガ纏マル、唯、私娼ノ方
ダケノ數字ヲ舉ゲテアル、是ダカラ私娼ノ
統計ガ宜クナイ、ソレダカラ花柳病ノ傳染率
ガ多カラウ、隨分委員會ニ於キマシテモ多
ク述ベラレタ、此所ニ於テモ述ベラレタ、
片岡政務次官ガ公娼ヲ廢止スレバ花柳病ノ
傳播ガ多クナルト云フ其證據ハ今申シマ
シタ通りノ譯デアリマス、是ハ委員會ノ速記
録ヲ御覽ニナレバ能ク分リマス、今ソレダ
ケノコトヲ根據ニ致シマシテ、アトハ皆斷
定デアリマス、是デハ洵ニ私ハ無責任ナ、
數字ノ御取扱ヲ知ラナイ方ト申シテ宜シイ
ノデアリマス（拍手）（簡單）ト呼フ者アリ）
次ニ此中原君ノ御問ノモウ一ツ此私娼ノ問

題デアリマス、私娼ガ公娼ヲ廢止スレバ増
加シナイト私ノ言ウテ理由ヲ説明シロ、斯
ウ云フコトニ對シテ私ノ郷里デアル和歌山
縣ノ實例ヲ申上ダテアリマス、ソレハ
少シク此所ニ詳細ニ申上ダマス、和歌山
縣ニ新宮ト云フ町ガ能野ニアリマス、其
新宮ニ於キマシテハ彼所ニ能野川ト云フ川
ガアル、彼流シテハ山集マテ來ル、賣淫
ニ對スル要求ガアル、殆ド賣淫專門ノ私娼
ガ彼所ニ居ルノデアリマス、是ハ御笑ニナ
ルカ知リマセヌガアノ邊デ「タコ」ト言ヒマ
ス、「タコ」ト云フ賣淫、私娼專門ガ居
ソレデ或ル人々カラシテ新宮ニ遊廓ヲ置
ウト云フ説ガ當ニアル、所ガ和歌山縣ノ輿
論ハ之ヲ許サナイ、政友會ノ先輩デアル岡
崎サンナドハ餘程有カナカニナッテ居リマ
ス、所ガ或ル知事ガ參リマシテ、其知事ノ
名前ハ特ニ此所ニ申シマセヌ、少シ身分ノ
アル人デアリマス、其知事ノ名譽ノ爲ニ申
シマセヌガ、其知事ガ實際ノ事情ガ分ラヌ
デ、地方ノ所謂運動屋ニ擔ガレテ、新宮ト
大島、東牟婁郡ニツノ遊廓ヲ許シタノデ
アリマス、其結果ガ非常ニ成績ガ惡イノデ
アリマス、遊廓ヲ置ク前ニ新宮ニハ約四十
人ノ殆ド賣淫專門ノ私娼ガ居タノデアリ
マス、其外ニ藝妓ガ約五十名、仲居ガ約三
十名、合セテ百二十名ノ曖昧女ガ新宮ニ居
タ、然ルニ遊廓ヲ置イタ後ニ於テ、娼妓ノ
數ガ段々殖エテ百五十名ニナリテ超過シテ
景氣ノ好イ時分ニハ四百四十名ニ達シタノ
デアリマス、今日ハ百餘名ニ減少シテ居リ
マス、而シテ藝妓ノ數ガ五十名デアッタノ
ガ、ソレガ百二十名ニ殖エ、仲居——今ハ
名ガ變テ酌婦ト申シマス、ソレガ三十
名デアッタノガ七十名ニ殖エタ、合計三百
名ノ曖昧女ガ今日新宮ニ居リマス、總數ニ
於キマシテ百二十名カラ三百名ニ殖エタ、
即チ私娼ト云フダケカラ申シマシテモ、百
二十名カラ百九十名ニ殖エテ居ルノデアリ
マス、斯ウ云フヤウナ譯デ、新宮ニ於キマ
シテハ遊廓ヲ置イタガ爲ニ私娼ノ數ガ非常
ニ増加ヲ致シタノデアリマス、之ニ就キマ
シテ、此中原君ノ御意見デアリマス、中原
君ノ御意見デハ、若シ公娼ヲ廢止スレバ
私娼ガ殖エテ跋扈シテ困ル、ソレハ自分
ハ群馬縣ニ演説ニ行ク所ガ、群馬縣
ノ或寺デ「ダマ」ガ居テ、自分ガ歸ル
時ニ外登ヲ著セニ來タ、是ダカラ群馬

縣ハ公娼ヲ廢止シタノデ私娼ガ跋扈シテ來
ル、斯ウ斷定セラレタ、是ハドウモ普通ノ
人ナラバ宜シイガ、學者トシテハ中原君ト
シテ少シク輕率デアラウト思ヒマス（拍手）
斯ウ云フヤウニ「ダマ」ニ通過シタカラ、群
馬縣ハ定メシ私娼ノ跋扈ガ甚シイデラウ、
言フ、其事ニ付テハ著想ヲ爲サルハ宜シイ
併シ之ヲ斷定スルノ數字上ノ色々ノ方面
カラ研究ヲ爲サナケレバナラヌ、茲ニ私共
ハ研究シタモノガアリマス、群馬縣ト栃木
縣、此二縣ノ比較ヲ致シマシタガ斯ウ云フ
コトニナッテ居リマス、栃木縣ニ於キマシ
テハ娼妓ガ六百〇一人、藝妓ガ千四百七
人、酌婦ガ六百三十二人、合計二千四百〇
七人ト云フ曖昧女ノ數デアリマス、所ガ
群馬縣ニ於キマシテハ娼妓ガ無イ、藝妓ガ
千二百三十七人、酌婦ガ八百五十八人、兩
方其栃木縣ヨリ多イ、併シ總數ニ於キマシ
テハ、娼妓ガ無イダケニ二千九百五十八人、總
數ニ於キマシテ私娼ノ數ヨリ千三百三十二人
タ曖昧女ノ數ガ少イ、之ヲ千分比例ニ付テ
申シマスレバ、栃木縣ハ千人ニ付テ二、二
ニナッテ居ル、群馬縣ハ一、九ニナッテ居ル
是カラ申シマシテモ群馬縣ノ狀態ハ栃木縣
ヨリモ遙ニ宜シイノデアリマス、尙ホ花柳
病患者ノ數ニ付テハ中原君ノ御説明ニ對シテ
申上ダマスガ、大正八年カラ大正十二年
至ル五箇年ノ平均——彙ニ申上ダツテ檢
査ノ結果花柳病ノ數、五箇年ノ平均ハ群馬
縣ハ十三人ト六分、栃木縣ハ十八人ト一分
ト云フコトニナッテ居リマス、是カラ申シ
マシテモ、群馬縣ガ公娼ヲ廢シタガ故ニ非
常ニ群馬縣ニ私娼ガ跋扈シテ困リテ居ルト
云フ數字ハ出テ參リマセヌ（拍手）茲ニ同ジ
縣デアアル所ノ和歌山縣ニ於テ新宮ト和歌山
市ト比較シテ考ヘテ見タイト思ヒマス、彙
ニ申上ダマシテ通り、新宮ニ於キマシテハ
ハ約三百名ノ曖昧女ガ居ル、和歌山ニ於テ
モ藝妓ガ二百人、娼妓ガ百人、併セテ三百
人、殆ド新宮ト曖昧女ノ數ガ同ジデアリマ
ス、而シテ和歌山ノ人口ハ新宮ノ五倍デア
リマス、和歌山ニ於キマシテハ先度除テ
置クトキニ陸軍ノ方デ遊廓ヲ置イタ地方ヒ
イト云フコトノ要求ガアッタ、所ガ地方ノ
者ガ之ニ反對ヲ致シマシテ、之ヲ置カセナ
カッタ、所ガ今日ニ於キマシテ、今申上ダ
マシタ通りニ和歌山ノ狀態ハ甚ダ宜シイノ
デアリマス、中原君ガ私ノ此法律案ニ反對

シテ御立チニナルト云フコトヲ聞キマシテ、
私ハ一方ニ於テハ喜ビ、又一方ニ於テハ恐
レタノデアリマス、何トナレバ私ハ廢娼論
者デアアルト同時に、其研究デアル中原君
ノ如キ醫學博士ト云フ肩書ヲ持ツ學者ガ
向テ來ラレルト云フコトハ、定メシ學問
上ノ私共ノ知ラナイ御研究ノ結果ヲ發表セ
ラレラウ、之ヲ私ハ非常ニ樂シムデラウ
タ、又一方ニ於テ恐レタト申シマス、ハ、
吾々ノ知ラナイヤウナ學問ノ根據ニ依
突イテ來ラレルト、吾々ガ受テムルコトガ
出來マセヌ、是ハ私ハ負ケルコトハ差支ガ
アリマセヌケレドモ、此大事ナ天下ノ問題
デアアル所ノ廢娼法律案ガ、ソレガ爲ニ敗レ
ルト云フヤウナコトガアッタハ申譯ガナイ
ト考ヘマシテ、私ハ直ニ京都ニ於ケル松浦
有志太郎博士、此人ハ以前ニ京都大學ノ皮
膚科長ヲシテ居タ人デアリマス、學問上
ノ根據カラ廢娼ノ必要ナル所以ヲ大ニ説
テ居ル人デアリマス、其人ニ電報ヲ打チマ
シテ上京ヲ願フタノデアリマス、又同時に
長ク此所ニ議席ヲ有シテ居ラレマシテ、前
回ノ時マデ衆議院ニ居ラレタ所、齋藤壽
雄、此人ハ御醫者サンデアッテ、自分カラ
檢査ニ從事シテ、檢査ノ無効ニシテ有害デ
アルト云フコトヲ論ジテ、廢娼論ニ加擔シ
テ居ラレタ所ノ方デアリマス、此御兩人ノ
上京ヲ請ヒマシテ、委員會ノ許可ヲ得マシ
テ參考人トシテ委員會ニ立會テ貰ヒ、以テ
中原君ニ對抗スル考デアッタノデアリマス、
然ルニ委員會ハ彙ニ申上ダマシタヤウニ一
萬千里ノ勢デ之ヲ否決シ終ツタノデアリマ
シテ、私ハ洵ニ此事ヲ遺憾ニ考ヘテ居ルノ
デアリマス、併シ中原君ノ御議論ノ中ニハ
別ニ斬新ナ事モナク、私ニ於テ答辯ノ出來
ナイヤウナ新シイ學問上ノ御根據モ無カ
タト云フコトヲ茲ニ申上ダテ置クノデアリ
マス、ソレカラ中原君ノ御議論ニ付テ、モ
ウ一ツ私ノ承服シ難イ點ガアル、中原君ノ
御議論ハ斯ウデアアル、斯ウ云フ問題ハ法律
問題トシテヤカマシク言フベキ問題デハナ
イ、各人ノ自覺ト衛生思想ノ發達ニ依
之ヲ解決シタイト云フ御議論デアリマス、
其點ハ私共モ同意シタデアアル、中原君ハ寧
英國ノ如ク放任主義デアリタイト云フ御議
論デアッタ、是モ私共ト全ク同意見ヲ持
テ居ラレタ、所ガ其結論ガソレデアアルガ故
ニ、吾々ハ廢娼ヲシナケレバナラヌト云フ、

中原君ハソレデアアルガ故ニ、廢娼シテハイ
カヌト云フ、是ハ洵ニ不思議ナル結果デア
リマス、私共近頃間イテ居リマス、思ヒマ
スガ、例ヘバ新橋邊ノ藝妓、是ガ近頃衛生
思想ガ發達シテ、段々自覺ガ生ジテ來テ、
若シ病氣デモ受ケルナラバ少々ノ金ヲ貰
タ所ガ勘定ニ合ハヌ、ソレデアアルカラ中々
其男ヲ見ナケレバ、容易ニ寄セ附ケナイト
云フコトヲ聞イテ居リマス、是ハ洵ニ中原
君ノ御議論ト接近シテ來テ居ル、是ハ洵ニ
結構ナ事ト思ヒマス、所ガ是ハ藝妓デア
ルガ故ニソレガ出來ル、公娼デアッテハソ
ガ出來ナイ、公娼デアッテハ檢査ト云
フ有名無實ノ事ヲヤルコトニ依ッテ、ソレ
カラ先ハ強制セラレタ、自分デ身體ヲ保護
シヤウト思フモ保護スルコトガ出來ナイ、
衛生思想ノ發達ニ依ッテ、防止シヤウ
思フモ防止スルコトガ出來ナイ、此事
實ヲ中原君ハ如何ニ見ラレ、ノデアリマス
カ、私共ハ甚ダ此點ニ付テ不審ニ存ズル次
第デアリマス、現在婦人「ホーム」等ニ於キ
マシテ遊廓カラ娼妓トシテ、自由廢娼ヲシ
テ這入テ來タ者ハ身體ガ壞レテシマッテ、之
ヲ正業ニ就カセヤウト思フデモ、中々就カ
スコトガ出來ナイ、之ニ反對シ私娼カラ來
タ者ハ比較的身體ガ壞レテ居ラナイ、是カ
ラ申シマシテモ吾々ハ中原君ト同意理由ニ
依ッテ、異ナル結論ニ到達スルノデアリマ
ス、今度ノ委員會ニ於ケル質問應答ノ中ニ、
私共ノ感謝致シマスコトハ政府委員ノ御答
辯ノ中ニハ、吾々ヲシテ満足セシムルモノ
ガナイ、何等研究ガ出來テ居ラナイ、又之
ヲ防止シヤウト云フ所ノ何等精神上ノ作用
ヲ認ムルコトガ出來ナイ、殊ニ片岡政務次
官ノ御議論ノ如キハ是ハ甚シイモノガアル
ト思フノデアリマス、茲ニ委員會——是ハ
モウ此所デ片岡政務次官ガ意見ヲ御述ベニ
ナツタカラ私ハ朗讀ハ致シマセヌガ、委員
會ニ於テハモット、酷イコトヲ言フテ居ラレ
ル、皆ノ道徳心ガ發達シ、皆ガ聖人君子ノ
ヤウニナツタナラバ廢止スルト云フ御論ヲ
爲サツタ、實ニ是ハ無責任ナルコト、吾々
ハ信ズルノデアリマス、我ガ同胞ノ中ニ不
幸ナル一ツノ階級ガアル、之ヲ救済スルガ
爲ニ如何ナル經綸ヲ持ツカト云フコトニ付
テ、何等精神上ノ作用ヲ致シテ居ラヌト
云フコトヲ私共ハ認ムルノデアリマス、茲

ニ國際聯盟ニ於ケル——千九百二十一年ノ「ゼネバ」ニ於ケル國際聯盟總會ニ、婦人人身賣買ニ關スル決議ガアリマス、之ヲ茲ニ朗讀致シマス、短イカラ一寸御聽キテ願ヒマス「本人ノ承認ヲ得タルト否トヲ問ハス他人ノ情慾ヲ満足セシムル爲ニ醜業ノ目的ヲ以テ未成年ノ婦女ヲ誘拐シタル者ハ罰ス他人ノ情慾ヲ満足セシムル爲ニ醜業ノ目的ヲ以テ詐欺、暴行、強迫、權力ノ濫用、其他一切ノ強制手段ヲ以テ成年ノ婦女ヲ誘拐シタル者ハ罰ス、條約國ノ法制ガ前二條ニ定ムル犯罪ヲ防遏スルニ充分ナラザルトキハ犯罪ヲ所罰スル爲ニ必要ナル措置ヲ執リ又ハ各自ノ立法機關ニ提出スヘキコトヲ約ス」斯ウ云フコトヲ國際聯盟ニ於テ決議ヲ致シテ居ルノデアリマス、之ニ關シテ政府當局ハ何等責任ヲ感ジナイノデアリマス、決議ノ趣旨ニ付キマシテ何等責任ヲ御感ジナシテ居ラナイノデアリマス、是ハ私共ガ不忠誠ニ感ズル所デアリマス、簡單「謹聽」ト呼フ者アリ、此院內ニ席ヲ有セラル、人デアリマス、相當ニ遊蕩ニ利害關係ヲ有シ、微妙ナル其利害關係ヲ理解シテ居ラル、所ノ或人ノ話ダト云フコトデ、私ハ人ヲ以テ之ヲ傳ヘ聞イタノデアリマスガ、若シ政府ガ此遊蕩ノ善後處置ヲ爲スニ付テ相當ノ方法ヲ講ズルナラバ、公娼制度ヲ廢止申シ宜イト思フ、斯ウ云フ御意見ニ先ヅ相談ト申シマス、サウ云フ御意見ニ於テ私ニ申傳ベテ來タガアルノデアリマス、隨分サウ云フ人ガアルカ知リマセ、此故ニ茲ニ私ハ申上ゲマスガ、實ハ私ハ此法律案ヲ起草致シマシタ時ニハ、三箇條カラ成テ居、其第二ハ六箇年後ニ於テ日本ノ娼妓、賣座敷ハ一切禁止スル、サウシテ第三條ニ於テハ其時ニハ善後處理ヲ爲スガ爲ニ、其時ニハ娼妓一人ニ付テ四百圓ノ金ヲ政府ガ支出スル、斯ウ云フ案デアッタノデアリマス、ソレハ私ノ考ヘマスル所ニ依リマスレバ、今日五萬ノ娼妓ガアル、是ガ六年ノ間ニハ半分ニ減ズルシテ二萬五千人ニナル、一人四百圓トシテ一千萬圓ノ金ヲ政府ガ支出シテ、善後ノ處理ヲシヤルト云フ、斯ウ云フ初ノ案ガアッタノデアリマス、所ガ今日ハ財政緊縮ノ時デアリ、政府當局モ氣ガ小サクナシテ居リマスカラ、今日一千萬圓出サネバナラヌト云フノデアリマセヌ、金ヲ出スコトノ相談ヲスルト

此問題ガ遅クナル、併シ今日年々八千人ノ若イ婦人ガ遊蕩ニ這入ッテ行ク、日ニ二十二人宛ノ若イ婦人ガ遊蕩ニ這入ッテ行ク、再ビ満足ノ身體出テ來ラレナイ遊蕩ニ這入ッテ行クノデアリ、之ヲ一日モ早く救済シナクババナラヌト云フ意味カラ、此面倒ナル二條三條ヲ除キテ、新ナル者ヲ許サヌト云フ一本槍ヲ進ムコト、新ナル者ヲ許サヌデアリマス、故ニ若シ今申シマシタヤウナ御意見ヲ持ッテ居ラル、方ガアリマスナラバ、今年ハ此法律案ニ御賛成下サイ、私ハ今申シマシタ二條三條ノヤウナ事ヲ實行スルガ爲ニ相當努力ヲ致シマス、若シ又必要デアラナラバ提案者トナッテ正面ニ立ッテ努力ヲ致シテ宜シウゴザイマス、サウ云フ考ヲ持ッテ居リマスカラ、今年ハドウカ一日モ早く此遊蕩ニ這入リタル若イ娘達ヲ助ケル爲ニ、此法律案ニ御賛成下サルコトヲ希望致スノデアリマス——モウ私ノ演説ハ茲ニ終リマスカラ、ドウカモウ暫ク御容抱ヲ願ヒマス、今度ノ經驗ニ依リマシテ、私ハ此種ノ法律案ハ委員會ニ於テハ決シテ通過スルモノデナイト云フ堅イ諒解ヲ持ッタノデアリマス、ソレハドウシテモハ當議院シテ之ヲ決定スベキ問題デハナイ、今日聞キマシタガ政友黨ハ當議院シテ否決シ去ルコトニ御機メニナタサウデアリマスガ、是ハ少々無理ナ事デアルト思ヒマス、是ハ性質トシテ自由問題トスベキモノデアル、サウスレバ委員ハ半分ハ賛成、半分ハ反對ヲスルト云フコトニナル、所ガ之ニ反對シテ向ッテ來ル人ハ選舉區關係トカ何トカ云フ廣イ意味ニ於ケル利害關係ヲ持ッテ居ル人デアアル、之ニ賛成スル人ハ篤志家デアアル、如何ナル問題ニ於ケルモ篤志家ト利害關係ヲ持ッタル人ハドウシテモ是ハ「何ヲ言フ」ニ依リシカラ、ト呼フ者アリ、少シク私ノ言葉ニ不穩ノ事ガアレバ取消シマス、サウ云フ人多イト云フコトヲ私ハ申上ゲル、全部サウダトハ申シマセヌ——ドウモサウ云フヤウニナリマス、此賛成シテ居ル者ニ向ッテ壓迫ガ來ル、嘆願ガ來ル、或場合ニ於テハ——ガ行ハレルカモ知レマセヌ(「何ヲ言フ」)——何ヲ言フノダト呼フ者アリ議場騷然)——私ハ特ニ注意ヲ致シマシテ——ノヤウナ事ガ行ハレルカモ知レマセヌト、斯ウ申シマシタデハアリマスケレド

モ、議長ヨリノ注意モアリマスカラハ是ハ取消シマス(此時發言スル者多シ)
○副議長(小泉又次郎君) 靜肅ニ願ヒマス
○松山常次郎君(續) デ此種ノ問題ハ何年出シマシテモ委員會ハ通過シナイモノト私ハ定メタルデアリマス、ソレデ茲ニ無記名投票ニ依ッテ本會議ニ於テ決シテ贊フヨリ外ハナイト云フ決心ヲ致シタノデアリマス、諸君テ亞米利加合衆國ト云フ國ハ近頃ハ隨分怪シカラ法律ヲ作りマス、併ナガラ私ノ友人デ亞米利加ノ事ニ詳シイ人間ガ、私ニ斯ウ云フコトヲ話シタ、亞米利加ノ議會ガ決議ヲ致シタル「ヒューマンチロー」人道ニ關スル法律、サウ云フ問題ヲ研究スルコトヲ非常ニ興味ノアルモノデアルト云フコトヲ申シマシタ、私ハ淺學ニシテ未ダ之ヲ研究ハ致シテ居リマセヌ併シ私ノ知ッテ居ルダケデモ「リンコン」ノ奴隸解放令ヲ初メシテ幾多ノ人道的法律ガアルノデアリマス、人間ガ實生活ヲ爲ス上ニ於テ利害關係、經濟關係ノ問題ト云フモノハ是ハ海ニ大切デアリマス、併ナガラ是ガ總テマハリマセヌ、吾々ニハ惻隱ノ心ガアル、氣ノ毒ナト云フ心ガアル、其心ガ法律トナッテ現ハレルト云フコトハ當然デアアル、若シ議會ガ利害關係ノ問題、經濟關係ノ問題ヨリ取扱フコトガ出來ナイト云フナラバ、是ハ不完全ノモノト思ヒマス、私ハ吾々ノ帝國議會ハ此種ノ人道ニ關スル事ガ少クニ過ぎハシナイカト不斷ニ考ヘテ居ルノデアリマス、斯ウ云フ意味ニ於ケル私ハ茲ニ此問題ヲ提起シタノデアリマスガ、今申シマシタヤウナ意味ニ於テ、委員會ニ於テハ殆ド通過スル望ミガナイ、サレバ本會議ニ於ケル、無記名投票、之ニ依ッテ外ハアリマセヌ、故ニ今度ハソレニ依ッテ決シテ贊キタイト思フ、若シ是ガ此所デ破レルヤウナラバ、私ハ少クモ諸君ノ任期ノ間ハ斯ノ如キ問題ハ此議會ニハ持ッテ參リマセヌ、私ガ此問題ヲ提ゲテ起ッテ以來(簡單々々ト呼フ者アリ)モウ少シデスカラ聽イテ下人カラ色ナ手紙ガ參リマス、併シ書イテアルコトハ大抵迎ヘ議會ガ通過シヤシナイノレガ通過スル位ナラバ吾々ハ此様ニ苦勞タマケデモ惡イコトデハナイト云フコトヲ申シテ居ルノデアリマス、私ハ斯ウ云フ手

紙ヲ受取ル度ニ、實ニ我ガ議院ヲ侮蔑セラレタヤウナ感ジガ致シマシテ憤慨ニ堪ヘナイノデアリマス、ソレ故ニ此案ヲ自由問題ニスルナラバ、必ズ之ヲ通過シテ見セルト云フ私ハ信念ヲ今ニ持ッテ居ルノデアリマス、諸君、茲ニ諸君ノ御投票ヲ願ヒタイト思フノデアリマスガ、ドウカ此法律案ノ背後ニハ、年々遊蕩ニ送ラレル所ノ八千人ノ若イ婦人達ノ運命ガ懸レデ居ルト云フコトヲ御承知ヲ願ヒタイノデアリマス、政府委員モ先刻カラハ三百年以來ノ問題デアアルカラ容易ニ出來ナイト云フコトヲ申シマスガ、五箇條ノ御書文ノ中ニ「舊來ノ慣習ヲ破リ天地ノ公道ニ基クヘシ」ト云フ御言葉ガアルノデアリマス、此精神ガアッテ初テ成シ遂ゲラレタノデアアル、此精神ガアッテ初メテ普通選舉モ衆議院ヲ通過シタモノト確信致スノデアリマス、ドウカ諸君、此人道ノ上ノ問題、諸君ガ此提案ノ通過ヲ破テ天地ノ公道ニ歸ルト云フ御意思ヲ以テ、此問題ノ爲ニ御投票ヲ下サルコトヲ切ニ茲ニ御願致シテ此壇ヲ降ルノデアリマス(拍手)
○副議長(小泉又次郎君) 中原徳太郎君(中原徳太郎君登壇)
○中原徳太郎君 私ハ只今上程サレテ居リマス所ノ公娼制度制限ニ對シマシテ、委員長ノ報告ニ賛成スル者デアリマス、先刻來松山君、即チ本案ノ提案者ノ一人デアリマス、松山君ハ、極メテ熱心ニ其趣旨ヲ御辯明ニナリ、又先般ノ委員會ニ於ケルモ詳細ナル御説明ガアッタノデアリマス、私ハ同君ガ人道ノ爲メ國家ノ爲メ、非常ナル決心ヲ以テ御盡力ニナリマスコトニ對シテハ、深キ敬意ヲ表スル者デアリマス、併ナガラ先刻ノ御演説中、或ハ委員會ノ狀況ヲ批評シテ、殊ニ委員中ニハ選舉區ノ關係ニ依ッテ之ニ賛成ヲシテ居ル者ガアル、或ハ委員ハ何所其ノ女郎屋ヲ選舉區ニ有シテ居ル、又誰々ハドウ云フ關係ガアル、ソレ故ニ此委員會ト云フモノハ初カラ負ケルモノト思フデ居、タイ云フヤウナ意味ノ御説モアリマシタ、又先刻ノ御演説中、甚シキニ至リマシタ、此問題ノ背後ニハ何等カ醜聞係ガアッタヤウニ申サレ、大分議場ガ騷然トシタノデアリマスガ、何カ不都合ナリ問題ガアルカノ如キ口吻デ述ベラレタ、

千九百三十二名、是ハ三割五分増シテ居ル、斯ノ如キ狀態アリマスルノデ、藝者並ニ酌婦ト云フモノハ非常ナル率ヲ以テ増シテ參リマスケレドモ、娼妓ノ増加ハ比較ノ少イト云フ實例ヲ現ハシテ居リマス、ソレカラ又此公娼ト云フモノト花柳病ノ關係アリマス、先刻松山君ノ御紹介ニ從ヒマスルト云フ、公娼ト云フモノハ花柳病ノ最モ激シイ媒介者デアル、却テ私娼ノ方ハ餘リ酷イ媒介者デナイト云フ意味ノ御説明ガアリマス、此事ニ付キマシテハ色々性病豫防協會ニ於キマシテモ、松山君ノ御説ノ如キコトノ統計並ニ意見ヲ持シテ居ル御方モアリマス、只今御引例ニナリマシタ松浦君ノ如キハ矢張其意味ノ論者デアリマス、是ハ勿論滿場一致トカ何トカ云フ數デ決メルモノデハアリマセウガ、大體ニ於テハ矢張公娼ガアル方ガ花柳病ガ比較ノ少イト云フ意見ガ多イヤウニ私ハ思ヒマス、絶對ノ云フモノデハ、極メテ完全ナモノデアルトハ私ハ思ヒマセウ、殊ニ其檢査法ノ如キモノニ至リマスルト、極メテ杜撰ナモノデアリマス、私ハ屢々檢査所ト申シマスルカ、例ヘバ遊廓地ニ於ケル病院ヲ觀察致シマシタ、其狀況ヲ見マスルト云フ、自分ノ身體デアリタガ自分ノ病ヲ隠シテ、今檢査ヲ受ケル直グ直前ニ當リマシテ巧ニ隱蔽ヲ致シマス、サウシテ診察臺ニ登テ、其若イ醫者カラシテ病ヲ診ナイト認ラレナイト云フヤウナ者ガ澤山アリマス、斯ノ如キ遺方ハ檢査制度ノ極メテ不徹底ナ所以デアルト私ハ思ヒマセウ、花柳病ノ豫防ノ意味ニ於キマシテ、現在ノ檢査制度ガ決シテ完全ナモノトハ思ヒテ居リマセウ、併ナガラ此公娼ト云フモノニ至リマシテハ斯ノ如キ制度ガアリマセウ、唯々府縣ノ警察官憲等ニ於キマシテ適當ナル方法デ偶々檢査スル、檢査スルト云フヤウナ所ハアリマスケレドモ、未ダ是ハ嚴格ナル規定ノ下ニ檢査スル途ハナイノデアリマス、斯ノ如キ事情デアリマスカラ、私娼ガ病ヲ蔓延致シマスルコトハ、風俗ノ上カラ考ヘマシテモ、片方カラハ嚴重ナル一不完全デハアリマスケレドモ嚴重ナル監督ノ下ニ檢査ヲ受ケル者ニ比較致シマスルナラバ、全

ク自由放任デアリマシテ、自ラ衛生ノ何モノタルヲ解セザル此公娼ト比較シマスルナラバ、比較ノ公娼ノ方ガ完全デアルト思ヒマス、私ハ斯ノ如キ見地カラ致シマシテ、此今日ノ賣淫制度、殊ニ歐米各國ニ於テハ種々ノ制度ガ行ハレテ居リマス、今松山君ノ御話ニナリマシテ如キ娼妓制度ノ國モアリマス、又ハ制限制度ノ國モアリマス、又ハ默認制度ノ國モアリマス、又放任制度ノ國モアリマス、種々ニ制度ガ變テ居リマスケレドモ、何レモ缺點ハアルノデアリマス、殊ニ私ハ獨逸ニ長ク居タノデアリマスガ、獨逸ニハ矢張公娼制度ノソレカラ所謂公娼並ニ私娼、二ツナガラアリマス、而シテ獨逸ハ御承知ノ如ク衛生思想ハ達ニ我ガ日本ト比較シテ進んで居リマス國デアリマスカラ、娼妓其者ニ對シテモ自ラ病ヲ防グト云フコトヲ豫メ承知サセ、又病氣ニ罹ラナラバ、所謂民間療法ニ依リマシテ病氣ヲ成ベク早ク治サシメルト云フヤウナコトヲヤンテ居リマス、又客ニ對シマシテモ、チャント札ヲ貼リマシテ、客ノ消毒法ト云フモノヲ教ヘテアリマス、斯ノ如ク致シマシテ、所謂人類ノ三大強敵ト認メラレテ居リマスル所ノ花柳病、結核並ニ酒ノ毒、此三ツノ病氣ガ人類ノ三大強敵ト云フコトニナッテ居リマス、此人類ノ三大強敵ノ一ツノ花柳病ハ、即チ國民ノ衛生思想ノ發達ト又各人ノ自覺ニ依テアルト私ハ信ズルモノデアリマス、區々タル法律規則ニ依リマシテ花柳病ヲ退治スルト云フコトハ、中々困難ナ事デモアリマス、ミナラズ、ムツカシイ事デアルト私ハ考ヘテ居ル、又今日ノ此我國ニ於ケル現在ノ「モウ澤山」ト呼フ者アリ、群馬縣ノ花柳病ノ御話ガ先刻松山君カラ出マシタ、大正十二年度ニ於キマシテ初メテ發着サレノデアリマスカラ、私ハ最近ノ表ヲ見タノガ偶々十二年度ノ統計表デアル、松山君ハ十二年度ハ是ハ群馬縣ニ於テモ一番多ク統計カラ見マスル、群馬縣ハ最も多ク統計デアルト仰シヤイマスケレドモ、兎モ角モ餘リニ卓越シテ居ルト云フコトハ爭フベカラザル事實デアルト私ハ思ヒマス、ノミナラズ單リ十三年度ニ於ケル花柳病ノ壯丁花柳病檢査ノ結果ガ斯ノ如クアリマスル「ミナラズ、最も恐レベキ徵毒ニ依テ死亡致シマシタ所ノ人間、是ハ大正四十二年カラ致シマシタ大正九年マデノ表ガ出來テ居リマス、之ニ依リマシテモ、大正四十年ニ於キマシテ人口一萬二對シマシテ群馬縣ハ（大正四十二年デハ）明治四十二年デセウ「ト呼フ者アリ」明治四十二年ニ對シマシテ二九、群馬縣ハ二、一〇、ソレカラ四十四年ハ東京ガ一五六、群馬縣ガ二〇一、飛ビマシテ大正九年ニ參リマシテ東京ガ一三〇、群馬縣ガ一三六、是ハ人口一萬二對シマシテ徵毒ノ死亡者、殊ニ遺傳徵毒モ含シテ居リマス、恐シイ所ノ數ヲ群馬縣ハ示シテ居リマス、群馬縣ハ明治二十八年デシタ、以來廢娼サレテ居リマスケレドモ、此明治四十二年カラ大正九年マデノ間ニハ、然ラバ遺傳徵毒デアリマス、或ハ徵毒患者ノ死亡數ハモツト減ゼンケレバナラヌ答デアリマスニモ拘ラズ、少シモ減ジテ居ラナイト云フ所カラ見マシテモ、群馬縣ニ於ケル公娼廢止ノ結果ガ、花柳病ト云フ問題ニ對シテ餘リ好成績ヲ現シテ居ラナイト云フコトハ爭フベカラザル事實デアルト私ハ信ズル（拍手）

○副議長（小泉又次郎君） 時間ヲ延長致シマス
○（簡單ト呼フ者アリ）
○中原徳太郎君（續） モウ長クヤリマゼヌ、斯ノ如キ意味カラ致シマシテ（簡單ト呼ヒ其他發言スル者多シ）
○副議長（小泉又次郎君） 靜肅ニ願ヒマス
○中原徳太郎君（續） 私ハ保健衛生ノ上カラ考ヘマシテ、先ツ花柳病ヲ豫防シ、花柳病ノ蔓延ヲ防ギマスルコトハ、公娼廢止ニ依ッテ望ムコトハ出來ナイト私ハ思フノデ

アリマス、寧ロ公娼廢止ヲ致シマスナレバ、私娼ノ跋扈、是モ御議論ガアリマス、例ヘバ東京ノ如キ吉原ノ近傍ノ千束町ニハ多數ノ廢窟ガアル、公娼ノ在所ニハ私娼ガアルト云フ御議論ガアリマスケレドモ、又洲崎ニハ公娼ガアリマスケレドモ、アノ近傍ニハ私娼ガアリマセウ、吉原ノ如キ、淺草觀音ノ如キ、天下何十萬ト云フ人ガ集リマス場所ニハ、特殊ノ例トシテ其近傍ニ私娼ガアルノデアリマス、必シモ公娼所在地ニ廢窟、即チ私娼ガ相伴フモノデアルト云フ議論ハ私ハ立タナイト思フノデアリマス（拍手）斯様ニ意味カラ致シマシテ私ハ人道カラ、又殊ニ今最後ニ一言申シマス、公娼ト云フモノハ非常ニ人道上人權ガ蹂躪サレテ居ルト云ハレマスケレドモ、私娼ニ於テモ同様デアリマス、何等ノ區別ハナイ、最近ノ新聞紙ヲ見マシテモ、此東京府下某所ニ於キマスル私娼ニ於ケル慘事、斯ノ如キモノガ盛ニ現ハレマス、ハ一ツノ例デアリマス、群馬縣ニ於ケル崎ヲ初メト致シマシテ、其郡下ニ於テ八百何十人ト云フ私娼ガアリマス、此私娼ハ百圓乃至千圓ノ價格ヲ以テ買ハレルノデアリマス、平均致シマスル三百圓乃至四百圓デアル、斯ノ如キ價格ニ依テ矢張賣買サレテ居リマス、即チ人身ノ賣買ト云フ點ニ於テハ、法律ガ認メテ居ルカ認メテ居ラスカト云フ點ノ差デアリマシテ、事實ニ於テハ何等擇フ所ナイノミナラズ、却テ公娼ノ方ガ場合ニ依リマス少クサレテ居ル所モアラデアリマシテ、私娼ハソレニ反シテ非常ニ虐待ヲ受ケテ居リマス、土地モ盛ニアルノデアリマスカラ、此人權上ノ問題カラハ、ドウシマシテモ公娼ヲ廢止スルト云フ事ニ向ッテ私娼ヲ認メルト云フコトニ向ッテハ賛成スルコトハ出來ナイト云フアリマス、先ツ私ハ大體以上ノ理由ニ依リマシテ、洵ニ遺憾デアリマスケレドモ、此委員長ノ報告ニ賛成シ、松山君ノ御提出ノ議案ニハ反對スル者デアリマス（拍手）
○作問耕逸君 本案ノ討論ハ此程度ニ於テ終結セラレシコトヲ望ミマス
○（賛成「異議ナシ」ト呼フ者アリ）
○副議長（小泉又次郎君） 作問君ノ動議ニ御異議ハナイト認メマス、仍テ討論ハ終結セラレマシタ、本案ノ第二讀會ヲ開クヤ否ヤニ對シテ、松山常次郎君外二十九名ヨリ無

頁段行	誤	正
五〇六二三	日露國交恢復ニ 關スル決議案	決議案